

2012 Year's Report

平成24年度 事業報告書

一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団

目 次

平成24年度 財団ハイライト	1
平成24年度 事業ピックアップ「イコラム指定管理事業」	2
§ 1 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団の概要	7
§ 2 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団の運営	11
1 理事会の開催	
2 評議員会の開催	
3 プロジェクト2012	
4 他機関との連携	
5 職員研修の実施	
§ 3 広報・PR	16
1 広報事業	
2 賛助会・サポーター制度運営	
3 視察の受入れ	
§ 4 公益目的事業概要	
1 男女共同参画啓発事業	19
1 事例で学ぶ『DV』被害者支援	【公益目的支出事業】
2 相談員育成事業	20
1 スーパービジョン講座	【公益目的支出事業】
2 2012フェミニストカウンセリング専門講座	【公益目的支出事業】
§ 5 一般事業概要	
1 大阪府男女共同参画推進事業	23
1 女性に関する情報の収集及び提供に関する事業	【大阪府（府民文化部）受託事業】
2 女性の抱える問題に関する相談事業	【大阪府（府民文化部）受託事業】
3 男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業	【大阪府（府民文化部）受託事業】
2 女性のキャリア形成支援事業（女性の能力開発・ネットワーク事業）	40
1 はなみずき塾	【在日米商工会議所（ACCJ）関西支部助成事業】
2 はなみずきキャリア塾：メンタルヘルス編Ⅱ	【はなみずき基金事業】
3 はなみずきキャリア塾：メンター編	【はなみずき基金事業】
4 はなみずき塾：ポッドキャストプロジェクト	【はなみずき基金事業】
5 はなみずきツアー	【はなみずき基金事業】
6 ワーク・ライフ・バランス応援講座	【自主事業】

3	女性のための就労支援事業（女性の能力開発・ネットワーク事業）	47
1	母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練	【大阪府（商工労働部）受託事業】
4	文化表現事業	49
1	ドーン・シネマクラブ	【はなみずき基金事業】
2	表現ワークショップ	【自主事業】
5	国際協力事業	51
1	海外スタディツアー	【ヒューライツ大阪共催事業】
2	世界の女性が語るシリーズ	【自主事業】
6	女性の健康支援事業	53
1	大阪府不妊専門相談センター事業	【大阪府（健康医療部）受託事業】
7	次世代育成事業	57
1	夏期インターンシップ・プログラム	【自主事業】
2	研修・実習・職場体験等の受入れ	【自主事業】
8	販売事業	60
1	「ウィメン・パイオニアズ」DVD&ブックレット販売	【自主事業】
2	海外女性監督ドキュメンタリー作品等の収集・加工・販売	【自主事業】
3	オリジナルビデオ&DVD、ハンドブック等の販売	【自主事業】
9	講師派遣・アウトリーチ	63
1	講師派遣・委員等応嘱・大学の講義受託	【自主事業】
2	三重県伊賀市クローバーカレッジII	【三重県伊賀市受託事業】
10	NPO・市民活動支援事業	66
1	共催事業・後援事業	【自主事業】
2	ポスタープリントサービス	【自主事業】
11	女性に対する暴力対策事業	69
1	岸和田市DV予防啓発事業	【岸和田市受託事業】
2	配偶者からの暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ	【内閣府受託事業】
3	男女共同参画センター等における性犯罪被害者支援体制整備促進事業	【内閣府受託事業】
12	東日本大震災被災者支援事業	72
1	東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業	【内閣府受託事業】
2	東北女性の手仕事物産展	【自主事業】
3	被災地から関西に避難されてきた女性のためのサポート・グループ	【自主事業】

13	ドーンセンター指定管理事業	78
1	ドーンセンターの概要	
2	ドーン運営共同体の概要	
3	指定管理業務	【大阪府（府民文化部）受託事業】
4	一時保育事業	【自主事業】

14	東大阪市立男女共同参画センター指定管理事業	89
1	東大阪市立男女共同参画センターの概要	
2	施設管理業務	【東大阪市受託事業】
3	東大阪市主催事業	【東大阪市受託事業】

§ 6	平成24年度 事業実施一覧	119
-----	---------------	-----

§ 7	平成24年度 メディア掲載	121
-----	---------------	-----

§ 8	平成24年度 決算	122
1	貸借対照表	
2	正味財産増減計算書	
3	財務諸表に対する注記	
4	附属明細書	
5	収支計算書	

参考資料

1	設立趣意書	131
2	定款	132
3	一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団のあゆみ	140

平成24年度 財団ハイライト

2012 年

- 4 月
 - ・一般財団法人に移行
 - ・大阪府男女共同参画推進事業（3 年目）開始
 - ・ドーンセンター指定管理事業（2 期・2 年目）開始
 - ・イコール指定管理事業（2 年目）開始
 - ・大阪府不妊専門相談センター事業（3 年目）開始
 - ・平成24年度「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」開始
- 5 月
 - ・「母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練」開催（～12 月）
 - ・「はなみずきキャリア塾：メンタルヘルス編Ⅱ」開催（～3 月）
 - ・平成24年度「配偶者からの暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ」
落札
 - ・第1 回理事会開催
- 6 月
 - ・理事に業務担当制導入
 - ・「中期経営プラン（平成24 年度～平成27 年度）」策定
 - ・第1 回評議員会開催
- 7 月
 - ・「はなみずきキャリア塾：メンター編」開催（～12 月）
 - ・「配偶者からの暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ」開始（～10 月）
- 8 月
 - ・三重県伊賀市クローバーカレッジⅡ「女性リーダー養成講座」（2 期目）開催（～2 月）
 - ・岸和田市DV 予防啓発業務受託決定・事業開始（～3 月）
 - ・「スタディツアー：韓国編」開催
- 9 月
 - ・「東北女性の手仕事物産展」開催
- 10 月
 - ・「はなみずき塾」リニューアルして開催（～3 月）
- 11 月
 - ・「はなみずきツアー」開催
- 12 月
 - ・平成24 年度「男女共同参画センター等における性犯罪被害者支援体制整備促進事業」落札

2013 年

- 2 月
 - ・「男女共同参画センター等における性犯罪被害者支援体制整備促進事業」開催
- 3 月
 - ・大阪府男女共同参画推進事業（平成25 年度～平成27 年度）落札
 - ・平成25 年度「ポジティブ・アクション展開事業」落札
 - ・平成25 年度「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」落札

「イコーラム指定管理事業」

～笑顔と元気をイコーラムから～

平成23年4月

イコーラム指定管理者として事業開始

イコーラムは、平成15年4月にオープンした東大阪市立の男女共同参画センターです。近鉄奈良線若江岩田駅北側の「希来里（きらり）ビル」6階フロアにあります。

平成22年、イコーラムへの指定管理者制度導入に伴い指定管理者の募集がありました。ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）において、平成6年から16年以上にわたり広域を視野にいたした事業に取り組んできた当財団ですが、人口50万人の中核市である東大阪市で地域密着型事業を同時に展開することでイコーラムおよびドーンセンター双方において事業の幅が広がると考え、指定管理者に応募し、平成23年4月より業務を開始しました。



イコーラムの入る「希来里（きらり）ビル」外観

＜施設運営コンセプト＞

- ①公平、公正で目的に沿った施設利用促進
- ②「明るい」をキーワードにした受付

＜事業コンセプト＞

- ①地域専門的人材の育成
- ②地域に根ざした課題解決型事業
- ③他機関との連携

＜アウトカム（期待される効果）＞



受託にあたってのコンセプト

受託にあたり設定した合言葉は「笑顔と元気をイコーラムから」。東大阪市内の各施設や学校、企業、団体などとの連携・協力を図り、イコーラムを市民のみなさんが愛し、誇りとする老若男女集いの場とするよう様々な事業を展開するとともに、ドーンセンターでの事業とも連動させることにより、女性をとりまく諸問題を解決し、男女共同参画社会の実現をめざすことを掲げ、以下のようなコンセプトを定めました。

市民サービスの向上と

利用者数増加に向けた取り組み

イコーラムの認知度を高め、多くの方々に利用いただくために、サービス向上に力を入れています。「公平、公正で目的に沿った施設利用促進」のために登録団体支援を行い、「“明るい”をキーワードにした受付」を意識し、市民のみなさんに気持ちよく施設を利用していただけるよう心がけています。

また、自主活動推進のために、ワークルーム機器の充実を図りました。さらに、ホームページの

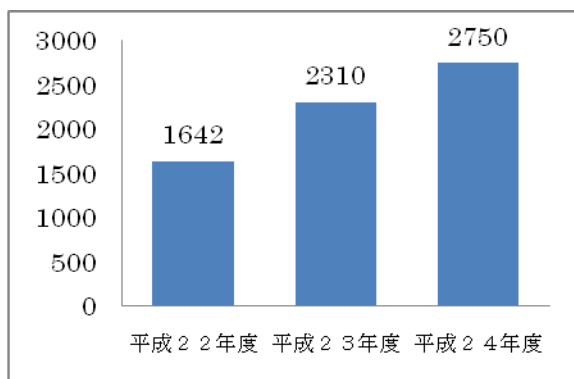
改定によるPR力アップ、インターン生の受入れによる若い世代の認知度アップ、多彩な事業展開による参加者層の拡大に取り組みました。



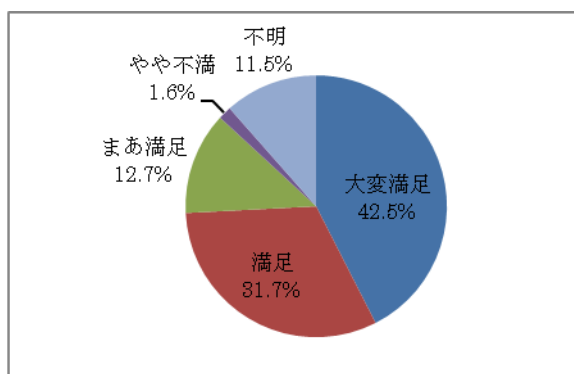
親しみやすさを追求したHP

イコーラムにおける実施事業¹の延べ参加者数の推移をみると、指定管理受託前の1,642人から、2,310人（H23）、2,750人（H24）と2年連続で増加しています。また、東大阪市長官公署主催事業の参加者満足度をみると、「大変満足」42.5%、「満足」31.7%、「まあ満足」12.7%であり、これらをあわせた「満足等回答者」は86.9%と8割以上の方に満足いただいています。

<事業参加者数（延）の推移>（単位：人）



<東大阪市長官公署主催事業満足度（H24）> n=798



地域専門的人材の育成

～翔塾（はばたきじゅく）～

地域活動への女性の参画をめざす「地域女性リーダー養成講座「翔塾」」では、問題解決法やリーダーに必要なスキルの獲得をめざす「女性が輝く！つながる！ひろがる！」を平成23年度に開催し、平成24年度は子どもに関わる女性リーダーに対象を絞り「子どもの育ち・親の育ちを支える」をテーマにしたプログラムを実施しました。専門的人材の育成の取り組みの一環として、東大阪市内で活動する方を講師に招くことを意識し、講座終了後も、講師と参加者、参加者同士が交流を重ね、地域力につながるよう、スタッフが継続的にサポートしています。



“翔塾”でのワークショップ

「翔塾」参加者の声

- 「女性が輝く！つながる！ひろがる！」（H23）
 - ・みなさんの意識の高さに圧倒される講座でした。これから考える上で貴重な経験となりました。
 - ・地域で根付く活動を何らかの形で構築していきたいと強く感じました。
 - ・何らかのグループに属して活動していきたいと考えているので、本日学んだことを活かしていきたい。
- 「子どもの育ち・親の育ちを支える」（H24）
 - ・たくさんの方の活動や想いを聴くことができ、自分の考えが見えたような気がしました。
 - ・自分のやりたいことの再認識ができました。何かをやりたいと感じている方が多くエンパワメントされました。
 - ・これからも自己を見つめ直すことを忘れず、イコーラムともつながっていたいと思います。

地域に根差した課題解決型事業

女性がジェンダーに気づき、自尊感情を獲得することを目的とした講座、「一歩セミナーシリーズ」。平成23年度は「女性のための心理学レッスン」と題し、家族の中での生きづらさをひもとき、自分らしく生きる方法を模索しました。平成24年度はライフステージ別にテーマを設定し、主体

¹ 東大阪市長官公署主催事業、東大阪市長官公署事業（東大阪市の他機関との連携事業）、財団自主事業の合計

的な生き方について学び、考えました。テーマに魅かれて初めてイコーラムに来られた方が、引き続き参加する姿も見られており、このセミナーをきっかけに一人でも多くの女性がジェンダーへの気づきを得て、自分らしい生き方ができるよう支援していきたいと考えています。

現代社会の課題を取り上げ、男女共同参画社会づくりの視点から現状を把握し、課題解決の方法を考える「**イコーラムカレッジ**」。参加者の声からは、新たな視点を得て、視野を広げる機会となっていることがうかがえます。今後も、広く市民のみなさんにご参加いただけるよう、多角的にテーマを設定していきます。

「**女性に対する暴力をなくす運動のつどい**」は、女性に対する暴力をなくす運動週間（11/12～25）にちなんで催しです。平成23年度のテーマは「恋愛とDV」。学校・相談関係者に多数ご参加いただ

きました。平成24年度は「被害者がSOSを出しやすい社会を」をテーマに、被害者が相談しやすい社会づくりについて考えました。

女性の仕事へのチャレンジを応援する「**仕事イキイキ講座**」では、キャリアの概念を広げてアクションプランを作成する「わたしのワークキャリアとライフキャリア」（H23）や、カフェ開業への一歩を踏み出すための「カフェ de 開業チャレンジ！」（H24）を開催しました。カフェという場で自己実現したいという女性の意欲の高さがうかがえ、定員20名に対し72名の申込みをいただきました。イコーラム喫茶コーナーでの実践の場を提供し、開業へステップアップも支援。具体的に計画を進めている方もおられ、開業にいたる修了生が出ることを期待しています。

<イコーラムカレッジのテーマ>

平成23年度	平成24年度
①格差・貧困のメカニズム	①演劇を通してみる現代社会：視点を変えて観てみよう
②災害を考える：地域の中でできること	②理系・モノづくり系・技術系、女性の活躍が社会を変える！
③韓国ドラマを通して、韓流ブームの背景をさぐる	③ひと・暮らし・まち：人と人、人と地域の“つながり”を育む
④活躍するアスリートたち：女性たちの葛藤	④家族以外の大事な“つながり”：オーストラリアにみる豊かな生き方
⑤超高齢社会を考える：福祉国スウェーデンからみた日本の家族	⑤個性や能力をのばす教育：子どもが学校で学びとるメッセージから考える

「イコーラムカレッジ」参加者の声

- 「災害を考える：地域の中でできること」（H23）
 - ・阪神・淡路大震災では、男性に比べて女性の死者数が1,000人も多いことに驚きました。
 - ・普段からの地域力が大切だと思いました。
 - ・終の住処と考えている東大阪市内に身内はおらず頼れるのは近隣の住民。自分にできることを考えたいと思って参加しました。大変勉強になりました。
- 「ひと・暮らし・まち：人と人、人と地域の“つながり”を育む」（H24）
 - ・まちづくりのヒントをたくさんいただきました。
 - ・自分ももっと地域の活動に目を向けたいと思いました。
 - ・いろいろな視点でのまちづくりに感動しました。
 - ・新たな方法でのまちづくりを知り、自分の住む町で、小単位の方法と実践に努めたい。

「一歩セミナー」参加者の声

- ・これからの生き方のヒントを得られました（H23）
- ・自分に無理を課して生きてきたことに気づきました（H23）
- ・自分のここを見つめ直す機会になりました（H24）
- ・「自分の身体を自分で管理する」という意味の広さを知りました（H24）
- ・「幸年期」という言葉がとても気に入りました（H24）
- ・その時の年齢を考えて自分の生活と向き合っていこうと思いました（H24）
- ・将来に明るい見通しがついた感じです（H24）

「女性に対する暴力をなくす運動のつどい」参加者の声

- ・学校で少しでも取組んでいきたい（H23・学校教員）
- ・人間関係づくり教育として取組みたい（H23・学校教員）
- ・性教育に取り入れていきたい（H23・保健センター職員）
- ・女性が受けている暴力の実態がよくわかりました（H24）
- ・お話の最後の「周囲の人にできること」が、とても参考になりました（H24）
- ・一枚のリーフレット、一本の電話の大切さ、再認識しました（H24）

「仕事イキイキ講座」参加者の声

- ・自分がどこに価値をおいているのか、漠然としていたものがはっきりしました（H23）
- ・女性の生き方も参考になりました。これからの仕事に具体的に取り入れていきたい（H23）
- ・自分のやりたい方向性が見えました（H24）
- ・想いを現実のものにするための強い意志に変えることができました（H24）
- ・コミュニティをを考えておられる方がたくさんいて、嬉しく思いました（H24）
- ・まだまだ考えないといけない事がたくさんあるけれど、一段ずつ登っていききたい（H24）

男性がジェンダーへの気づきを得ることを目的とした「**男性のための講座**」も開催しています。

「男の介護について考える」(H23)では、男性介護の現状と課題、男性が生活力・地域力を向上させる必要性、介護に必要な社会資源やネットワークについて理解を深めました。「父子料理」(H23、H24)では、料理を通して父子がコミュニケーションを深めながら

「料理は女性の仕事」という慣習を見直すきっかけとなることをめざしています。「男のコミュニケーション

術」(H24)では、男性によく見られるコミュニケーションタイプの解説後、ワークショップを通じて自分のコミュニケーションパターンへの気づきを得ました。

また、平成24年度から「**男性のための電話相談**」を始めました。平成24年度は27件の相談があり、主訴別では「夫婦関係」が10件(37.0%)と最も多くなっています。今後は、男性相談に寄せられる声を講座企画にも反映していきたいと考えています。

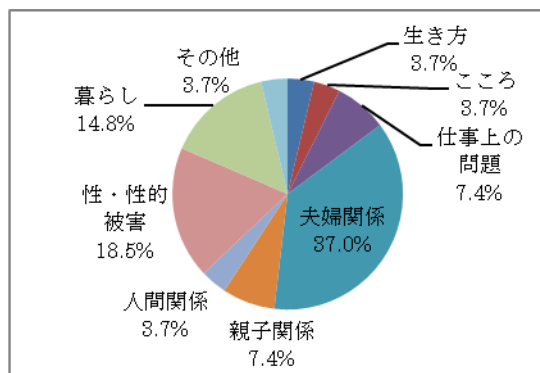
「男性のための講座」参加者の声

- 「男の介護について考える」(H23)
 - ・男性介護者が増えていること、心構えなどを知ることができました(30代)
 - ・ネットワークの大切さがわかりました(無記入)
 - ・介護の中の幸せの探し方、障がい者になることで気づけることの深さに、心の豊かさを感じました(40代)
- 「父子で一緒に料理をしよう！」(H24)
 - ・昨年参加し、その後家で作った料理が好評でした。今回も作ってみます(父)
 - ・これを機に料理にもチャレンジしようと思います(父)
 - ・おひとりさまになっても困らないよう頑張ります(父)
 - ・みんなと協力して料理を作れたことが心に残りました(子)
- 「男のコミュニケーション術」(H24)
 - ・男の思考パターンの特徴が理解できました。
 - ・黙って相手の話を聴く難しさがわかりました。
 - ・聴くことの大切さと話す側の注意点が良く分かった。
 - ・仕事や生活に上手に役立てていけたらと思います。



地元シェフの話に
熱心に耳を傾ける父子

＜男性相談：主訴別相談割合＞



国の定める「男女共同参画週間」(6/23～29)には「**男女共同参画週間 記念のつどい**」を開催し、「男女共同参画社会理念の普及」に取り組んでいます。平成23年度は「自分で選んだ暮らし方、

生き方～げんきハツラツ 東大阪・地域の中で～」、平成24年度は「東大阪発！一人ひとりが輝く未来へ」をテーマに講演やトークを開催しました。また、男女共同参画への関心・気づきと行動を促すことを目的に「**ひとことメッセージ**」を募集し、900点以上の応募作品の中から選ばれた入選作品は、つどいの中で紹介しています。



谷口真由美さんの講演「女も男も幸せになる法則」(H24)

他機関との連携

～地域の中のイコラムとして～

事業実施にあたっては、講師の選定・広報・運営などのプロセスにおいて、市民や関係機関との連携・協力を意識し、地域の中のイコラムとして根付かせていきたいと考えています。

女性の健康週間(3/1～8)には、希来里ビル内にある「**中保健センターとの協働事業**」として、女性のからだところの健康に関する講座を開催しています。また、希来里ビル全館で8月に行う「**希来里ファミリーまつり**」は、大人も子どもも楽しめる催しを開催しています。平成24年度は、理系女子大学生による「夏休みこどもサイエンス

キャンパス」を開催するとともに、表現講座「手作り紙芝居で伝えよう！“男女共同参画”」受講生による紙芝居の発表、仕事イキイキ講座「カフェ de チャレンジ！」受講生によるイコーラムカフェの出店など、イコーラム事業の成果を市民のみなさんに知っていただく機会ともなりました。

また、イコーラムでは、公募市民により構成する「**事業推進委員会**」を設置しています。情報誌「センターだより イコーラム」は事業推進委員の取材・編集・協力により作成しています。

毎年2月に開催している「**イコーラムフェスタ**」は、東大阪市、事業推進委員、登録団体による協働型イベントです。事業推進委員会で会議を重ね、登録団体が各催しを企画し、楽しみながら男女共同参画への意識を高めてもらえるイベントをめざしています。平成23年度



登録団体ワークショップを
親子で楽しむ

は「笑顔と元気をイコーラムから」、平成24年度は「集まって つながって 広げよう 笑顔の輪」をテーマに開催しました。創意工夫により、「老若男女が集う場」となっており、年々参加者数が増えています。このフェスタは、登録団体同士が交流を深めつつ、登録団体の活動ひいてはイコーラムを広く市民の方々に知っていただく機会となっています。今後も、市民との協働を通じて、男女共同参画のメッセージを広く伝えていきたいと考えています。



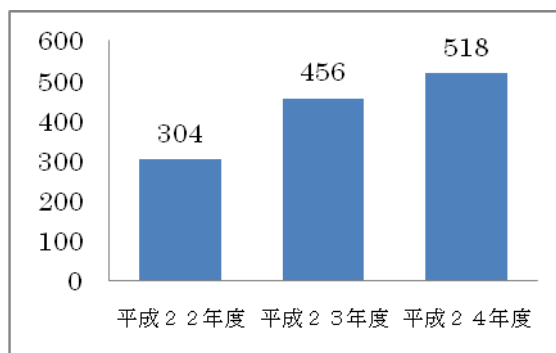
登録団体による
活動紹介



フェスタでの
催しの様子

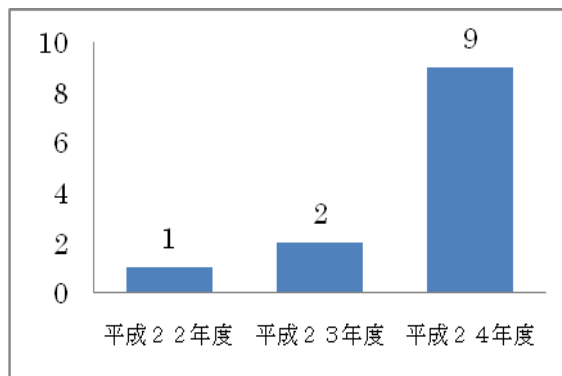


<フェスタ参加者数の推移>（単位：人）



地域や学校、事業所などに出向いてジェンダーについてわかりやすく伝える「出張講座」も行っています。平成24年度は多くの依頼をいただき、社会福祉協議会職員、学校教員、老人センター利用者、小学生等を対象に、「ワークライフバランス」「老後の生き方」「男女共生ワークショップ」などをテーマとした講座を計9回、延446名の方を対象に実施することができました。

<出張講座派遣数の推移>（単位：回）



平成25年4月

イコーラムは開館10周年

平成25年4月、イコーラムは開館10周年を迎えました。今後もますます、男女共同参画社会をめざす東大阪市の拠点施設として、これまでに培った運営ノウハウやネットワークを駆使しながら、市民のみなさんや関係機関・団体と協働し、その機能を高めていきます。

§ 1 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団の概要

1 基本理念・目的

「男女が対等な立場で、あらゆる分野へ参加・参画することができる社会の創造」を基本理念とし、社会的・経済的な男女格差の是正、女性のエンパワメントのための専門的で総合的な支援機能を果たしていくことを財団運営の目的とする。

<運営方針 ー3つのCー>

Continue 継続のC

20世紀に起きた女性の社会参加・参画への理念と熱意、ジェンダー格差是正のための意識改革、女性のエンパワメントの意欲などを継承する。

Collaborate 協働のC

NPOや企業、学校など様々な団体・機関と協働して課題に取り組む。

Change 変革のC

男女共同参画社会づくりを阻む社会慣行や制度を変革する事業を展開する。

2 設立年月日 平成6（1994）年4月1日

3 基本財産 1億円（大阪府全額出資）

4 所在地 大阪市北区西天満3丁目11番8号

5 主要事業

- （1）男女共同参画社会の実現に資する情報収集・提供及び調査研究事業
- （2）男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業
- （3）女性の抱える問題に関する相談事業
- （4）女性の能力開発・ネットワーク事業
- （5）女性に対する暴力対策等人材養成支援事業
- （6）女性による文化表現活動支援事業
- （7）女性の健康支援事業
- （8）国際協力事業
- （9）次世代育成事業
- （10）指定管理事業

6 評議員

理 事	尼川 洋子	人と情報を結ぶWEプロデュース代表
	上田理恵子	株式会社マザーネット代表取締役社長
	高田 昌代	神戸市看護大学教授
	早瀬 昇	社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事
	松尾 園子	弁護士

7 役 員

理事長	時岡禎一郎	学校法人大阪女学院監事
理 事	泉谷八千代	NHK奈良放送局長
	金光 哲司	一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団事務局長
	川中 大輔	シチズンシップ共育企画代表
	白井 文	グンゼ株式会社取締役
	段林 和江	弁護士
	仁科あゆ美	一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター
	畑 律江	毎日新聞大阪本社学芸部編集委員
監 事	田上 時子	特定非営利活動法人女性と子どものエンパワメント関西理事長
	林 紀美代	公認会計士

※50 音順、肩書は 2012. 4 現在

8 アドバイザー

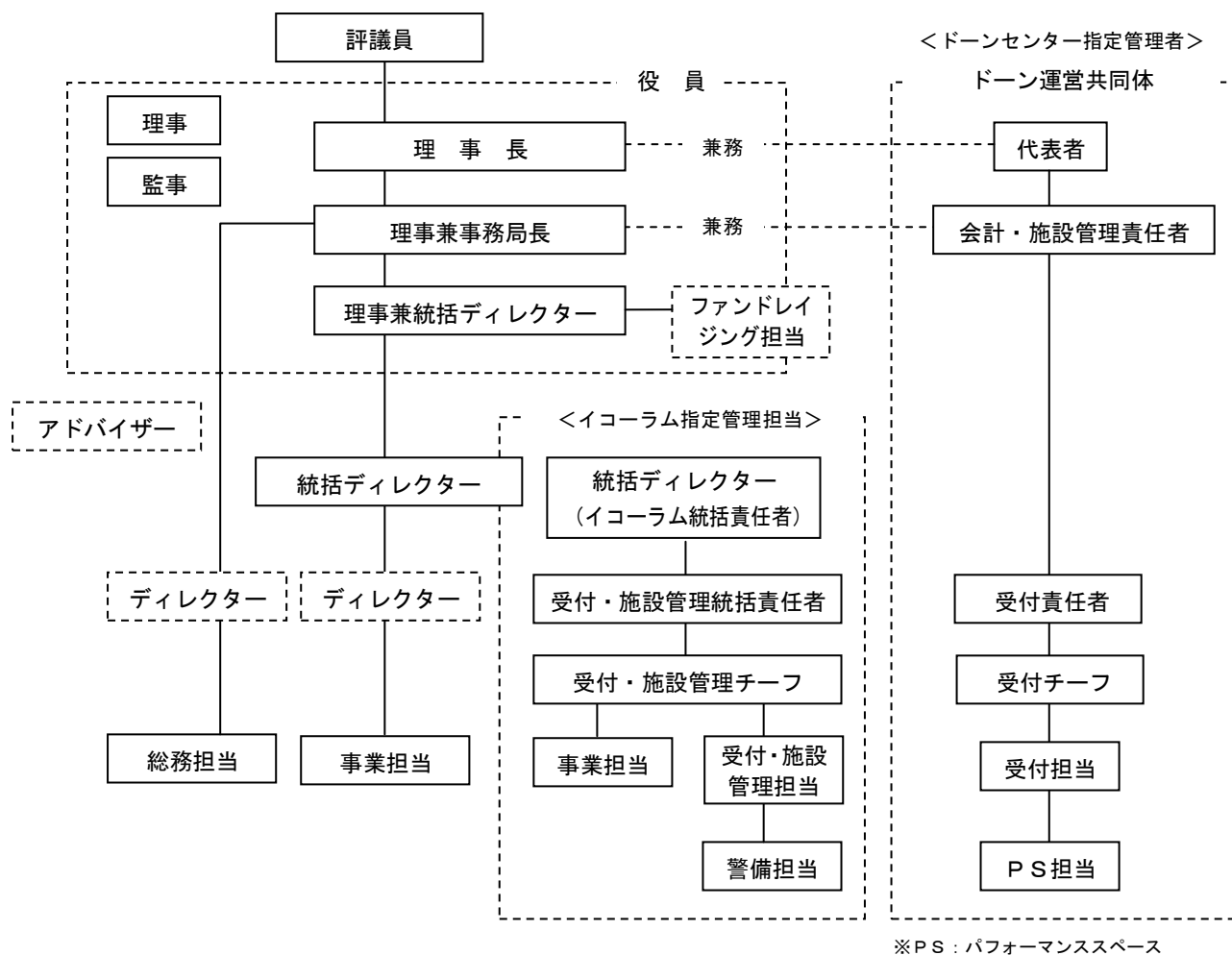
事業企画を行うにあたり、助言や必要に応じたコーディネートを担当するアドバイザーを委嘱した。

(委嘱期間：2012年4月～2013年3月)

石野 伸子	産経新聞大阪本社編集委員
川喜田好恵	日本フェミニストカウンセラー協会代表理事・カウンセラー
熊 和子	毎日放送ラジオ局エグゼクティブ
黒瀬友佳子	帝人株式会社 CSR企画室長
本多 利子	臨床心理士・スクールカウンセラー
宮本由起代	特定非営利活動法人心のサポート・ステーション代表理事

※50 音順、肩書は 2012. 4 現在

9 組織体制



10 職員数 常勤役員兼プロパー職員×2名、プロパー職員×2名、
契約職員×19名（21名）、非常勤職員×10名（12名）

※2012.4 現在。() 内 2013.3.31 現在

(1) 財団事務局

事務局長	金光 哲司（運営担当理事）
統括ディレクター	仁科あゆ美（企画・事業担当理事）
統括ディレクター	木下みゆき
ディレクター	阿部 茜、萬田久美子（2012. 7. 1～）
スタッフ	近藤 裕子、矢島 孝子、中野 有希、但馬 美果、平野 敬子 石道 尚子、萬田久美子（～2012. 6. 30）平井 厚子（2012. 7. 1～）、 秋長 好子（2012. 8. 16～） 大森 愛子、空本 恵美、小田川史子、松崎 理沙（～2012. 6. 30） 伊藤ゆきこ（～2012. 6. 30）、向井 和子（2012. 6. 1～12. 31） 八木 光（2012. 10. 11～）、石田 早苗（2012. 11. 1～）、神田 笑里（2013. 2. 20～）

(2) 東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）担当

統括責任者	小林 洋子
受付・施設管理総括責任者	武田 勝行
受付・施設管理チーフ	栗田まりこ
スタッフ	松澤 和彦、中臣 桂子、山名 玲子、扇田 敬裕、石川香緒里

(3) ドーン運営共同体担当

受付責任者	棚瀬 美幸、後藤小寿枝
受付チーフ	幸野 智彦
受付スタッフ	藤原 彩果、石川 敬子、竹林 香織、馬場 恵、香川 倫子、前田 瑠佳 植田 宏美（2013. 3. 1～）

§ 2 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団の運営

1 理事会の開催

(1) 第1回理事会

開催日 平成24年5月29日（火）14:00～16:15

- 議 題 ①平成23年度ドーン運営共同体の収支決算報告について
②平成23年度事業報告の承認について
③平成23年度収支決算（案）の承認について
④平成24年度収支補正予算（案）の承認について
⑤理事の業務担当制について
⑥中期経営プラン（案）の承認について
⑦一般財団法人初年度に係る計算書類等及び公益目的支出計画書（案）の作成について
⑧第1回財団評議員会の招集について
- 報 告 ①平成23年度財団自己評価書について
②平成24年度事業（計画）について
③平成23年度大阪府監査委員監査の報告について
④府市統合の現状説明について（大阪府男女参画・府民協働課）
⑤その他

(2) 第2回理事会

開催日 平成24年8月21日（火）15:30～17:25

- 議 題 ①財団登記上における主たる事務所地の変更について
②定款の規定に伴う従たる事務所の決定について
③法人を解散した場合における大阪府との協定について評議員会への意見提案について
④基本財産運用満期に伴う再運用について
⑤評議員会の招集及び議事事項について
- 報 告 ①新規事業受託（収支補正含む）について
②平成24年度既実施の主たる事業及び収支報告について
③府市統合の現状説明について
④その他

(3) 第3回理事会

開催日 平成24年9月28日（金）10:30～11:00

- 議 題 ①財団登記上における主たる事務所地の登記について

(4) 第4回理事会

開催日 平成25年2月13日（水）10:00～11:30

- 議 題 ①平成25年度大阪府男女共同参画推進事業に関する業務委託について
②平成24年度収支補正予算について

- ③内部統制システム宣言について
- ④役員賠償責任保険について
- ⑤業務執行理事の扱いについて
- ⑥平成２３年度収支決算書の財務諸表に対する注記部分の訂正について
- 報 告 ①平成２５年度事業計画の概要について
- ②その他

(５) 第５回理事会

開催日 平成２５年３月１３日（水）１３：３０～１５：００

- 議 題 ①内部統制システム宣言について
- ②役員賠償責任保険への加入について
- ③平成２４年度収支補正予算について
- ④平成２５年度事業計画及び収支予算について
- ⑤業務執行理事の選任について
- ⑥事務局規程の改訂について
- ⑦出張規程から旅費規程への改訂について
- ⑧評議員会の招集及び議事事項について
- 報 告 ①平成２４年度財団の事業報告について
- ②平成２４年度のドーン運営共同体の決算見込みについて
- ③平成２４年度の財団の決算見込みについて
- ④その他

２ 評議員会の開催

(１) 第１回評議員会

開催日 平成２４年６月１５日（金）１０：００～１１：３０

- 議 題 ①平成２３年度ドーン運営共同体の収支決算報告について
- ②平成２３年度事業報告の承認について
- ③平成２３年度収支決算（案）の承認について
- ④平成２４年度収支補正予算（案）の承認について
- ⑤中期経営プラン（案）の承認について
- ⑥一般財団法人初年度に係る計算書類等及び公益目的支出計画書（案）の作成について
- 報 告 ①平成２３年度財団自己評価書について
- ②平成２４年度事業（計画）について
- ③平成２３年度大阪府監査委員監査の報告について
- ④理事の業務担当制の報告について
- ⑤府市統合の現状説明について
- ⑥その他

(２) 第２回評議員会

開催日 平成２４年９月１９日（水）１３：３０～１４：４５

- 議 題 ①財団登記上における主たる事務所地の変更の承認について
 ②財団定款の変更について
 ③定款の規定に伴う従たる事務所の設置の承認について
 ④法人を解散した場合における大阪府との協定について
 ⑤基本財産運用満期に伴う再運用の承認について
- 報 告 ①新規受託事業について（収支補正含む）
 ②平成２４年度実施の主たる事業及び収支報告について
 ③府市統合の現状説明について
 ④その他

（３）第３回評議員会

- 開催日 平成２５年３月２７日（水）１３：３０～１４：４５
- 議 題 ①平成２４年度収支補正予算の承認について
 ②平成２５年度事業計画及び収支予算の承認について
 ③平成２５年度業務執行理事の承認について
 ④平成２５年度の役員の報酬額について
- 報 告 ①内部統制システム宣言について
 ②平成２４年度実施の主たる事業の報告について
 ③平成２４年度のドーン運営共同体の決算見込みについて
 ④平成２４年度の財団の決算見込みについて
 ⑤平成２５年度財団アドバイザーについて
 ⑥役員賠償責任保険への加入について

３ プロジェクト２０１２

（１）理事の業務担当制の導入（平成２４年６月１日）

一般財団法人への移行を契機に、理事会機能を強化するとともに、各理事の専門または得意分野のノウハウやネットワークを財団運営に活かし、財団の経営力強化、職員の資質向上、事業のレベルアップを図ることを目的に理事の業務担当制を導入した。理事長が各理事の担当を下記のとおり定め、各担当理事は所管の業務について職員に対し、提案、指導助言、管理監督を行った。

分野	業務の内容	担当
運営担当	財団の運営全般に関すること	金光哲司理事
法務担当	財団のコンプライアンス（法令順守）に関すること	段林和江理事
企画・事業担当	事業の企画・運営・講師等の人材紹介	畑律江理事 川中大輔理事 仁科あゆ美理事
渉外担当	ファンドレイジング戦略・手法、ネットワーク拡大	白井文理事
広報担当	財団の認知度アップ方策、広報戦略・手法	泉谷八千代理事

（２）「中期経営プラン（平成２４年度～平成２７年度）」策定（平成２４年６月１日）

平成２４年４月１日、公益法人制度改革に対応して特例民法法人から一般財団法人に移行した。移行

に先立っては、大阪府財政再建プログラム(案)により、平成22年度から自立化法人に仕分けされた。その間「自立化プラン」を作成し、大阪府以外の指定管理業務や国の東日本大震災被災者支援事業など多くの事業の新規受託に成功し、自立化に活路を開いてきた。

今回、新法人への移行を機会に、経営環境の変化に柔軟かつ迅速に対応しながら、財団を将来にわたって維持継続し、男女共同参画社会の実現を目指す事業をより効果的、効率的に展開していくための指針となる「中期経営プラン」を作成した。

(3) 東日本大震災被災者支援事業の一環として「東北女性の手仕事物産展」を開催

内閣府「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」を受託したことで、東北3県(岩手県・宮城県・福島県)を訪問する機会が増え、地元女性団体や自治体等とネットワークができつつある。これを活かし、女性がつくった農産物や加工品、手仕事品等を収集・販売し、女性の経済的自立を応援するイベントを、9月15日(土)・16日(日)の2日間にわたり開催した。

東北3県から22団体の商品が並び、2日間の売上は1,838,235円となった。また、さまざまなイベントにおいて委託販売を行ったほか、各地で同様の物産展が開催されるなどした。

(4) 「関西女の労働問題研究会」からの寄附を活用した事業を実施

「関西女の労働問題研究会」から寄付金をいただき、女性の就労支援及び女性労働問題研究の今後の展開につながる、以下の事業に活用した。

- ①女性の就労支援や職場での課題解決に役立つDVDの購入し、ドーンセンター情報ライブラリー「女性就労支援コーナー」に設置
- ②「竹中恵美子著作集完成記念シンポジウム：竹中理論の意義をつなぐ」を共催事業として開催

(5) 平成24年度「岸和田市DV予防啓発業務」企画競争への参加

企画書等提出	平成24年7月30日(月)
結 果	事業受託者として決定
契約期間	平成24年8月16日(木)～平成25年3月31日(日)

(6) 平成24年度「配偶者からの暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ」受託者への応募

入札・改札	平成24年5月10日(火)
結 果	事業受託者として決定
契約期間	平成24年5月10日(火)～平成25年3月22日(金)

(7) 平成24年度「男女共同参画センター等における性犯罪被害者支援体制整備促進事業」受託者への応募

入札・改札	平成24年12月17日(月)
結 果	事業受託者として決定
契約期間	平成24年12月18日(火)～平成25年3月27日(水)

(8) 「大阪府男女共同参画推進事業」(平成25年度～平成27年度)受託者への応募

入札・改札	平成25年3月26日(火)
-------	---------------

結 果 事業受託者として決定
 契約期間 平成25年6月1日（土）～平成28年3月31日（木）

（9）平成25年度「ポジティブ・アクション展開事業」企画競争への参加

企画書等提出 平成25年3月5日（火）

結 果 事業受託者として決定

契約期間 未定

（10）平成25年度「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」受託者への応募

入札・改札 平成25年3月21日（木）

結 果 事業受託者として決定

契約期間 平成25年4月1日（月）～平成26年3月31日（月）

4 他機関との連携

関係機関相互の情報交換・ネットワーク形成を図ることで、事業及び法人運営の充実を図った。

（1）特定非営利活動法人全国女性会館協議会 団体会員

（2）大阪府内女性関連施設連絡協議会 会員

（3）社団法人おおさか人材雇用開発人権センター 会員

（4）社団法人日本図書館協会 会員

（5）専門図書館関西地区協議会 会員

（6）大阪府外郭団体代表者懇話会 会員

（7）大阪府男女共同参画推進ネットワーク 会員

5 職員研修の実施

（1）内部研修

DVDを活用し、人権について考える研修を実施した。

	月 日	研修名	共同体	イコーラム	財団事務局
1	1月16日（水）	人権研修	2名	3名	9名
2	1月17日（木）	DVD「人権を考える！女性と子どもと母親」「パ	3名	1名	5名
3	1月18日（金）	ワー・ハラスメント そのときあなたは…」視聴	4名	4名	1名
			9名	8名	15名

§ 3 広報・PR

1 広報事業

当財団の活動内容や事業成果等を広く発信するため、ホームページ等を運営するとともに、ニュースレターを発行した。

(1) ホームページ (<http://www.ogef.jp/>) の管理・運営

①目 的 当財団の活動内容等を広く情報公開することを目的にホームページを運営する。

②アクセス数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24年度	4,025	4,063	5,111	4,007	3,712	4,625	4,531	4,023	3,637	4,695	4,065	4,814	51,308
H23年度	3,617	4,291	3,880	3,238	3,854	3,320	3,896	3,506	2,830	4,303	3,636	5,072	45,443
H22年度	2,980	2,471	6,041	7,053	4,795	5,319	3,720	3,644	3,768	4,027	3,492	3,432	50,742

(2) 財団ブログ (<http://ameblo.jp/ogef/>) を利用した情報発信

①目 的 当財団で実施した講座内容等の報告や、セミナー、視察などの報告をわかりやすい内容で情報発信する。

②アクセス数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24年度	—	—	—	2,944	2,758	3,825	3,390	3,896	2,696	2,591	3,083	3,652	28,835

※7月よりアクセス数の集計を開始

(3) SNS「Twitter」(https://twitter.com/O_G_E_F) を利用した情報発信

①目 的 SNSを利用することにより、ホームページ・ブログで発信している情報にアクセスしやすくする。

※8/4開設 144 ツイート

(4) ニュースレター『DAWN通信』の発行

①目 的 賛助会員やご寄付いただいた方などの支援者に向けて活動報告等を行うことを目的に、ニュースレターを発行する。

②発行頻度 年3回

③発行部数 3,000部

④内容等

No.	発行日	内容
第13号	平成24年 4月1日	特集「平成24年度の事業展開：このような事業を展開していきます」 トピックス：一般財団法人に移行しました～19年目の再スタートにご支援を～ 〈執筆〉時岡禎一郎（（一財）大阪府男女共同参画推進財団 理事長）
第14号	平成24年 8月1日	特集「東日本大震災被災地支援事業 どーんといこう東北！ーいわて・みやぎ・ふくしまー」 トピックス：メディアと女性 〈執筆〉泉谷八千代（NHK奈良放送局 局長）

第 15 号	平成 24 年 1 月 1 日	特集 1 「東日本大震災被災地支援事業 ドーンといこう東北！ーいわて・みやぎ・ふくしまー」 特集 2 「アメリカのNGO訪問記」 トピックス：光が見えてくる年に 〈執筆〉時岡禎一郎（（一財）大阪府男女共同参画推進財団 理事長）
--------	--------------------	--

2 賛助会・サポーター制度運営

（1）賛助会事務局の運営

①賛助会PR

②入会受付・賛助会カードの発行

③ニュースレターの発送（年3回）

④賛助会員優待事業の案内

ドーン・シネマクラブ／2012フェミニストカウンセリング専門講座 等

（2）平成24年度入会状況

	会員種別	入会件数	口数
1	個人会員	90名	136
2	団体会員（非営利）	23団体	21
3	団体会員（企業）	6企業	13

（3）賛助会員一覧（平成25年3月31日現在）

①個人会員

尼川 洋子／荒木 美子／池田 幸雄／石元 清英／伊田 久美子／伊藤 誠／馬越 かよ子
 大畑 真由美／岡田 昌子／奥村 幸枝／尾後 裕子／梶川 富美子／川崎 佳代子
 河田 英子／北山 博一／九門 りり子／倉田 清／黒瀬 友佳子／伍賀 偕子／小林 和子
 小牧 美江／小松 満貴子／三枝 泉／清水 由喜／正路 怜子／鈴木 直子／砂湖 和子
 外川 恵／竹中 恵美子／田代 眞朱子／田中 一好／田中 潤子／田中 良正／谷岡 文香
 段林 和江／徳武 聡子／中崎 郁子／夏原 晃子／名取 千里／西辻 達也／服部 道代
 肥田 和子／藤井 三樹生／二木 洋子／本多 利子／米谷 優子／升間 晶子／松岡 一彦
 溝上 久美子／溝手 伸子／溝手 真理／森 俊江／森谷 恭子／柳井 真智子／山川 静代
 山中 紀代子／山本 隆夫／吉岡 重彰／吉年 千寿子 匿名希望31名

②非営利団体

特定非営利活動法人 大阪心のサポートセンター

特定非営利活動法人 心のサポート・ステーション

特定非営利活動法人 リトミック研究センター／大阪第一支局

特定非営利活動法人 生きがい大阪

浪花勘亭流同好会

大阪司法書士会

柳寿会

特定非営利活動法人 大阪府中途失聴・難聴者協会

特定非営利活動法人 ハーティ

大阪難聴児親の会（あゆみ会）
 カウンセリングニューやあやあ
 高齢社会をよくする女性の会・大阪
 オパールネットワーク大阪
 女性のエンパワメントをサポートする会
 女性グループ翼
 劇団シルバームーン
 特定非営利活動法人 グループみこし
 働く女性の人権センター いこる
 I 女性会議大阪 他 3 団体

③企業会員

司法書士事務所 ともえみ
 株式会社 三菱電機ビルテクノサービス関西支社
 株式会社 宣成社
 株式会社 タツミ
 株式会社 ゼロワン 他 1 社

※50 音順、敬称省略

3 視察の受入れ

視察の受入れを行い、当財団事業についての説明を行った。

<受入れ実績>

	月 日	内容	受入数
1	10 月 16 日(火)	大阪市立助産師学院「地域母子保健実習」	教員 2 名 学生 20 名
2	12 月 2 日(金)	大阪教育大学生涯教育計画論専攻学生 2 回生	教員 1 名 学生 38 名
3	12 月 14 日(金)	NPO 法人フェミニストカウンセリング学会堺	8 名

§ 4 公益目的事業概要

1 事例で学ぶ『DV』被害者支援

【事業概要】

(1) 目的 「男女間における暴力に関する調査」(内閣府平成23年度)によると、DV被害にあった事があると答えた人は女性が3人に1人、男性は5～6人に1人。日々営まれる暮らしの中では、犯罪加害者と被害者という対立項でとらえることができにくく、家族を加害者と申告しにくい状況を考えると、実数はこの数字より多いことが予測できる。

このような実態の中、子どもが通う教育・福祉機関で働く職員には、気になる子どもの背景にあるDVに気付いたり、保護者から相談を持ちかけられた時にその気持ちを受容し、専門機関につないでいく力が要求される。

最終的には専門機関につなぐにしても、一次的な窓口として、二次被害を起こさないように子どもを含めて被害者を支えるために、DVへの気づき・加害者対応・相談の受け方・子どもへの働きかけ方など、事例を通して具体的に対応を学ぶ機会を設定する。

【事業内容・実績】

(1) 事例で学ぶ『DV』被害者支援：気になる子どもの背景にあるDVに気づく！

- ① 目的
- ・子どもの様子から、背景のDVに気付くポイントを学び、現場でそれが使えるようにする。
 - ・DV被害者の心理を理解することにより、子ども・保護者を支える方法を知る。
 - ・被害者から相談を受けた時の対応について具体的事例を通して学ぶ。

② 日時 平成25年2月2日(土) 10:00～12:00

③ 場所 ドーンセンター中会議室1(4F)

④ 対象 保育所・幼稚園・小・中学校などで、被害者から相談を受ける可能性のある方
その子どもたちへの対応を学びたい方

⑤ 参加費 2,000円

⑥ 内容・参加実績 定員：20名、申込者数：30名



	日時	内容	参加者数
1	2月2日(土) 10:00～12:00	事例で学ぶ『DV』被害者支援 ～気になる子どもの背景にあるDVに気づく！～ 原 健一(佐賀県DV総合対策センター所長)	24名

1 スーパービジョン講座

【事業概要】

(1) 目的 スーパービジョン (super vision) とは、対人援助にたずさわる者（特に相談援助職）が常に専門家としての資質の向上をめざすための教育方法である。

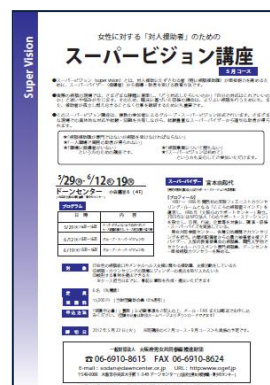
実際の相談の現場では、さまざまな課題に直面し、「どう対応したらいいのか」「どのように理解したらいいのか」「自分の対応はこれでいいのか」・・・と迷いや悩みが生じる。そのため、臨床に基づいた研修の機会は、よりよい相談を行うためにも、また、援助者が燃え尽きることなく、仕事を継続するためにも不可欠である。

このスーパービジョン講座では、女性を対象とした相談やメンタルヘルス支援にたずさわる方が、実際に担当したケースを持ち寄り、ケースの捉え方、アプローチや対応の仕方などについて、経験豊富なスーパーバイザーとともに検討し、援助職としての資質と専門性の向上を図るとともに、女性の自立とエンパワメントのための心理的援助を行うために必要な視点や技術を提供することで、女性心身の健康と社会への参画に資する。

【事業内容・実績】

(1) 女性に対する「対人援助者」のためのスーパービジョン講座

①目的 女性を対象とした相談やメンタルヘルス支援にたずさわる方が、実際に担当したケースを持ち寄り、ケースの捉え方、アプローチや対応の仕方などについて、経験豊富なスーパーバイザーとともに検討し、援助職としての資質と専門性の向上を図るとともに、女性の自立とエンパワメントのための心理的援助を行うために必要な視点や技術を提供することで、女性心身の健康と社会への参画に資する。



②期 間 平成24年5月29日（火）～6月19日（火）

③場 所 ドーンセンター小会議室6（4F）

④スーパーバイザー 宮本由起代（特定非営利活動法人心のサポート・ステーション代表理事）

⑤対 象 ①女性の相談窓口やメンタルヘルス支援に関わる援助職、支援活動をしている方

②相談・カウンセリングの現場にジェンダーの視点を取り入れたい方

③検討する事例を提出できる方

⑥参加費 15,000円

⑦内容・参加実績 定員：6名、申込者数：4名、決定者数：4名、参加者数：4名

	月日	内容	参加者数
1	5月29日（火） 14:00～16:30	スーパービジョンについてのガイダンス	4名
2	6月12日（火） 13:30～16:30	グループ・スーパービジョン①	4名
3	6月19日（火） 13:30～16:30	グループ・スーパービジョン②	4名
			(延)12名

2 2012フェミニストカウンセリング専門講座

【事業概要】

- (1) 目的 女性を対象とした相談やメンタルヘルス支援に関わる援助職、支援活動をしている方などを対象に、女性の自立とエンパワメントのための心理的援助を行うために必要な知識と技術を提供することで、女性の心身の健康と社会への参画に資する。

【事業内容・実績】

(1) 2012フェミニストカウンセリング専門講座：理論コース

- ①目的 フェミニストカウンセリングの中でも重要なテーマを取り上げ、女性のおかれている状況やそこからくる心理的問題を考えるとともに、ジェンダーに敏感な視点がなければ適切に対応できない、DV、性暴力・虐待サバイバーへのサポートのあり方を学ぶ。
- ②期間 平成24年10月27日（土）～11月25日（日）
※4日間・全8回（計20時間）
- ③場所 ドーンセンター大会議室1（4F）
- ④対象 ①女性を対象とした相談事業や、メンタルヘルスに関する事業に関わっている方
②カウンセリングの基礎知識があり、フェミニズムの視点に立った女性への心理的援助に関心のある方
- ⑤参加費 20,000円（各回3,000円）
- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：38名、決定者数：38名、参加者数：36名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	10月27日(土) 10:30～13:00	フェミニストカウンセリングとは ～エンパワメントのための考え方と技法～ 川喜田好恵（日本フェミニストカウンセラー協会代表理事）	31名
2	10月27日(土) 14:00～16:30	“女”と“男”だけじゃない～多様な性の理解と支援～ 川西寿美子（大阪私立学校人権教育研究会）	32名
3	11月3日(土) 10:30～13:00	女性の貧困と就労の実態～今、労働の場から見える課題と支援～ 三山雅子（同志社大学院社会学研究科准教授）	34名
4	11月3日(土) 14:00～16:30	性暴力・DV被害者への医療～被害者の心身のケアと治療～ 加藤治子（阪南中央病院、はるウィメンズクリニック産婦人科医、 性暴力救援センター・大阪（SACHICO）代表）	33名
5	11月24日(土) 10:30～13:00	法と司法に潜むジェンダー～性暴力・DV被害者のアドボカシー～ 松尾園子（山本・森・松尾法律事務所弁護士）	34名
6	11月24日(土) 14:00～16:30	『私は私。母は母。』～自分を傷つけずに母親と接する方法～ 加藤伊都子（フェミニストカウンセリング堺カウンセラー）	38名
7	11月25日(日) 10:30～13:00	心療内科を訪れる女性たち～“からだ”に表れる女性の悩み～ 藤田光恵（ふじたみつえクリニック院長）	38名
8	11月25日(日) 14:00～16:30	虐待・暴力サバイバー支援のあり方と フェミニストカウンセラーの役割 井上摩耶子（ウィメンズカウンセリング京都代表）	37名
			(延)277名

(2) 2012フェミニストカウンセリング専門講座：研究コース

①目 的 理論コース修了生を対象に、理論コースで学んだ知識を実際の現場でどう活かすかを考える。現場での実際のケースに沿いながら、フェミニストカウンセリングでのとらえ方、アプローチや対応の仕方などについてスーパーバイザーとともに検討し、援助職としての資質と専門性の向上を図る。(2グループ設定)

②期 間 Aグループ：平成25年1月12日(土)～平成25年2月16日(土)

※1. 5日間・全3回(計7.5時間)

Bグループ：平成24年12月15日(土)～平成25年2月16日(土)

※3日間・全6回(計15時間)

③場 所 ドーンセンター 中会議室1・2(4F)

④対 象 ①本講座の理論コースを修了している方 *過去5年(2007年度以降)開催分

②相談員・カウンセラー、ケースワーカー、ファシリテーターなど援助の現場を持っている方

③上記に該当し、原則全回参加できる方

⑤参加費 Aグループ：10,000円 Bグループ：20,000円

⑥内容・参加実績 定員：各グループ15名、計30名

申込者数：16名、決定者数：16名、参加者数：15名

	日時	スーパーバイザー	主な対象
A	1月12日(土) 14:00～16:30	井上摩耶子 (ウィメンズカウンセリング京都代表)	福祉・医療・シェルターなどケースワーク的 関わりを必要とする現場を持つ方対象
	2月16日(土) 10:30～16:30		
B	12月15日(土) 10:30～16:30	川喜田好恵 (日本フェミニストカウンセラー協会代表理事)	女性センター・行政・教育機関などの公的な 機関で相談の現場を持つ方対象
	1月12日(土) 10:30～16:30		
	2月16日(土) 10:30～16:30		

§ 5 一般事業概要

1 女性に関する情報の収集及び提供に関する事業

【事業概要】

- (1) 目 的 女性に関する情報を収集、整理、加工し、データベース化するとともに、これらを活用して、多様な情報ニーズに的確に対応した情報を提供する。
- (2) 期 間 平成24年4月1日～平成25年3月31日
- (3) 場 所 ドーンセンター 情報ライブラリー（2F）

【事業内容・実績】

(1) ドーンセンター情報ライブラリーの運営

女性関係の図書・雑誌・行政資料・視聴覚資料等の閲覧・視聴・貸出サービスを行うほか、利用者からの情報相談に応じる。情報ライブラリーの運営にあたっては、「大阪府立男女共同参画・青少年センター情報ライブラリー管理運営要領」に基づき行う。

①開館日時 火・水・木・土曜日 9:30～17:30、金曜日 9:30～20:00

②利用状況

<入館者数・ビデオ館内・貸出・返却・予約・新規登録>

	入館者数	ビデオ館内	貸出	返却	予約	登録(※1)
4月	1,769	91	544	544	8	15
5月	2,044	73	797	611	18	48
6月	2,410	107	727	812	5	24
7月	2,190	55	580	634	6	24
8月	2,805	83	740	718	9	73
9月	1,966	55	737	689	34	29
10月	2,479	68	655	715	25	81
11月	1,967	81	819	623	14	20
12月	1,806	62	610	685	16	18
1月	1,425	53	508	597	18	12
2月	1,508	69	581	537	20	22
3月	1,467	68	758	779	9	18
H24年度	23,836	865	8,056	7,944	182	384
H23年度	23,700	1,133	8,691	8,748	208	285
H22年度	26,366	1,459	10,956	10,856	243	307

※1 ライブラリーカード新規登録者数（カード登録者数 計22,196人）

<資料別貸出冊数>

分 類	平成24年度 (H25.3.31現在)	平成23年度 (H24.3.31現在)	平成22年度 (H23.3.31現在)
図書・雑誌(冊)	4,958	5,129	6,759
行政資料(冊)	353	354	262
視聴覚資料(点)	2,745	3,208	3,935
合 計	8,056	8,691	10,956

<情報相談>

ライブラリースタッフが、図書・資料・データベース等を活用して、検索指導や来館・電話・メールによる情報相談に応じる。

分 類	平成 24 年度 (H25. 3. 31 現在)	平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)
利用案内	3, 668	4, 267	4, 880
検索指導	260	232	255
資料の所蔵・所在調査	1, 119	1, 145	1, 076
特定テーマの資料案内	307	458	720
人材・学習情報の提供	97	138	282
グループ・施設情報の提供	74	54	119
ライブラリー活動・運営情報の提供	98	102	150
その他	15	5	0
合 計	5, 638	6, 401	7, 482

<府内公共図書館協力貸出サービス>

非来館者に対するサービス拡充のため、大阪府立図書館の協力により、府内公共図書館への協力貸出サービスを行う。

府内公共図書館への貸出（冊）	平成 24 年度 (H25. 3. 31 現在)	平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)
	4	2	7

<大阪市立男女共同参画センター（クレオ大阪）との相互貸借サービス>

非来館者に対するサービス拡充のため、府市連携により、所蔵資料の相互貸借サービスを行う。

クレオ大阪との相互貸借（冊）	平成 24 年度 (H25. 3. 31 現在)	平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)
	20	27	4

③図書・資料の蔵書数

	平成 24 年度 (H25. 3. 31 現在)	平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)
図 書（冊）	43, 073	42, 126	41, 742
行政資料（冊）	13, 213	12, 889	12, 633
視聴覚資料（点）	2, 284	2, 229	2, 191
ビデオ	1, 679	1, 679	1, 688
DVD	571	516	421
カセットブック	34	34	34
雑誌（冊）	53, 207	50, 524	49, 380
タイトル数	1, 704	1, 675	1, 636

(2) 人材情報データベースの管理運営

審議会や各種委員会委員候補となる様々な分野の女性人材や女性問題等の専門家に関するデータベースを管理運営し、依頼によって照会に応じる。

＜既存データの更新＞ 年1回

＜人材情報を提供した情報相談件数＞ 計84件

(3) ドーンセンターホームページの管理運営

ドーンセンターホームページ (<http://www.dawncenter.or.jp/>) の管理運営に係る統括者として、センターで実施される事業案内・トピックス等をホームページで情報提供する。

トップページへのアクセス数	平成24年度 (H25.3.31現在)	平成23年度 (H24.3.31現在)	平成22年度 (H23.3.31現在)
	316,643	296,854	321,315

＜メニュー別アクセス数＞

メニュー名称	平成24年度 (H25.3.31現在)	平成23年度 (H24.3.31現在)	平成22年度 (H23.3.31現在)
事業案内	33,386	43,133	44,103
施設案内	244,203	250,509	257,799
講座・イベント	95,629	113,971	148,260
情報ライブラリー	589,091	679,477	762,542
女性情報ステーション	62,225	68,946	88,257
出版物	53,447	70,487	85,361
事業統計	20,550	22,982	31,071
リンク集	6,819	8,844	10,866
Introduction in English	66,051	58,667	77,941
携帯電話による施設利用状況アクセス	3,308	5,235	4,564
合 計	1,174,709	1,322,251	1,510,764

(4) 情報配信サービス

①メールマガジン『e-DAWN』の発行

ドーンセンターの最新ニュースを伝えるメールマガジンを月2回発行。

登録者数(人)	平成24年度 (H25.3.31現在)	平成23年度 (H24.3.31現在)	平成22年度 (H23.3.31現在)
	1,179	1,217	1,286

②情報メールサービスの配信

インターネット上で発信された情報から、男女共同参画に関わる活動や学習に活かせるものをピックアップし、月1回メールで配信。

登録者数(人)	平成24年度 (H25.3.31現在)	平成23年度 (H24.3.31現在)	平成22年度 (H23.3.31現在)
	221	219	213

(5) 視察・体験学習・フィールドワーク等の受入れ

情報ライブラリーの所蔵資料を活用し、学びの機会を提供した。

	月日	内容	参加者数
1	4月4日(水)～4月6日(木)	職場体験(大阪府若者サポートステーション)	1名
2	4月10日(火)	ライブラリーツアー(一般利用者)	1名
3	4月11日(水)、13日(金)、 18日(水)、20日(金)、 25日(水)、27日(金)	職場体験(大阪府若者サポートステーション)	1名
4	4月26日(木)	フィールドワーク(大阪女子短期大学)	学生 14名 教員 2名
5	5月2日(水)	職場体験(大阪府若者サポートステーション)	1名
6	5月12日(土)	ライブラリーツアー(「はなみずきキャリア塾 メンタルヘルス編Ⅱ」受講者)	9名
7	5月17日(木)	フィールドワーク(大阪女子短期大学)	学生 14名 教員 2名
8	5月25日(金)	ライブラリーツアー(「母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練」5月開講コース受講生)	15名
9	5月29日(火)、30日(水)、 6月1日(金)	職場体験(JOB プラザ OSAKA)	1名
10	5月31日(木)	ライブラリーツアー(一般利用者)	1名
11	6月13日(水)～15日(金)	職場体験(JOB プラザ OSAKA)	1名
12	7月7日(土)	ライブラリーツアー(「母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練」7月開講コース受講生)	13名
13	7月26日(木)	ライブラリーツアー(茨木市立豊川小学校)	6名
14	8月3日(金)	ライブラリーツアー(一般利用者)	1名
15	8月7日(火)	フィールドワーク(和泉市立郷荘中学校)	11名
16	8月9日(木)	ライブラリーツアー(大手前高校)	4名
17	8月14日(火)、16日(木)、 17日(金)	職場体験(JOB プラザ OSAKA)	1名
18	8月14日(火)～25日(土)	フィールドワーク(大阪大谷大学)	1名
19	8月18日(土)	ライブラリーツアー(インターンシップ)	10名
20	8月22日(水)	公明党府議会議員視察	2名
21	8月24日(金)	ライブラリーツアー(学校教員のための研修プログラム受講者)	70名
22	9月8日(土)	ライブラリーツアー(「母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練」9月開講コース受講生)	15名
23	9月11日(火)、12日(水)、 14日(金)	職場体験(JOB プラザ OSAKA)	1名
24	9月21日(金)	ライブラリーツアー(ヒューライツ大阪インターンシップ)	2名
25	10月16日(火)	フィールドワーク(大阪市立助産師学院)	22名
26	10月25日(木)	大阪府春日丘高校施設見学	52名
27	10月25日(木)～26日(金)	大阪女学院大学「人権教育講座」	30名
28	10月27日(土)	ライブラリーツアー(「母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練」11月開講コース受講生)	16名
29	11月9日(金)	職場体験(JOB プラザ OSAKA)	1名

30	11月24日(土)～30日(金)	同志社大学図書館司書課程実習	2名
31	11月30日(金)	フィールドワーク(大阪教育大学生涯教育計画論研究室)	39名
32	12月14日(金)	ライブラリーツアー(フェミニストカウンセリング堺)	4名
33	12月14日(金)、15日(土)、 19日(水)、20日(木)	職場体験(JOBプラザ OSAKA)	1名
34	12月15日(土)	ライブラリーツアー(大阪大学図書館)	1名
35	1月29日(火)	ライブラリーツアー(ミネソタ州聖キャサリン大学大学院)	14名
36	2月13日(水)、14日(木)、 19日(火)～21日(木)	職場体験(JOBプラザ OSAKA)	1名
37	2月26日(火)～28日(木)	職場体験(JOBプラザ OSAKA)	1名
38	3月2日(土)	韓国の女性団体視察	4名
39			合計 388名

(6) 情報ライブラリー所蔵資料のテーマ展示

ドーンセンターで開催する大阪府および当財団主催の関連事業に合わせて選書し、展示した。

月	テーマ	展示資料数	配布リスト数
4月	男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム	129	500
	2011年度貸出ランキング	166	500
	働く女性のココロとカラダ	123	300
	追悼 吉武輝子さん	49	-----
6月	「男女共同参画週間」関連図書	140	300
	大阪府不妊専門相談センター サポートグループ関連資料	57	-----
7月	シングルマザーの仕事と支援	120	300
8月	災害からの復興と女性たち	80	500
	Women Pioneers---女性先駆者たち	104	-----
	よりよい関係をつくるために 交際相手からの暴力防止	80	300
10月	はなみずきキャリア塾 関連資料	96	300
	Women Pioneers---女性先駆者たち	80	
	情報を読み解く メディアと女性の人権	94	300
	女性の自立とエンパワメントを応援するフェミニストカウンセリング	131	300
11月	女性に対する暴力をなくす運動 2012	104	300
12月	輝け！理系女子！	120	-----
1月	追悼 ベアテ・シロタ・ゴードンさん	15	-----
2月	災害からの復興と女性たち	96	300
	追悼 高野悦子さん	56	-----

(7) 女性就労支援コーナー

情報ライブラリーにおいて、結婚や出産などで仕事を中断した後に再就職を希望している女性の方を対象に、就職・再就職活動を円滑にスタートさせることを応援する。

<提供しているサービス>

- ・しごとに役立つ図書等を集めた資料コーナー 展示資料数(170点)
- ・就職・再就職情報を入手できる機関の紹介
- ・しごとに関する相談ができる行政窓口や民間機関の紹介

- ・就労に役立つウェブサイトの紹介
- ・就労のための研修・職業訓練等の紹介（検索用専用PC使用可）
- ・ジョブ・カードの発行（予約制）
- ・キャリアカウンセリング（予約制）（8名）

（８）情報ライブラリー上映会

①目 的 情報ライブラリー所蔵の視聴覚資料の中から、女性監督のドキュメンタリー作品や、ジェンダー問題を取り上げた作品あるいは女性グループの活動を追ったドキュメンタリーなどを上映することで、当ライブラリーが所蔵する充実した資料をアピールし、来館者数並びに利用率向上に繋がることを目指す。

②期 間 平成25年1月～3月

③場 所 ドーンセンター情報ライブラリー グループブース（2F）

④参加費 無料

⑤内容・参加実績 定員：20名

	月日	テーマ／講師	申込者数	参加者数
1	1月26日（土） 31日（木）	『100人のピースウーマン』 ＜2005年/スイス/55分/監督：ガブリエラ・ノイハウス& アンジェロ・スクデレッティ＞	9名	7名
2	2月23日（土） 28日（木）	『ベアテのニッポンだいすき アジア大好き！』 ＜制作：ドキュメンタリー工房/1999年/43分/日本＞	60名	40名
3	3月28日（木） 30日（土）	『女性監督にカンバイ！』 ＜2007年/日本/87分/監督：山崎博子＞	14名	16名
			(延)83名	(延)63名

（９）女性のためのキャリア支援「キャリアカウンセリングを受けてみませんか？」

①目 的 平成24年度より情報ライブラリー内に設置した「女性就労支援コーナー」の一環である「キャリアカウンセリング」について、実施日時を明確にしてより積極的に広報し、女性のキャリア形成を支援する。

②日 時 平成25年3月14日（木）、21日（木）、28日（木）

11:00～、13:00～、14:00～、15:00～

③場 所 ドーンセンター情報ライブラリー グループブース（2F）

④対 象 大阪府在住・在勤の女性（予約制）

④カウンセリング費用 無料

⑤内容・参加実績 定員：12名、申込者数：8名、参加者数：8名

	月日	カウンセリング担当者	参加者数
1	3月14日（木）	萬田久美子・平井厚子	0名
2	3月21日（木）	萬田久美子・平井厚子	4名
3	3月28日（木）	萬田久美子・平井厚子	4名
			合計8名

2 女性の抱える問題に関する相談事業

【事業概要】

- (1) 目 的 女性の直面しているさまざまな問題について、相談カウンセリングを通じ、女性の自立と主体的な生き方に向け、必要な援助と解決のためのサポートを行う。
- (2) 期 間 平成24年4月1日～平成25年3月31日
- (3) 場 所 ドーンセンター サポート・カウンセリングルーム（3F）

【事業内容・実績】

(1) 女性のための面接相談

- ①日 時 火～金曜日 17:00～21:00
土・日曜日 10:00～18:00
- ②相談員 専門の女性カウンセラー
- ③相談件数

<主訴・年代別相談件数>

		平成24年度										平成23年度	
主訴／年代		～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明	合計	(%)	合計	(%)
生き方		1	26	87	107	45	6	2	1	275	20.7	326	23.4
こころ		1	12	49	62	13	7	0	3	147	11.0	133	9.6
からだ		0	0	3	1	2	7	0	0	13	1.0	7	0.5
仕事上の問題		0	3	8	20	5	0	0	0	36	2.7	25	1.8
パートナー関係		0	2	69	46	23	13	4	4	161	12.1	205	14.7
親子・家庭の悩み		2	25	40	76	26	36	8	0	213	16.0	181	13.0
人間関係の悩み		2	17	45	26	8	2	0	0	100	7.5	101	7.3
性・暴力被害		5	19	174	106	47	25	2	1	379	28.5	411	29.5
暮らし		0	1	1	2	1	0	1	0	6	0.5	2	0.1
その他		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1	0	0.0
H24 年度	合計	11	105	476	446	170	96	17	10	1,331	100.0	1,391	100.0
	(%)	0.8	7.9	35.8	33.5	12.8	7.2	1.3	0.8	100.0			
H23 年度	合計	4	92	500	441	194	123	21	16	1,391			
	(%)	0.3	6.6	35.9	31.7	13.9	8.8	1.5	1.2	100.0			

<月別相談件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24年度	117	114	115	104	118	111	116	109	104	99	109	115	1,331
H23年度	122	120	114	127	114	107	120	121	111	111	105	119	1,391
H22年度	114	111	125	120	113	103	118	101	108	96	115	124	1,348

(2) 女性の悩み電話相談

①日 時 火～金曜日 17:00～20:00

土・日曜日 10:00～16:00

②相談員 女性相談員

③相談件数

<主訴・年代別相談件数>

		平成 2 4 年度										平成 2 3 年度	
主訴／年代		～10代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70代～	不明	合計	(%)	合計	(%)
生き方		1	1	60	61	120	15	2	8	268	12. 8	254	12. 1
こころ		1	6	206	124	137	18	2	39	533	25. 5	494	23. 5
からだ		0	1	11	14	63	1	0	2	92	4. 4	89	4. 2
仕事上の問題		0	2	17	9	6	0	0	2	36	1. 7	36	1. 7
パートナー関係		0	6	38	39	29	29	1	11	153	7. 3	177	8. 4
親子・家庭の悩み		0	1	23	53	77	24	3	9	190	9. 1	189	9. 0
人間関係の悩み		0	8	57	80	46	15	0	18	224	10. 7	233	11. 1
性・暴力被害		0	22	36	27	15	14	1	11	126	6. 0	160	7. 6
暮らし		0	1	40	10	37	2	0	15	105	5. 0	69	3. 3
その他		0	0	1	1	3	1	0	358	364	17. 4	404	19. 2
H24 年度	合計	3	48	488	418	533	119	9	473	2, 091	100. 0	2, 105	100. 0
	(%)	0. 1	2. 3	23. 3	20. 0	25. 5	5. 7	0. 4	22. 6	100. 0			
H23 年度	合計	4	63	353	497	555	84	17	532	2, 105			
	(%)	0. 2	3. 0	16. 8	23. 6	26. 4	4. 0	0. 8	25. 3	100. 0			

<月別相談件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24年度	204	201	193	190	167	156	160	144	158	155	164	199	2,091
H23年度	182	166	173	202	172	160	194	156	169	159	174	198	2,105
H22年度	225	189	216	202	203	167	182	163	180	163	169	198	2,257

<留守電件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24年度	370	514	421	394	462	615	526	473	320	383	385	502	5,365
H23年度	465	527	402	369	413	532	445	480	399	489	550	395	5,466
H22年度	391	387	404	445	472	460	372	422	315	406	496	508	5,078

（３）相談事務局の運営

①目 的 相談に関する問い合わせや面接相談の予約受付業務及び相談来訪者対応を行うとともに、より適切な相談機関につなぐためのインテークや情報提供業務を行う。

②日 時 火～金曜日 １３：３０～１８：００ １８：４５～２１：００
土・日曜日 ９：３０～１３：００ １３：４５～１８：００

③対応件数

<問い合わせ・予約受付等件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H24	H23
相談予約等	164	147	161	149	154	163	142	141	123	142	128	156	1,770	1,751
インテーク	36	37	26	17	33	20	31	28	16	19	17	29	309	295
事務電話	59	45	51	43	38	43	33	24	20	40	36	42	474	489
来訪者対応	122	120	121	105	120	114	120	113	106	105	111	117	1,374	1,489
H24 年度	381	349	359	314	345	340	326	306	265	306	292	344	3,927	4,024
H23 年度	358	359	334	336	341	328	322	336	296	303	345	366	4,024	

<留守電件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24 年度	94	102	115	119	84	135	107	113	67	114	77	88	1,215
H23 年度	102	148	111	84	111	110	97	81	19	57	129	110	1,159
H22 年度	105	108	126	131	142	106	130	120	97	109	106	136	1,416

（４）相談員会議の開催

①目 的 相談事業に関わる相談員及び事務局スタッフが定期的に集まり、相談事業運営会議およびケース検討会を実施することで、相談事業の質と専門性の維持・向上を図る。

②日 時 原則第１火曜日 １４：００～１６：００ ※休館日にあたる場合は翌週に振替え

③出席者 電話・面接相談員、相談事務局、統括ディレクター、事務局長
※その他、議題に応じて関係者が出席

④内容・出席者数

	月日	議題	出席者数
1	4月3日（火）	平成24年度業務推進体制について／相談事業の運営について	16名
2	5月15日（火）	大阪府・市統合についての報告等 事例検討会	16名
3	6月5日（火）	理事会報告、府市統合本部6月改革案について 事例検討会	16名
4	7月3日（火）	評議委員会報告等 事例検討会	12名
6	9月4日（火）	今年度末にて契約満期の件について 事例検討会	13名
7	10月2日（火）	大阪府被害者支援会議等報告 事例検討会	13名

8	11月13日（火）	府市統合の現状について等 事例検討会	10名
9	12月4日（火）	大阪府の状況について等 事例検討会	10名
10	2月5日（火）	来年度大阪府受託事業について 事例検討会	12名

（５）相談員研修の実施

①目 的 電話・面接相談を担当する相談員を対象に、スーパービジョンの機会をつくることで、相談事業の質と専門性の維持・向上を図る。また、新たに相談員を雇用した場合は、一定期間の研修を行う。

②日 時 随時

③対 象 電話・面接相談員、相談事務局スタッフ

④内 容

＜スタッフ研修＞

	月日	内 容	参加者数
1	10月27日（土）、11月3日（土）、24日（土）、25日（日）	フェミニストカウンセリング専門講座	1名
2	1月16日（水）	人権DVD視聴	1名

＜相談員研修＞

	月日	議 題
1	5月15日（火）	事例検討：「性虐待・虐待被害」
2	6月5日（火）	事例検討：「DV」
3	7月3日（火）	事例検討：「鬱・精神症状」
4	9月4日（火）	事例検討：「教育虐待・虐待被害」
5	10月2日（火）	事例検討：「虐待被害・依存傾向」
6	11月13日（火）	事例検討：「デートDV」
7	12月4日（火）	事例検討：「DV」
8	2月5日（火）	事例検討：「自殺企図」
9	3月5日（火）	事例検討：「虐待被害」

(6) 広報

①リーフレットの関係機関への配布等

4月：約3,000部

②ホームページ・メールマガジンなどを活用したWEB発信

4月：ドーンセンターホームページ更新

③関係機関が発行する相談先一覧への掲載

月	媒 体
4月	豊中市ホームページ「相談の窓口」
5月	堺市自殺対策事業リーフレット「相談機関一覧（悩み相談）2012年度版」
6月	茨木市「ひとり親家庭施策案内」 大阪府人権協会「人権相談機関ネットワーク」
7月	大阪府警本部総務部府民センター「被害者の手引き」 大阪府警察本部府民応接センター調整係「相談窓口のご案内」
9月	堺市自殺対策事業リーフレット「相談機関一覧（悩み相談）2012年度版」増刷 豊中市「人権白書」 和泉市「男女共同参画啓発カレンダー」
10月	豊中市「人権白書」 枚方市「配偶者からの暴力相談窓口」
11月	茨木市「人権・男女共同参画啓発リーフレット」 豊中市「広報とよなか」
12月	大阪府被害者支援会議 パンフレット「犯罪被害にあわれた方に」掲載
2月	堺市「相談機関一覧」
3月	東大阪市「悩みの相談先一覧」

④研修・講座受講生への案内

月	研修・講座名
5月	男女共同参画施策に関わる担当者のための研修プログラム 約50部
6月	男性相談に関わる担当者のための研修プログラム 約50部 女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム 約50部
10月	府立勝山高校ドーンセンター見学時 約60部
11月	フェミニストカウンセリング専門講座 約50部
2月	事例で学ぶDV被害者支援 約20部
3月	キャリアカウンセリング受講者 約10部

(8) 社会資源情報の収集と提供

月	研修・講座名
7月	大阪府被害者支援会議への意見回答 NP0 法人女性ヘルプネットワークより調査協力依頼
2月	法テラスが行う犯罪被害者支援業務に関するアンケート
3月	堺市DV啓発冊子

(9) カウンセラー派遣

①目 的 配偶者からの暴力による被害者を保護している民間シェルターに対し、被害者の心理的援助を行う女性カウンセラーを派遣し、被害者の自立に資する。

②派遣・相談件数

<月別件数>

平成24年度													
派遣先／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
シェルター（I）	5	5	5	5	5	6	4	6	5	5	4	5	60
	5	5	5	5	5	6	4	6	5	5	4	5	60
シェルター（S）	3	3	3	3	4	2	3	3	3	3	3	3	36
	3	3	3	3	4	2	3	3	3	3	3	3	36
シェルター（R）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シェルター（Y）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シェルター（A）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	8	8	8	9	8	7	9	8	8	7	8	96
	8	8	8	8	9	8	7	9	8	8	7	8	96

シェルター名については保護の必要上、頭文字等で表す。上段は訪問回数、下段は相談者数

<前年度比較>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成24年度	8	8	8	8	9	8	7	9	8	8	7	8	96
	8	8	8	8	9	8	7	9	8	8	7	8	96
平成23年度	7	7	7	9	7	8	8	8	8	9	9	9	96
	7	7	7	9	7	8	8	8	8	9	9	9	96
平成22年度	6	6	5	6	5	5	12	7	7	7	5	6	96
	6	6	6	6	6	6	13	10	9	9	7	8	96

(9) その他

①啓発講座事業において相談員が講師を務め、女性相談の知識と技術を提供

月	研修・講座名
5月	男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム
6月	女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム

②通所証明書の発行及び個人情報開示件数

月	内容	件数
6月	個人情報開示	1件
7月	個人情報開示	1件
11月	個人情報開示	1件
1月	個人情報開示	1件

③関係機関との連絡会議への出席

	月日	内容
1	9月19日（水）	大阪府被害者連絡会議
2	1月29日（火）	大阪府被害者連絡会議

3 男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業

【事業概要】

- (1) 目 的 男女共同参画に対する正しい理解と認識を深めるため、男女共同参画社会基本法、大阪府男女共同参画推進条例並びに改定おおさか男女共同参画プランの趣旨を踏まえ、大阪府域における男女共同参画施策の課題を分析し、実践的かつ効果的な講座やワークショップ、学習会等を実施する。
- (2) 期 間 平成24年4月1日～平成25年3月31日

【事業内容・実績】

(1) 男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム：基礎編

- ①目 的 初めて男女共同参画施策に関わる職員が、ジェンダーの視点を高め、プログラムを企画・立案し、事業を推進していく力量の形成をめざす。
- ②期 間 平成24年5月24日（木）～6月14日（木） 全6回
- ③場 所 ドーンセンター大会議室2（5F）
- ④対 象 配属年数が1年程度の男女共同参画施策担当の行政職員、関係機関及び関連施設の職員
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：50名、受講決定：49名



	日時	テーマ／講師	参加者数
	5月24日（木） 13:30～14:00	オリエンテーション	47名
1	5月24日（木） 14:00～16:00	世界の流れ・日本の動きを知る 清野博子（元ドーンセンター館長）	
2	6月1日（木） 10:00～12:00	女性相談とは～女性のエンパワメントのための相談のあり方～ 宮本由起代（NPO法人心のサポート・ステーション代表理事）	41名
3	6月1日（木） 13:00～15:30	ワークショップ～男女共同参画を感じる、体験する～ カン・ソンミ（現・ハラン性平等教育研究所、 元・韓国・京畿道家族女性開発院教育トレーニング室長）※	43名
4	6月7日（木） 10:30～12:30	担当者のための情報活用ノウハウ～女性情報、メディア、著作権～ 木下みゆき（（一財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）	35名
5	6月7日（木） 13:30～16:00	講座の企画、広報・運営－1 仁科あゆ美（（一財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）	39名
6	6月14日（木） 14:00～16:30	講座の企画、広報・運営－2 仁科あゆ美（（一財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）	30名
			(延)235名

※協力：（財）アジア・太平洋人権情報センター

(2) 男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム：応用編

- ①目 的 男女共同参画の啓発における取組として、担当する職員が、
多様な機関と連携・協働しながら事業推進していくために効果
的な会議や講座の運営方法を身につける。
- ②日 時 平成24年10月2日（火）13：00～17：00
- ③場 所 ドーンセンター大会議室3（4F）
- ④対 象 大阪府内の男女共同参画施策担当の行政職員、及び
関係機関・関連施設の職員
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：30名、申込者数：31名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	10月2日（火） 13:00～17:00	ファシリテーション力をつける！ ～参加者の力を引き出し、効果的な講座・会議を運営するために～ ちよんせいこ（人まちファシリテーション工房代表）	27名

(3) 女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム

- ①目 的 女性を対象とした相談事業に携わる職員が、女性の悩みの背
景にあるジェンダー問題を理解するとともに、男女共同参画社
会づくりの視点から、女性相談のあり方を理解し、女性相談の
実際について具体的に学び、相談事業の運営に役立ててもら
うことを目的に開催する。
- ②日 時 平成24年6月28日（木）、7月5日（木）
14：00～16：00
- ③場 所 ドーンセンター大会議室1（4F）
- ④対 象 女性相談事業に携わる行政職員、関係機関及び
関連施設の職員
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：61名

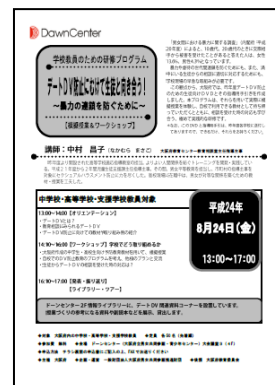


	日時	テーマ／講師	参加者数
1	6月28日（木） 14:00～16:00	相談現場から見える女性問題 ～女性の悩みをジェンダーの視点で読み解く～ 川喜田好恵（ドーンセンターカウンセラー）	44名
2	7月5日（木） 14:00～16:00	女性相談の実際～構成事例を使って～ 杉本志津佳（ドーンセンターカウンセラー）	46名
			(延)90名

(4) 学校教員のための研修プログラム

「デートDV防止に向けて生徒と向き合う」

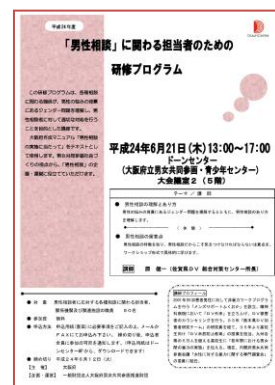
- ①目 的 学校教員を対象に、児童・生徒へのDV予防啓発の重要性や効果的な指導の具体的方法等についての研修を実施することにより、教育現場での若年DV予防につなぐことを目的とする。
- ②日 時 平成24年8月24日(金) 13:00～17:00
- ③場 所 ドーンセンター特別会議室(5F)
- ④対 象 大阪府内の中学校教員、大阪府内の高等学校教員
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員: 50名、申込者数: 72名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	8月24日(金) 13:00～17:00	「デートDV防止に向けて生徒を向きあう！ ～暴力の連鎖を防ぐために～」 中村昌子(大阪府教育センター教育企画部教育相談室 主任指導主事) 【講義】 ・デートDVとは? ・教育相談にみられるデートDV ・デートDV防止に向けての教材や取り組み例の紹介 【ワークショップ】 ・大阪府作成の中学生・高校生向け予防教育教材を用いて模擬授業 ・自校でのDV防止教育のプログラムを考え、他校のプランと交流 ・生徒からデートDVの相談を受けた時の対応は? 【発表・振り返り】 【情報ライブラリツアー】	70名

(5) 「男性相談」に関わる担当者のための研修プログラム

- ①目 的 男性の様々な困難には、社会通念や習慣によって作り上げられた「男性像」が大きく影響している。男性相談者に応対する各種相談に携わる職員が、背景にあるジェンダー問題を理解し、相談者に対して適切な対応を行うことを目的とする。
- ②日 時 平成24年6月21日(木) 13:00～17:00
- ③場 所 ドーンセンター大会議室2(5F)
- ④対 象 男性相談者に応対する各種相談に関わる担当者、関係機関及び関連施設の職員
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員: 50名、申込者数: 52名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	6月21日(木) 13:00～17:00	「男性相談」に関わる担当者のための研修プログラム ・男性相談の理解とあり方 ・男性相談の留意点 原 健一(佐賀県DV総合対策センター所長)	46名

（６）企業向け啓発講座

「女性を活かせば企業は伸びる～できることはきっとある！やってみたら業績アップ！～」

- ①目 的 中・小規模企業の経営者を対象に、女性を活用して働きやすい職場をつくることで、企業が成長できることを、アンケートやインタビュー調査から提示し、そのために導入すべき諸施策について提案することで、女性の積極活用を促進する。

実践編では中・小規模企業の経営者等を対象に、理論編の内容を踏まえて、実際に女性が活躍している中小企業の取り組み事例を紹介することにより、中小企業だからこその女性の活用方策があることを理解していただき、女性の積極活用を促進する。

- ②日 時 平成24年11月16日（金）13：30～17：45

- ③場 所 ドーンセンター大会議室2（5F）

- ④対 象 企業の経営者、人事担当者、管理職等、テーマに関心のある方

- ⑤参加費 無料

- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：25名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	11月16日(金) 13:30～15:30	【理論編】女性が活躍している企業の共通点を探る 川口章（同志社大学政策学部教授）	16名
2	11月16日(金) 15:45～17:45	【実践編】事例で学ぶ！女性社員の活躍推進 コーディネーター：諸麦美紀（朝日新聞大阪本社生活文化部記者） 事例発表企業：株式会社天彦産業、株式会社ロッコー	16名
			(延) 32名

（７）男性向け啓発講座「男の魅力向上術～仕事もパートナー関係もハッピーに～」

- ①目 的 アメリカのキャリア研究家D. E. スーパーによれば30歳代はキャリアの探索期から確立期にかかり、子・親・配偶者・職業人など様々な役割を引き受ける世代である。そのような時期にある男性に自分自身を見直し、固定的な性別役割分業観を払拭した生き方につなげる。

- ②日 時 平成24年11月28日（木）19：00～21：00

- ③場 所 ドーンセンター大会議室1（4F）

- ④対 象 テーマに関心のある男性

- ⑤参加費 無料

- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：68名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	11月28日(木) 19:00～21:00	男の魅力向上術～仕事もパートナー関係もハッピーに～ 坊 隆史（『男』悩みのホットライン共同代表）	44名

(8) 女子学生就労支援講座

- ①目 的 仕事を通じてやりたいことを実現している先輩女性（ロールモデル）から、長期的視点でのキャリアプラン、働き方、生き方を聴き、交流することによって就職を控えた学生のキャリアプランニングを支援する。
- ②日 時 平成25年2月14日（木）13:00～17:00
- ③場 所 ドーンセンター視聴覚スタジオ、特別会議室
- ④対 象 大学生・専門学校生（2014年春卒業予定者）、他
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：第1部30名、第2部50名、申込者数：第1部13名、第2部16名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	2月14日(木) 13:00～17:00	【第1部：キャリア支援セミナー】 ゲスト：安部文子（エス・バイ・エル株式会社 京都支店設計課長） 藤井久実代（大和リース株式会社規格建築事業部 第三営業所） コーディネーター：和田麻実子（ラジオ大阪アナウンサー）	3名
		【第2部：「男女いきいき元気」企業・学生マッチング交流会】 参加企業9社	10名

- ⑦協 力 財団法人大阪労働協会（JOBカフェOSAKA）

(9) 防災と女性「災害・復興に問われる地域力～男女共同参画の視点から～」

- ①目 的 東日本大震災からの国の復興基本方針（平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部決定）において、「男女共同参画の観点から、復興のあらゆる場・組織に、女性の参画を促進する」、「まちづくりにおいて、協議会等の構成が適正に行われるなど、女性、子ども・若者、高齢者、障がい者、外国人等の意見が反映しやすい環境整備に努める」等、男女共同参画関連の内容が盛り込まれた。

このような実態を踏まえ、今後、平時からの地域における災害・復興に強いコミュニティづくりには、男女共同参画の視点が必要であることを広く府民に提示する。

- ②日 時 平成25年2月16日（土）14:00～16:00
- ③場 所 ドーンセンターセミナー室2（5F）
- ④対 象 テーマに関心のある人、地域で防災に取り組む人、市町村職員など
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：40名、決定者数：40名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	2月16日(土) 14:00～16:00	災害・復興に問われる地域力～男女共同参画の視点から～ 相川康子（特定非営利活動法人NPO政策研究所 専務理事） 【事例報告】 とよなか女性防災プロジェクト 報告者 岡山秀子（とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ 事業課事業啓発グループ講座担当主任）	29名

1 はなみずき塾

【事業概要】

（１）目 的 働く女性の「仕事」と「生活」の充実、個々のモチベーションアップをめざし、生涯にわたってキャリアを創造する力量形成を目的とした実践的なセミナーを開催する。

*第１部 元気に働く

２人のスピーカーは、関西で働く女性の先輩。先輩の話を伺うことで、転機、決断、困難の乗り越え方などの具体的な考え方を知る。また、ディスカッション等を通して働く女性たちで交流する。

*ティーブレイク 東北からおいしいスイーツを取り寄せ。

*第２部 生活を楽しむ

さまざまな分野のレクチャーやワークショップを行う。五感で体験し、楽しく生活するきっかけをつかむ。

【事業内容・実績】

（１）はなみずき塾

- ①期 間 平成２４年１０月２７日（土）～平成２５年３月２３日（土）
- ②場 所 ドーンセンター視聴覚スタジオ（５Ｆ）他
- ③対 象 女性
- ④参加費 各日２,０００円、全１０,０００円
- ⑤内容・参加実績 定員：各回４０名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	10月27日（土） 13:30～16:30	第1部 自分らしく働き続ける スピーカー：岡谷子（株式会社神戸新聞総合出版センター出版部長） 黒瀬友佳子（帝人株式会社 CSR企画室長） コーディネーター：和田麻実子（ラジオ大阪アナウンサー） ----- 第2部 住まいと色 桶村久美子（カラーアナリスト、フリーアナウンサー）	8名
2	11月24日（土） 13:30～16:30	第1部 チャンスは突然やってくる スピーカー：坂田泰子（大阪府府民文化部府民文化総務課長） 佐久間文恵（武田薬品工業株式会社人事部（人材戦略）シニアマネージャー） コーディネーター：新川和賀子（株式会社アイパーク ラジオディレクター） ----- 第2部 絵本を楽しむ 加藤啓子（絵本あれこれ研究家）	8名

3	12月22日(土) 13:30～16:30	第1部 経験は活きる スピーカー：白井智子（NP0 法人トイボックス代表理事、スマイルファクトリー代表、スマイルファクトリーハイスクール校長） 中田聖子（株式会社ホテルオークラ神戸総務人事部 人事課研修担当マネージャー） コーディネーター：反橋希美（毎日新聞社学芸部記者） 第2部 カラダの声を聴く 上山幸恵（フェルデンクライスメソッドプラクティショナー〈日本フェルデンクライス協会所属〉）	21名
			(延) 37名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	1月26日(土) 13:30～17:00	第1部 自分を支えてくれるモノを持つ スピーカー：垣内富貴／旭堂南照（株式会社東急スポーツオアシス 心斎橋店サブマネージャー／講師） 後藤直子（グンゼ株式会社アパレルカンパニー インナーウェア事業本部商品MD部 レディース担当部長） コーディネーター：諸麦美紀（朝日新聞大阪本社生活文化部記者） 第2部 映画鑑賞 「母の道、娘の選択：Mother's Way, Daughter's Choice」	16名
2	2月23日(土) 13:30～16:30	第1部 経験をつなぐ スピーカー：加藤統子（日本イーライリリー株式会社 筋骨格事業本部大阪支店課長） 弘本由香里（大阪ガス株式会社エネルギー・文化研究所 特任研究員） コーディネーター：新川和賀子（株式会社アイパーク ラジオディレクター） 第2部 大人のリボンアクセサリを作ろう 川那辺恵子（マルゼンボタンギャラリー 製品企画部チーフ）	11名
3	3月23日(土) 13:30～16:30	第1部 納得の働き方を探す スピーカー：田井久恵（T A I 働き方研究所代表、 元帝人株式会社理事・CSR企画室長） 菱田準子（大阪教育大学教職教育研究センター准教授、 日本ピア・サポート学会常任理事） コーディネーター：和田麻実子（ラジオ大阪アナウンサー） 第2部 食を楽しむ 田中俊子（カフェ北北東店主、 日本野菜ソムリエ協会認定料理教室主宰）	21名
			(延) 48名

2 はなみずきキャリア塾：メンタルヘルス編Ⅱ

【事業概要】

(1) 目的 女性が働き続けていく中で、女性であるがゆえに職場や社会等で出会う困難に対して起こるストレスのマネジメントについて、心の持ち力、対人関係、コミュニケーション力、自己尊重など、メンタルヘルスに特化したテーマを設定し、講義とワークショップを通し、心理学の視点からセルフケアの方法を学ぶ。



【事業内容・実績】

(1) はなみずきキャリア塾：メンタルヘルス編Ⅱ

- ①期 間 平成24年5月12日（土）～平成25年3月9日（土）
- ②対 象 女性
- ③参加費 全15,000円、各2,000円
- ④講 師 安田香珠子（女性問題専門心理カウンセラー、「こころの相談室 Woman」主宰）
- ⑤ゲスト講師（7月） 松井律子（精神科医、まつい診療クリニック院長）
- ⑥内容・参加実績 定員：各回20名、申込者数：368名、参加者数：261名

	日時	テーマ／内容		参加者数
1	5月12日（土）	ストレス耐性をつける	働く女性を襲うストレスに強くなろう	22名
2	6月9日（土）		あなたのその考え方がストレス源かも…！？	24名
3	7月14日（土）	心の病に強くなる	働く女性がかかりやすい心の病と対策	26名
4	9月8日（土）		もしかして、あなたも“燃え尽き”予備軍？	19名
5	10月13日（土）	自分をもっと好きになる	まず“自分”を知ろう	32名
6	11月10日（土）		自分の中の“宝物”に気付いていますか？	23名
7	12月8日（土）	対人関係をスキルアップする	信頼関係をつくる“聴く力”をつけよう	26名
8	1月12日（土）		後味爽やかな“断り上手”“頼み上手”をめざそう	29名
9	2月9日（土）		自分の相手も大切にする“怒り方”を学ぼう	28名
10	3月9日（土）		関係を壊さない“注意や批判の仕方・受け方”心得ておこう	32名
				(延)261名

3 はなみずきキャリア塾：メンター編

【事業概要】

- (1) 目的 女性が生涯にわたってキャリアを創造する時にある、さまざまな壁、職場での孤独、キャリア継続への不安や悩み等、同じ課題を持つ女性たちが集まり、メンター（指導者・理解者・支援者）である先輩女性の助言をもとに、それぞれの課題解決を目指す。

【事業内容・実績】

(1) はなみずきキャリア塾：メンター編

- ①期 間 平成24年7月28日（土）～12月8日（土）
- ②対 象 女性
- ③参加費 A・B・C（各全3回）5,000円、
各回1回のみ受講2,000円
- ④内容・参加実績 定員：各回15名、申込者数：50名、参加者数：46名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	7月28日（土） 8月11日（土） 9月1日（土） 14:00～16:00	公的施設・公務職場で元気に働き続けるために メンター：尼川洋子（人と情報を結ぶWEプロデュース代表）	14名
2	9月11日（火） 9月19日（水） 9月26日（水） 10:00～12:00	復職・再就職を考え中。 これからの自分のキャリアを悩んでいる女性のために メンター：上田理恵子（(株)マザーネット代表取締役社長）	13名
3	10月13日（土） 11月17日（土） 12月8日（土） 10:00～12:00	マネジメント力をつけて生き抜くために メンター：熊和子（(株)毎日放送ラジオ局エグゼクティブ）	19名
			(延)46名

4 はなみずきキャリア塾：ポッドキャストプロジェクト

【事業概要】

- (1) 目的 女性が働き続ける中で、ロールモデル不在や女性初のポジションへの戸惑いが悩みとして聞かれる。「はなみずきキャリア塾」では、さまざまな困難の乗り越え方、キャリアアップ・チェンジ、モチベーション維持、管理職としての人材マネジメント、ワークライフバランスなどについて、ロールモデルとしてのスピーカーが、自身の体験を提示し参加者と共に課題を共有することで好評を得ている。この「はなみずきキャリア塾」をセミナー限りで終わらせず、距離や諸事情により参加できない女性たち、また将来のキャリアを考える若い世代に広く伝えていくために、インターネット（ポッドキャスト）を活用した情報配信を行う。

- (2) 配信日 毎月第4火曜日更新



【事業内容・実績】

- ①内 容 はなみずきキャリア塾に登壇したスピーカーに、各テーマに沿って取材。録音・編集後、当財団ホームページのポッドキャストにて公開。

- ②音 楽 「風の通る街」（企画・演奏：平岡洋子、作曲：奥村悦子）

	配信日	テーマ／スピーカー
第21回	6月26日	市長の仕事／白井 文（前尼崎市長 現グンゼ株式会社取締役）
第22回	7月24日	研究者の仕事／中村艶子（同志社大学グローバル・コミュニケーション学部准教授）
第23回	8月28日	建築家の仕事／小笠原絵理（建築家 間工作舎／一級建築士事務所）
第24回	9月26日	放送局の仕事／熊 和子（(株)毎日放送ラジオ局エグゼクティブ）
第25回	10月23日	NPOの仕事／遠矢家永子（特定非営利活動法人SEAN事務局長）
第26回	11月27日	カラーアナリストの仕事／桶村久美子（カラーアナリスト、フリーアナウンサー）
第27回	12月25日	就労支援の仕事／堀山可奈子（Hiyoshi・マネジメント・オフィス代表）
第28回	1月22日	健康運動指導士の仕事～学びにより添う～／上山幸恵（健康運動指導士）
第29回	2月26日	出版社の仕事／岡 容子（(株)神戸新聞総合出版センター出版部長）
第30回	3月26日	NPOの仕事／白井智子（NPO 法人トイボックス代表理事、スマイルファクトリー代表、スマイルファクトリーハイスクール校長）

5 はなみずきツアー

【事業概要】

- (1) 目的 働く先輩女性と共に旅をし、古典芸能を楽しむことで、女性同士の交流・ネットワークを形成することを目的として開催。

【事業内容・実績】

- (1) 第2回 毎日新聞編集委員 畑律江さんと行く 出石永楽館大歌舞伎

- ①日 程 平成24年11月5日(月)
- ②参加費 23,000円(交通費、大歌舞伎鑑賞料10,000円、食事3回、国内旅行保険込み)
- ③対 象 女性、または男女ペア20名
- ③内容・参加実績 定員：20名、申込者数：15名、参加者数：15名



	日程	内容
1	11月5日(月)	古典芸能を楽しむ「第五回 永楽館大歌舞伎」 旅先の美味しいものを食べる・楽しむ「出石皿そば」 地域振興を応援する―“カバンストリート”に立ち寄り、カバン工房見学

6 ワーク・ライフ・バランス応援講座

【事業概要】

- (1) 目的 仕事・家事・育児、毎日を頑張る女性のワーク・ライフ・バランスを応援する講座を
イコラームで開催する。

【事業内容・実績】

(1) 周囲を巻き込みながら自分らしく働くために「コーチングを学ぼう」

- ① 目的 仕事・家事・育児、毎日を頑張る女性自身がワーク・ライフ・
バランスを見直し、家族を巻き込みながら自分らしく働くため
のスキルとして、コーチングを学ぶ講座とする。
- ② 日 時 平成25年2月17日(日) 13:30～16:30
- ③ 場 所 東大阪市立男女共同参画センター・イコラーム第1・2研修室
- ④ 参加費 1,000円
- ⑤ 対 象 女性
- ⑥ 内容・参加実績 定員：30名、申込者数：35名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	2月17日(日) 13:30～16:30	周囲を巻き込みながら自分らしく働くために コーチングを学ぼう 山本美保 (Newとらる co. 代表)	28名

1 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練

【事業概要】

- (1) 目 的 企業で幅広く使用されている、Word、Excelなどの基本を学び、仕事の探し方や履歴書・職務経歴書の書き方、面接の受け方など、就職活動に役立つ情報やスキルを提供する。
- (2) 場 所 ドーンセンター セミナー室2 他
- (3) 対 象 就職を希望する母子家庭のお母さんなど
- (4) 定 員 20名（最小催行人数10名）
- (5) 受講料 無料（ただし、テキスト代3,000円）
- (6) 主 催 大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課
- (7) 協 力 ハローワーク、マザーズハローワーク、JOB プラザ OSAKA 他

【事業内容・実績】

(1) 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練（パソコン実務習得科（2ヶ月）） 5月開講

- ①申込期間 平成24年3月8日（木）～3月27日（火）
- ②訓練期間 平成24年5月2日（水）～7月3日（火）10:00～16:25
- ③参加実績 定員：20名、申込者数：20名、参加者数：16名（延べ608名）

(2) 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練（パソコン実務習得科（2ヶ月）） 7月開講

- ①申込期間 平成24年5月2日（水）～5月24日（木）
- ②訓練期間 平成24年7月4日（水）～9月4日（火）10:00～16:25
- ③参加実績 定員：20名、申込者数：16名、参加者数：13名（延べ494名）

(3) 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練（パソコン実務習得科（2ヶ月）） 9月開講

- ①申込期間 平成24年7月3日（火）～7月24日（火）
- ②訓練期間 平成24年9月4日（火）～11月7日（水）10:00～16:25
- ③参加実績 定員：20名、申込者数：18名、参加者数：15名（延べ570名）

(4) 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練（パソコン実務習得科（2ヶ月）） 11月開講

- ①申込期間 平成24年9月3日（月）～9月24日（月）
- ②訓練期間 平成24年10月26日（木）～12月28日（金）10:00～16:25
- ③参加実績 定員：20名、申込者数：18名、参加者数：16名（延べ608名）

④内容 * 5月・7月・9月・11月共通

パソコン実務	時間	しごと準備	時間
文書作成ソフト入門	35h	自己紹介、アサーション	6h
文書作成ソフト応用	20h	家族・子どもとの関係づくり術	4h
表計算ソフト入門	37h	自分の強みさがし	2h
表計算ソフト応用	28h	仕事の探し方	2h
ファイル管理ソフト入門	3h	コミュニケーションスキルを磨く	4h
プレゼンテーションソフト入門	8h	求人状況の現状などについて、	10h
インターネット入門	4h	様々な働き方、働く女性を取り巻く状況	4h
パソコン活用実践	15h	先輩の体験談	2h
実践練習	8h	キャリアプランの立て方・発表	9h
		履歴書・職務経歴書の書き方、面接のコツ	8h
		VDT 安全衛生	3h
		からだところのセルフケア	4h
合計			216h

1 ドーン・シネマクラブ

【事業概要】

- (1) 目的 女性の視点、オルタナティブな視点によって作られた作品等の上映を通して、映像文化の発展をめざす。
- (2) 日時 平成24年9月16日(日) 13:30～16:00
- (3) 場所 ドーンセンター視聴覚スタジオ(5F)
- (4) チケット 前売り1,000円(当日1,300円)
- (5) 広報協力 大阪映画センター

【事業内容・実績】

	日時	上映作品等	参加者数
第46回	9月16日(日) 13:30～15:00 監督トーク 15:15～16:00	『311：ここに生きる —In The Moment—』 <2011年/日本/90分/監督：我謝京子> 毎日を懸命に生きていく女性たち。震災から4カ月が過ぎた2011年7月、気仙沼から始まり、南三陸、石巻、福島、郡山、相馬、遠野、釜石、陸前高田、仙台そして東京で出会った女性たちは、「こうして私は生きている」とその姿をカメラの前にさらけ出してくれた。 日本の復興のために今、自分に何ができるのかと問いながら生きている彼女たちの姿は、被災者、非被災者という枠組みを超えて、人としての生き方を私たちに問いかける。 第24回東京国際女性映画祭上映作品、インディアナポリス国際映画祭上映作品、アジア映画祭上映作品 監督トーク：我謝京子	77名



2 表現ワークショップ

【事業概要】

(1) 目的 女性の表現活動を推進する。

【事業内容・実績】

(1) 変身DEポートレート写真 自己表現とキレイな取り方

①目的 写真撮影の基礎技術を学びながら自分を表現することのきっかけを得る。

②日時 平成24年9月23日（日）・10月21日（日）

14:00～16:00

*台風により2回目の日程を9月30日から変更

③場所 東大阪市立男女共同参画センター・イコーラム第1・2研修室

④対象 女性

⑤参加費 1回1,500円（お茶つき）

⑥内容・参加実績 定員：30名、申込者数：4名



	月日	内容	参加者数
1	9月23日（日）	変身DEポートレート写真 自己表現とキレイな取り方	9月 4名
	10月21日（日）	社会を変える自分に返信！～なりたい自分になってみよう～	10月 3名
	14:00～16:00	稲垣智子（美術作家）	
			（延）7名

1 海外スタディツアー

【事業概要】

- (1) 目的 海外の女性に関するさまざまな機関等を訪問し、先進的な政策や関連の各種事業、支援体制、活動等の事例を見て、学ぶことで、日本の実情に合わせた男女共同参画の取り組みについて考える機会をもつ。また海外の女性リーダーや団体・NGO等との交流を促進するとともに、ツアー参加者同士のネットワークを図る。

【事業内容・実績】

(1) スタディツアー韓国編「地域に学ぶエンパワメントと参加：木浦（モッポ）＆ソウルへの旅」

- ① 目的 韓国・木浦とソウルの女性の地位向上に取り組む機関やNGO等を訪問し、女性政策、女性への暴力被害者支援体制について学ぶとともに韓国の女性団体等との交流をはかる。聖公会大学と大阪府立大学女性学研究センターとの共同ワークショップでは、日韓の性暴力被害者支援等について情報交換を行う。またツアー参加を通じて参加者間のネットワークを図る。
- ② 日程 平成24年8月29日（水）～9月2日（日）
- ③ 参加費 1人あたり113,000円＋（燃油サーチャージ、空港税等約10,000円）



- ⑥ 内容・参加実績 参加者数：19名

	月日	内容（スケジュール／主な訪問先）
1	8月29日（水）	10:00 関西空港集合 11:55 関空発（KE2726）～13:40 ソウル（金浦空港）着 ソウルから木浦へ（貸切バス） 全南女性プラザ着 <務安泊>
2	8月30日（木）	午前 全南女性プラザで、女性センターに関する意見交換 午後 「木浦女性の電話」事務所訪問 夕方 街頭での「女性への暴力反対」キャンペーン 木浦の女性団体ネットワークのメンバーと夕食会 <務安泊>
3	8月31日（金）	午前 木浦市内見学（旧日本人町）、「木浦共生園」訪問（韓国人の夫と共に生涯をかけて、孤児を育てた日本人・田内千鶴子さんがいたことで有名） 午後 木浦YWCA女性人材開発センター訪問 夕方 木浦からソウルへ（貸切バス） <ソウル泊>
4	9月1日（土）	午前 聖公会（ソンゴンフェ）大学のNGO大学院を訪問 聖公会NGO大学院・実践女性学コースと大阪府立大学女性学研究センターの共催ワークショップに参加 テーマ「韓国と日本における性暴力／ハラスメント問題を探る」 午後 「社会的企業と女性の就業」現場訪問 <ソウル泊>
5	9月2日（日）	出発まで自由行動 14:00 集合（貸切バスで移動） 16:55 ソウル（金浦空港）発（KE2727）～18:35 関西空港着

※ツアー企画：（一財）アジア太平洋人権情報センター、（一財）大阪府男女共同参画推進財団

※旅行手配：株式会社トラベルギャラリー

※後援：大阪府立大学女性学研究センター

2 世界の女性が語るシリーズ

【事業概要】

- (1) 目 的 世界各国の現代女性の生き方や働き方、文化、女性の支援に関する特徴的な国の制度・システム、NGO等の活動について学ぶセミナーをシリーズで開催し、海外スタディツアー等の事業につなげるように努める。

【事業内容・実績】

(1) ローラさんが語る オーストラリアの女性

- ①目 的 現代のオーストラリア女性のライフスタイル（働き方・暮らし方）や子育て等にかかるさまざまな政策、女性の政治参画などを紹介する。オーストラリアのジェンダーギャップ指数は世界25位（2012年）。
- ②日 時 平成24年12月15日（土）18：30～20：30
- ③場 所 ドーンセンター中会議室1（4F）
- ④対 象 テーマに興味のある方
- ⑤参加費 2,000円（軽食・飲物代含む）
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：18名

	日時	内容	参加者数
1	12月15日（土） 18:30～20:30	ローラさんが語る オーストラリアの女性 講師 ローラ・デールズ（西オーストラリア州立大学准教授）	14名



1 大阪府不妊専門相談センター事業

【事業概要】

- (1) 目 的 不妊に悩む人々の身体的・精神的負担の軽減と、出産を望む人々への支援を図るとともに、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの観点から女性の心身の健康促進に資する。
- (2) 場 所 ドーンセンター相談室・会議室

【事業内容・実績】

(1) 不妊にまつわる電話相談

- ①目 的 不妊にまつわるさまざまな相談（治療について知りたい、パートナーや家族との関係を相談したい等）を専門の相談員が受けるとともに、必要な情報提供を行う。
- ②日 時 毎週水曜日 10:00～16:00 ※第5週、祝日・年末年始を除く
第4土曜日 13:00～16:00 ※4月、8月、12月を除く
- ③相談員 助産師（第4土曜日の13:00～15:00は、原則として産婦人科医師も同席）
- ④相談件数
＜月別主訴件数＞

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	%
情報提供	2	5	6	3	4	7	2	4	4	8	7	5	57	21.8%
不妊への不安・検査や治療を受けたほうがよいか	2	2	4	2	1	1	0	2	2	2	5	0	23	8.8%
今の治療の内容と妊娠の可能性	2	6	4	9	3	8	3	9	1	4	4	3	56	21.4%
他の治療内容・方法など	1	1	1	0	1	0	0	2	2	0	0	1	9	3.4%
二人目不妊	4	4	3	2	1	5	2	7	5	3	5	1	42	16.0%
医療機関に対する不満	0	1	0	2	0	0	0	2	2	1	2	2	12	4.6%
パートナーとの関係	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	4	1.5%
周囲の人間関係	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.8%
自分自身のこと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0.8%
子どものいない人生	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	3	1.1%
仕事との両立	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	3	1.1%
不育症	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3	1.1%
その他	5	3	4	2	3	6	6	5	3	1	4	4	46	17.6%
合 計	16	23	23	21	14	30	14	32	21	20	30	18	262	100.0%

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
H24年度	16	23	23	21	14	30	14	32	21	20	30	18	262	106.50%
H23年度	19	15	22	26	16	29	20	15	17	26	17	24	246	

＜留守電件数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24年度	12	4	17	7	3	13	7	5	4	2	6	14	94
H23年度	14	21	9	17	10	9	31	15	5	15	16	12	146

(2) サポート・グループ「不妊のこと、話し合ってみませんか」

- ①目 的 不妊にまつわる悩みを抱えた女性が、経験や悩みを分かち合える場を提供する。同じ立場の人同士が交流することを通して自身の状況を整理し、心理的負担の軽減を図る。
- ②期 間 平成24年5月19日(土)～平成25年2月23日(土)
- ③場 所 ドーンセンター 和室(4F)
- ④ファシリテーター 内田和枝、田中佳織、金美江(助産師)
- ⑤内容・参加者数 定員：15名、申込者数：16名、参加者数：11名



	日時	テーマ	参加者数
1	5月19日(土) 10:00～12:00	自己紹介／治療の状況、今までの経過	3名
2	8月18日(土) 10:00～12:00	自己紹介／治療の内容／家族との関係／病院の選び方	4名
3	11月24日(土) 10:00～12:00	現在の治療状況と自分の気持ち	3名
4	2月23日(土) 10:00～12:00	既往について／夫と2人の生活・老後の不安について	1名
			(延)11名

(3) サポート・グループ「治療のやめどきのこと、話し合ってみませんか」

- ①期 間 不妊にまつわる悩みを抱えた女性が、経験や悩みを分かち合える場を提供する。同じ立場の人同士が交流することを通して自身の状況を整理し、心理的負担の軽減を図る。
- ②日 程 平成24年6月23日(土)～平成25年3月23日(土)
- ③場 所 ドーンセンター 和室(4F)
- ④ファシリテーター 内田和枝、金美江、田中佳織(助産師)
- ⑤内容・参加者数 定員：15名、申込者数：14名、参加者数：12名

	日時	テーマ	参加者数
1	6月23日(土) 10:00～12:00	自己紹介／グループのテーマについて／フリートーク	2名
2	9月15日(土) 10:00～12:00	卵子提供について	2名
3	12月15日(土) 10:00～12:00	仕事・趣味とのバランス／金銭的問題／夫婦の意見の違い／老後について	9名
4	3月23日(土) 10:00～12:00	周囲との関係の気づき方／夫婦関係／里親について／気分転換の仕方	2名
			(延)15名

(4) サポート・グループ「子どものいない人生こと、話し合ってみませんか」

- ①目 的 不妊にまつわる悩みを抱えた女性が、経験や悩みを分かち合える場を提供する。同じ立場の人同士が交流することを通して自身の状況を整理し、心理的負担の軽減を図る。
- ②期 間 平成24年7月28日(土)～平成25年1月19日(土)
- ③場 所 ドーンセンター 和室(4F)
- ④ファシリテーター 矢野恵子、金美江、内田和枝(助産師)
- ⑤内容・参加者数 定員：15名、申込者数：17名、参加者数：10名

	日時	テーマ	参加者数
1	7月28日(土) 10:00～12:00	ルール説明／自己紹介／フリートーク	6名
2	10月27日(土) 10:00～12:00	ルール説明／自己紹介／フリートーク	7名
3	1月19日(土) 10:00～12:00	現在の治療／夫婦間のコミュニケーション／夫婦二人の人生	1名
			(延)14名

(5) サポート・グループ「二人目以降の不妊のこと、話し合ってみませんか」

- ①目 的 不妊にまつわる悩みを抱えた女性が、経験や悩みを分かち合える場を提供する。同じ立場の人同士が交流することを通して自身の状況を整理し、心理的負担の軽減を図る。
- ②期 間 平成24年7月5日(木)～11月1日(木)
- ③場 所 ドーンセンター 和室(4F)
- ④ファシリテーター 内田和枝、金美江(助産師)
- ⑤内容・参加者数 定員：15名、申込者数：4名

	日時	テーマ	参加者数
1	7月5日(木) 10:30～12:00	自己紹介／ルール説明／フリートーク	2名
2	8月2日(木) 10:30～12:00	治療について／病院について	1名
3	9月6日(木) 10:30～12:00	友人関係の悩み	1名
4	10月4日(木) 10:30～12:00	不妊治療について／仕事のこと／上の子どものこと／夫婦関係	1名
5	11月1日(木) 10:30～12:00	治療の成果がなかった時の気持ちの対処／夫婦関係	3名
			(延)8名

(6) ホームページ (<http://www.ogef.jp/funin-osaka>) の管理・運営

- ①目 的 インターネットを活用して、不妊に悩む人々に役立つ情報を発信するとともに、不妊専門相談センター事業を広くPRする。

②アクセス数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24年度	829	868	827	548	622	561	674	926	453	719	627	804	8,458
H23年度	634	648	935	773	673	845	641	745	741	759	793	805	8,992
H22年度	1,100	1,126	1,251	1,287	1,224	1,268	1,530	1,015	809	761	733	868	12,972

(7) 不妊関連情報フェアの開催

- ①目 的 不妊に悩む人々に役立つ情報を提供するため、不妊関連事業の開催にあわせて、各種資料を選定・収集し、関連情報コーナーを設置。

②期 間 平成24年6月～平成25年3月

③その他 展示資料リストを作成・印刷し、無料配布した。

	テーマ	展示資料数	リスト作成数
1	サポート・グループ関連資料	57	500



(8) 関係者の研修・連絡会議の開催

- ①目 的 不妊にまつわる電話相談を担当する相談員が、不妊治療の最新情報や不妊になやむ方々への相談スキルを高める。

今年度は相談員の中から数名を選出して目的に適う学会への派遣を行った。当日の内容を相談員全員で共有できるよう、資料（学会抄録集）を相談室の参考資料として設置した。

②日 時 平成24年6月8日（金）9：55～17：55

③場 所 東京都港区虎ノ門2-9-16 ニッショウホール

④対 象 不妊にまつわる電話相談を担当する相談員

⑤内容・参加者数

	日時	テーマ	参加者数
1	6月8日（金） 9:55～17:55	日本不妊カウンセリング学会 第11回学術集会 主催：NPO法人日本不妊カウンセリング学会	3名

1 夏期インターンシップ・プログラム

【事業概要】

- (1) 目的 男女共同参画社会の実現に向けて活躍する次世代を育成することを目的に、大学・大学院生をインターンシップ生として受け入れる。

【事業内容・実績】

①受入期間 平成24年8月17日（金）～9月19日（水）

②実習生

	学部・学科・学年	実習生数
1	近畿大学 総合社会学部 総合社会学科 3年	2名
2	京都文教大学 臨床心理学部 臨床心理学科 3年	1名
3	神戸女子大学 文学部 神戸国際教養学科 3年	1名
4	大阪女学院大学 国際・英語学部 3年	1名
5	神戸学院大学 経営学部 経営学科 3年	1名
6	神戸学院大学 人文学部 人文学科 3年	1名
7	大阪府立大学 人間社会学部 人間社会学科 3年	1名
8	大阪府立大学大学院 人間社会学研究科・博士前期課程 1年	1名
9	早稲田大学大学院 政治学研究科ジャーナリズムコース 1年	1名
		計10名

③特別講義「ライブセミナー：ドーンセンターの仕事」

目的Ⅰ：ドーンセンターの現場からみえる現代社会を知る

目的Ⅱ：ドーンセンターでの仕事を知るとともに、さまざまな職員のキャリア・仕事観にふれる

	月日	テーマ／担当
1	8月17日（金）	「男女共同参画と日本の進路～財団運営を通して考える」 時岡禎一郎（理事長）
2	8月17日（金）	「ドーンセンターの概要」 木下みゆき（統括ディレクター）
3	8月17日（金）	「財団・共同体の概要」 金光哲司（事務局長）
4	8月18日（土）	「情報ライブラリーの仕事」 木下みゆき（統括ディレクター）
5	8月22日（水）	「相談事務局の仕事」 近藤裕子（相談担当スタッフ）
6	8月22日（水）	「財団事業の説明」 仁科あゆ美（統括ディレクター）
7	8月28日（火）	「ドーンセンター受付の仕事の説明」 棚瀬美幸（共同体スタッフ）

④日常業務体験、講座・イベント運営

目的Ⅰ：事業運営の裏側を知る

目的Ⅱ：小さな仕事を責任をもってやり遂げる経験をする

	業務名	詳細
1	東日本大震災被災地支援事業 東北女性の手仕事物産展関連事業	運営準備（広報、情報収集、展示）／ 会場設営／当日運営（販売、接客、記録写真撮影 等）
2	講座関連事業	学校教員のための研修プログラム「デートDVにむけて生徒と向き合う！」 「母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練」「はなみずきキャリア塾 メンタルヘルス編Ⅱ」講座運営補助
3	イコーラム関連業務	「希来里ファミリーまつり」運営
4	ドーンセンター情報ライブラリー関連業務	ライブラリー運営補助／資料装備準備
5	インターンシップ成果報告会関連業務	ミーティング／役割分担／当日運営 （会場準備、司会進行 等）

2 研修・実習・職場体験等の受入れ

【事業概要】

- (1) 目的 若い世代を対象とした研修や職場体験の実習先としてプログラムを提供することで、次世代のキャリア形成に資する。

【事業内容・実績】

(1) 大阪府立学校新任教員研修の受入

- ①目的 大阪府教育センターが実施する、府立学校新任教員の社会体験実習の実習先として研修プログラムを提供する。

②受入高校・人数

	日時	所属	実習生数
1	8月9日(木)・10日(金)	大阪府立大手前高等学校	4名

(2) 同志社大学図書館司書課程実習生の受入れ

- ①目的 司書資格取得に必要な図書館実習を行う。
- ②受入期間 平成24年11月27日(火)～12月14日(金) うち7日間
- ③実習生数 2名
- ④実習内容 ドーンセンター情報ライブラリー業務(蔵書点検/ミーティング参加/カウンター業務/資料の分類/資料装備/資料配架/製本対象雑誌の抽出)
はなみずき塾運営補助

(3) 大阪市立助産師学院「助産学実習」の受入れ

- ①目的 助産師として仕事をする上で求められる男女共同参画関連知識を取得する。
- ②日時 平成24年9月2日(金) 13:00～17:00
- ③実習生数 学生20名、教員2名
- ④実習内容 男女共同参画関連問題についての講義
情報ライブラリーにおける情報活用 等

1 「ウィメン・パイオニアズ」DVD&ブックレット販売

【事業概要】

- (1) 目的 渡辺晴子氏（HKW代表、社団法人日本外国特派員協会監事）が、下記のオリジナル素材を当財団に寄贈くださった。全国の女性関連施設、大学、各専門機関などで活用できるよう、DVD・ブックレット化した教材を販売する。



【事業内容・実績】

(1) 『Women Pioneers－女性先駆者たち』販売

<DVD販売実績>

	作品名	制作年	価格	販売数
1	はじめに 日本女性の地位 縫田暉子（放送ジャーナリスト）	2011	5,000	0
2	高田ユリと消費者運動 高田ユリ（消費者運動家）	2011	5,000	0
3	市川房枝と婦人参政権のあゆみ 市川房枝（政治家、社会運動家）	2011	5,000	0
4	三淵嘉子 法曹界の扉を開く 三淵嘉子（弁護士、裁判官）	2011	5,000	0
5	加藤シヅエと家族計画 加藤シヅエ（家族計画運動家、政治家）	2011	5,000	3
6	阿武喜美子 科学の世界に挑む 阿武喜美子（科学者、農学博士）	2011	5,000	0
7	浅賀ふさと医療社会事業 浅賀ふさ（医療ソーシャルワーカー）	2011	5,000	5
8	江上フジと子ども、婦人番組 江上フジ（放送ジャーナリスト、婦人問題研究家）	2011	5,000	0
9	山高しげりと母子福祉 山高しげり（女性運動家、政治家）	2011	5,000	1
10	野上弥生子 小説と婦人運動家たち 野上弥生子（小説家）	2011	5,000	0
11	全巻セット	2011	40,000	10セット (100)
				計 109

<ブックレット販売実績>

	書籍名	発行年	価格	販売数
1	ブックレット『Women Pioneers－女性先駆者たち』	2011	1,800	9

2 海外女性監督ドキュメンタリー作品等の収集・加工・販売

日本で未公開の海外女性監督ドキュメンタリー作品等を独自に収集、日本語に翻訳加工して販売する。平成24年度は、「心の旅路～わたしの家族の物語～」及び「壺～イスラム社会を生きる女たち～」、「医師クロードットの場合～アフリカの大地で～」、「韓国発 映画をつくる女たち」の4本をDVD化して販売。

<販売実績>

－DVD－

	作品名	制作年	価格	販売数
1	故郷を失った人々 Caught in Between (DVD)	2004	5,000	1
	故郷を失った人々 Caught in Between (DVD) 上映権付		10,000	2
2	Fashion Resistance ～暴力を着る～ (DVD)	2006	5,000	1
	Fashion Resistance ～暴力を着る～ (DVD) 上映権付		10,000	0
3	稟愛（ビンアイ）～三峡ダム建設に挑む農民の闘い～ (DVD)	2007	5,000	0
4	Labor Women～アメリカ社会を変える 働くアジア女性の闘い～ (DVD)	2003	5,000	3
5	お母さん（UMMA）～お母さんを探して～ (DVD)	2005	18,000	0
6	恋人からの暴力～死にいたる愛～ (DVD)	1999	12,000	5
7	不適切な行動：高校生間のセクシュアル・ハラスメント (DVD)	1997	15,000	0
8	自分らしく生きる～やわらかい家族のかたち～ (DVD)	2001	10,000	0
9	心の旅路～わたしの家族の物語～ (DVD)	2003	15,000	0
10	壺～イスラム社会を生きる女たち～ (DVD)	2005	8,000	0
11	医師クロードットの場合～アフリカの大地で～ (DVD)	2001	18,000	0
12	韓国発 映画をつくる女たち (DVD)	2001	18,000	0
				計 12

※上に挙げた4作品については、平成25年2月よりDVD作品として販売開始。

－VHS－

	作品名	制作年	価格	販売数
1	壺～イスラム社会を生きる女たち～ (VHS)	2005	8,000	1
2	家族プロジェクト：父の家 (VHS)	2002	18,000	0
3	響き合うところ～歌に生き 仲間と生きる～ (VHS)	2001	15,000	0
4	ドラッグの恐怖～むしばまれる若者たち～ (VHS)	2000	15,000	0
5	ウォッチングTV (VHS)	1994	5,000	0
6	わたしの心はわたしの証～イスラム女性のドキュメント～ (VHS)	1996	18,000	1
7	戦場のレイプ (VHS)	1996	18,000	0
8	子どもの権利（中高生編）(VHS)	1998	12,000	0
				計 2

※DVD化した作品については、VHSでの販売を終了。

3 オリジナルビデオ&DVD、ハンドブック等の販売

(1) オリジナルビデオ&DVDの販売

独自の調査研究、主催講座に基づいて企画・制作したオリジナルビデオを販売した。

<販売実績>

	作品名	制作年	価格	販売数
1	働く女性の60年（日本語版・DVD）	2005	5,000	3
2	働く女性の60年（日本語版・VHS）	2005	5,000	0
3	働く女性の60年（英語字幕版・VHS）	2005	5,000	0
4	3歳児神話をこえて Part1 岩堂美智子（VHS）	1999	4,500	販売終了
5	3歳児神話をこえて Part2 村本 邦子（VHS）	1999	4,500	販売終了
6	3歳児神話をこえて Part3 赤松 彰子（VHS）	1999	4,500	販売終了
7	3歳児神話をこえて Part4 村田 和子（VHS）	1999	4,500	販売終了
8	3歳児神話をこえて Part5 汐見 稔幸（VHS）	1999	4,500	販売終了
9	3歳児神話をこえて 全5巻セット（VHS）	1999	20,000	販売終了
10	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 1 竹中恵美子（VHS）	1998	5,000	0
11	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 2 佐々木静子（VHS）	1998	5,000	0
12	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 3 岡部伊都子（VHS）	1998	5,000	0
13	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 4 大川恵美子（VHS）	1998	5,000	0
14	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 5 豊後レイコ（VHS）	1998	5,000	0
15	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 6 横井和子（VHS）	1998	5,000	0
16	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 7 桂 信子（VHS）	1998	5,000	0
17	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 8 飯田しづえ（VHS）	1998	5,000	0
				計 3

※「3歳児神話をこえて」各巻については平成25年度のDVD化を予定

(2) ドーン・ハンドブック等の販売

当財団が実施してきた事業のノウハウを盛り込んだハンドブックを販売した。

<ドーン・ハンドブック販売実績>

	ハンドブック名	発行年	価格	販売数
1	Dawn Hand Book① 女性のための相談事業ハンドブック	1999	600	75
2	Dawn Hand Book② 女性情報とライブラリー活動	1999	600	4
3	Dawn Hand Book③ メディア・リテラシーとジェンダー	2000	600	3
4	Dawn Hand Book④ 女性のグループ・ネットワークのための組織開発ハンドブック	2001	600	2
5	Dawn Hand Book⑤ 人と情報を結ぶ 情報相談ハンドブック	2001	600	4
6	Dawn Hand Book⑥ 相談現場から見える現代社会と女性センターの役割	2006	800	5
				計 93

1 講師派遣・委員等応嘱・大学の講義受託

【事業概要】

- (1) 目的 主催者の要請により当財団職員を講師として派遣するほか、委員委嘱等を受けることを通じて、男女共同参画社会の推進に資する。

【事業内容・実績】

(1) 講師派遣

<講師派遣実績>

	月日	内容・テーマ	主催者
1	5月30日(水) 6月6日(水) 他1日	市民公益活動推進セミナー 「ぐっ！と参加したくなる講座企画術①・②」 「おっ！と目を引くチラシとポスター作成術」	松原市
2	6月16日(土)	枚方市男女共同参画社会づくり支援講座 やってよかった！目線を変えて深まる成果	(特活) ひらかた市民活動支援センター
3	6月26日(火)	男女共同参画研究講座「変わる社会・家族」	門真市
4	7月29日(日) 8月19日(日) 9月8日(土)	地域リーダー養成講座 「いま、あなたは何をする？防災で考える新しいコミュニティづくり」	三重県男女共同参画センター
5	8月6日(月)	第43回全国大会シンポジウム 「大学の中の図書館の役割～効果的な広報の観点から」	大学図書館問題研究会
6	11月19日(月)	自立を求められる専門図書館活動から見えて いるもの～組織の中で図書館専門職であることを活かすには～	日本体育図書館協議会
7	12月16日(日)	平成24年度男女共同参画推進コーディネーター養成講座「思いをカタチに。プロジェクト」 第4回	三重県環境生活部男女共同参画・NPO課
8	25年2月5日(火) 2月26日(火)	平成24年度人権問題研修業務委託 パワーハラスメント問題をテーマにした人権問題研修	大阪市立大学医学部・付属病院
9	25年2月7日(木)	DVの現状と今後の対策について～DVを予防するために～	岸和田市
10	25年3月7日(木) 14日(木)	「伝えたい」をカタチに～人が集まる企画を立てよう～	和泉市

(2) 委員等応募

<委員等実績>

	月日	内 容	主催者
1	(24 年 3 月)～ 25 年 3 月	交野市男女共同参画計画の改定に伴う審議会 委員	交野市
2	5 月～ 25 年 3 月 31 日	平成 24 年度「女性情報レファレンス事例集」 サポートメンバー	独立行政法人国立女性教育会館
3	7 月 1 日～ 26 年 6 月 30 日	レファレンス協同データベース事業の企画協 力員	国立国会図書館
4	7 月 1 日～ 26 年 6 月 30 日	守口市男女共同参画審議会委員	守口市
5	7 月～ 25 年 3 月 31 日	平成 24 年度「女性関連施設に関する調査研 究」研究協力委員	独立行政法人国立女性教育会館
6	25 年 1 月 7 日	平成 24 年度男女共同参画社会の実現の加速 に向けた学習機会充実事業「地域づくりに参画 する女性の人材育成のための学習プログラム 開発」に係る勉強会アドバイザー	文部科学省
7	25 年 2 月 1 日～3 月 31 日	岸和田市DV 予防啓発用DVD 作成における 監修	岸和田市
8	25 年 2 月 28 日	平成 24 年度アーツカウンシル設立に向けた 事例調査・フォーラムの開催など企画運営業務 委託事業者選定委員	大阪市ゆとりとみどり振興局

(3) 原稿執筆

	月日	内 容	主催者
1	10 月 1 日号より 5 回	「広報もりぐち」 男女共同参画推進啓発記事	守口市

(4) 大学の講義受託

<同志社大学>

	月日	テーマ
1	4 月 1 日 ～25 年 3 月 31 日	同志社大学社会学部「図書館情報資源特論」

<近畿大学総合社会学部>

	月日	テーマ
1	6 月 28 日 (木)	ジェンダーワークショップ

<大阪女学院大学・短期大学>

	月日	テーマ
1	10 月 25 日 (木) 26 日 (金)	人権教育講座

<滋賀県立大学>

	月日	テーマ
1	10 月 29 日 (月)	開講科目「性を考える」

2 三重県伊賀市クローバーカレッジⅡ

【事業概要】

(1) 目的 第2次伊賀市男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画社会を推進していくために、政策・方針決定過程及び各種役職に登用するなど、あらゆる場面で参画できるリーダー的役割を担う人材育成を目指し、平成23年度から5年間で延べ100名の女性リーダーを養成する。

平成23年度「クローバーカレッジⅠ」修了生が「Ⅱ」の運営等に関わることで、さらなるエンパワメントと伊賀市女性リーダーのネットワーク構築をめざす。

【事業内容・実績】

(1) 三重県伊賀市クローバーカレッジⅡ「女性リーダー養成講座」

- ①期 間 平成24年8月3日（金）～平成25年2月8日（金）
- ②会 場 伊賀市男女共同参画センター
- ③対 象 リーダーになってさまざまな分野で活躍したいという意欲のある女性
- ④参加費 無料
- ⑤内容・参加実績 定員：20名、受講者数：18名

	日時	テーマ
1	8月3日（金） 18:30～21:00	【開講式】オリエンテーション 伊賀市挨拶 伊賀市職員、クローバーカレッジⅠ修了生 女性の力で地域を変える：21世紀は男女共同参画の時代 白井文（元尼崎市長、グンゼ株式会社取締役、大阪府男女共同参画推進財団理事）
2	9月7日（金） 19:00～21:00	現代社会と私たち①：男女共同参画を学ぶ 木下みゆき（大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）
3	10月5日（金） 19:00～21:00	現代社会と私たち②：メディアを読み解く 時岡禎一郎（大阪府男女共同参画推進財団理事長）
4	11月2日（金） 19:00～21:00	現代社会と私たち③：カウンセリングの現場から社会をみる 宮本由起代（NP0 法人心のサポート・ステーション代表理事）
5	11月30日（金） 19:00～21:00	さわやかな自己表現：女性リーダーとしての人間関係づくり、自己主張のポイントを知る 杉本志津佳（フェミニストカウンセリング堺カウンセラー）
6	12月14日（水） 19:00～21:00	ワークショップ：私たちの伊賀市① 伊賀市の現状報告：伊賀市職員 ファシリテーター：川中大輔（シチズンシップ共育企画代表、同志社大学大学院総合政策科学研究科嘱託講師、大阪府男女共同参画推進財団理事）
7	1月11日（金） 19:00～21:00	ワークショップ：私たちの伊賀市② ファシリテーター：伊賀市職員 補助：木下みゆき（大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）
8	2月8日（金） 19:00～21:00	【閉講式】「私たちが考える男女共同参画と伊賀市」について発表とコメント コメンテーター：木下みゆき（大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター） ファシリテーター：伊賀市職員

1 共催事業・後援事業

【事業概要】

- (1) 目的 男女共同参画社会の実現のために企画された事業で、当財団が共催することにより、啓発効果や事業効果の発展が期待できる事業について共催する。また、男女共同参画社会の実現のための積極的に寄与する事業について、後援を行う。

【事業内容・実績】

(1) 共催事業

<内容・参加実績>

	月 日	内 容	主催者	参加者数
1	4月21日(土)～ 平成25年3月16日 (土)	「わたしの政経塾Ⅲ」 於：大会議室、特別会議室	「わたしの政経塾」企画委員会	(延)630名
2	4月22日(日)	発達障害ってなあに？：アスペルガー症 候群の娘から学んだこと 於：大会議室	特定非営利活動法人心の サポート・ステーション	(延)72名
3	6月2日(土)	ジェンダー平等をどう伝えるか：日韓の教 育・啓発の実践と課題 於：特別会議室	一般財団法人アジア・太平 洋人権情報センター、大阪 府立大学女性学研究セン ター	(延)91名
4	9月29日(土)	いのち・いのりをつなぎたい：食との出会 い・人との出会い 於：ホール	森のイスキア・大阪の集い 実行委員会	549名
5	11月17日(土)	出版記念シンポジウム 休みのとれるNPOの働き方 ワークライフバランスを考える 於：パフォーマンススペース	NPOスタッフのためのワ ークライフバランス研究 会	47名
6	25年2月2日(土)	竹中恵美子著作集完成記念シンポジウム 竹中理論の意義をつなぐ 於：パフォーマンススペース	フォーラム 労働・社会政 策・ジェンダー／竹中恵美 子著作集刊行委員会	(延)96名
7	25年3月5日(火)	災害とジェンダーに関わる人材育成講座 ジェンダーの視点で考える防災と減災 於：ドーンセンター中会議室	東日本大震災女性支援ネ ットワーク	22名
8	25年3月16日(土)	【仕事と子育て】両立応援セミナー&カウ ンセリング 於：ドーンセンター中会議室他	NPO法人【仕事と子育て】カウ ンセリングセンタ ー	11名
9	25年3月24日(日)	2011年3月11日東日本大震災（大津波、 原発事故）から2年が経とうとしています 母子避難されている方のお話を聴き一緒 に考えましょう 於：ドーンセンター大会議室	～つながりを紡ぐ～ イスキア もりのこばこ	62名

(2) 後援事業

＜内容・参加実績＞

	月 日	内 容	主催者	参加者数
1	6月21日(木) ～23日(土)	介護保険ホットライン2012・関西 於：ドーンセンター中会議室3	高齢社会をよくする女性の会・大阪	スタッフ 44名 相談件数 32件

2 ポスタープリントサービス

【事業概要】

(1) 目 的 NPO・団体等の活動支援の一環で、効果的な広報・PRのために、PDFデータを拡大するサービスを行う。

(2) 日 時 平成24年4月1日～4月30日

【事業内容・実績】

＜販売実績＞

		価格	販売数		
			H24	H23	H22
1	フォト半光沢紙(B2)	2,000	0	0	2
2	厚口コート紙(A1)	2,000	0	0	1
3	厚口コート紙(B2)	1,500	0	3	1
4	厚口コート紙(A2)	1,000	0	5	0
5	プレミアム普通紙(A1)	500	0	44	47
6	プレミアム普通紙(B2)	400	9	49	9
7	プレミアム普通紙(A2)	300	23	3	19
	合 計		31	104	79

※平成22年6月1日より販売開始

※平成24年4月30日に販売終了し、5月1日よりドーン運営共同体での販売へ移行

1 岸和田市DV予防啓発事業

【事業概要】

- (1) 目的 岸和田市DV対策基本計画に基づき、DV被害者支援体制の整備とDV根絶に向けた取り組みとして、デートDVを含むDVの防止に資するため、市民に向けて効果的な意識啓発をめざす。
- 具体的には、出前講座開催とパンフレット・教材・講師用手引書の作成を通じて、今後の啓発推進に活用することを目的とする事業。

【事業内容】

(1) 出前講座 10回

保育所・小学校・高等学校の教職員や企業の社員の方々、一般市民に向けて、DVやデートDV防止のための講義やワークショップを実施した。また、その記録集を作成した。

(2) DV防止用教材作成

- ① 受講生テキスト：DV／デートDV／DV&デートDVの3種類
それぞれ20ページ程度（2色刷）
- ② 講師用手引き書：DV／デートDV／DV&デートDVの3種類
それぞれ30ページ程度（フルカラー）
- ③ ①・②のそれぞれについて、データCDを作成し、納入

(3) パンフレット作成

市民向けDV防止目的のもの（A3・2つ折り／両面フルカラー）

2 配偶者からの暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ

【事業概要】

- (1) 目的 全国の配偶者暴力相談支援センターにおける配偶者からの暴力に関する相談件数は、支援センターの運用が開始された平成14年度から年々増加している。こうした状況から、内閣府では、第3次男女共同参画基本計画において、配偶者暴力防止法により設置の努力義務が規定されている市のセンターについて、平成27年までに100か所にすることを成果目標としている。

当事業はこの目標達成のため、全国の支援センターや今後支援センターの設置を検討している市町村において運営・管理に責任を持つ方、関連事業の企画・運営等を担当する行政担当者の方、また、支援センターの相談員や連携先である民間支援団体の相談員を対象としたワークショップを開催するものである。さらに、今後、全国各地で支援センターの設置を検討している市町村の参考にしていただくため、ヒアリング等により収集した先駆的な取組事例をまとめる。

- (2) 主催 内閣府

【事業内容・実績】

(1) 企画委員会の設置・運営

有識者7名、内閣府2名、事務局2名

(2) 主管課長および支援センター長を対象としたワークショップの企画および運営・実施

＊7月4日～5日：東京開催（主管課長向け）

＊7月10日～11日：大阪開催（配偶者暴力相談支援センター長向け）

(3) 企画行政職員を対象としたワークショップの企画および運営・実施

＊8月27日～28日：京都開催

(4) 相談員を対象としたワークショップの企画および運営・実施

＊9月27日～28日：大阪開催（中部・近畿・四国ブロック）

＊10月4日～5日：東京開催（北海道・東北・関東・甲信越ブロック）

＊10月18日～19日：福岡開催（中国・九州・沖縄ブロック）

(5) 支援センター運営自治体の好事例・先駆的事例の調査と取りまとめ

＊10自治体の選定、アンケートおよびヒアリング調査

(6) 各種報告書の作成

3 男女共同参画センター等における性犯罪被害者支援体制整備促進事業

【事業概要】

(1) 目 的 内閣府が平成 23 年度に実施した「男女間における暴力に関する調査」によると、異性から無理やり性交された経験をもつ 20 歳以上の女性は 7.7%だった。そのうち、加害者と面識があった被害者は 76.9%、被害をどこ（だれ）にも相談しなかった被害者女性は 67.9%だったことが明らかになっている。

一方、地方公共団体が設置している男女共同参画センター等において、性犯罪被害に関する相談を受けていることを明示している男女共同参画センター等が 1 つでもある都道府県は、平成 22 年度に内閣府が調査した結果、22 都道府県にとどまっている。明示していない理由として、性犯罪被害に対応できる相談員がいない、相談体制がない、相談員等を養成していくためのノウハウがないとの回答が多かった。

平成 22 年 12 月に閣議決定された第 3 次男女共同参画基本計画においては、「成果目標」として、平成 27 年までに「性犯罪被害に関する相談を受けていることを明示して相談を行っている男女共同参画センター」を「各都道府県に最低 1 か所」とされている。

そこで、性犯罪被害者が、被害を訴えることを躊躇せずに必要な相談を受けられるような相談体制を整備することを目的として、地域の身近な相談窓口である男女共同参画センター等で性犯罪被害の相談が安心して受けられるよう、都道府県・政令指定都市の男女共同参画主管課及び男女共同参画センター等で性犯罪被害者支援を行っている又は行う予定のある相談員、支援員等を対象とした性暴力被害者の相談を受けるために必要な体制整備等にかかる知識を学ぶ研修を実施する。

(2) 主 催 内閣府

【事業内容・実績】

(1) 研修の実施

佐賀県及び岡山県において、都道府県・政令指定都市の男女共同参画主管課及び男女共同参画センター等で性犯罪被害者支援を行っている又は行う予定のある相談員、支援員等に対して、性暴力被害者の相談を受けるために必要な体制整備等にかかる知識を学ぶ研修を実施した。

(2) 社会資源台帳の作成

国や地方公共団体、NPO等が実施している性犯罪被害者支援の取組に関する情報収集し、「性犯罪被害者支援機関・団体等一覧（社会資源台帳）」を作成した。

1 東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業

【事業概要】

- (1) 目的 東日本大震災の被災地においては、長引く仮設住宅での暮らしや生活不安などの影響によるストレスの高まりなどから、女性が様々な不安や悩みを抱えることや、女性に対する暴力が生じることなどが懸念される。そこで、平成 23 年 5 月 10 日から岩手県において、また同年 9 月 1 日から宮城県において、更には平成 24 年 2 月 11 日から福島県を加えた計 3 県で、地方公共団体及び民間団体等と共同で、全国の専門性の高い相談員の協力を得て、女性の悩み・暴力相談窓口を開設し、電話により相談を受け付けるとともに、相談員が仮設住宅等を訪問し、被災女性から直接相談を受け付けることなどにより、被災地において女性が安心して相談できる相談事業を実施中である。

相談員からは、被災者が仮設住宅に移り、本格的な生活再建に直面し始めたことにともない、相談内容がより深刻化するとともに、件数も増加しつつあるとの報告を受けているが、一方、こうした女性の悩みを汲み取る立場にある地方公共団体そのものが「被災者」であるため、深刻な相談に十分な対応を行うことは依然として困難であり、引き続き内閣府において、地方公共団体や民間団体等と共同し、女性の悩み・暴力相談を実施する必要がある。

そこで平成 24 年度は、引き続き相談を通じて相談者の気持ちに寄り添い、その悩みを傾聴し、一緒に不安の解消に向けた取組を考えるとともに、深刻化する相談者の状況に応じた支援の窓口につなぐことにより、具体的な問題解決につなげることとする。

また、相談窓口に寄せられた相談から、被災地における女性のニーズを把握し、地方公共団体に提供することにより、被災者支援の取組に活かすこととする。

(2) 相談受付期間

平成 24 年 4 月 1 日（日）から平成 25 年 3 月 31 日（日）

(3) 相談の対象

被災地における男女共同参画に関する相談

被災地における配偶者等からの暴力被害に関する相談

(4) 電話の名称及び番号

○岩手県

名称：「女性の心のケア ホットライン・いわて」

番号：0120-240-261（岩手県内限定フリーコール）

○宮城県

名称：「東日本大震災 心の相談 ホットライン・みやぎ」

番号：0120-933-887（宮城県内限定フリーコール）

○福島県

名称：「女性のための電話相談 ふくしま」

番号：0120-207-440（全国フリーコール）

(5) 相談受付曜日・時間

県名	曜日・時間
岩手県	月～日（祝含む） 午前１０時～午後５時
宮城県	月～金 午前８時３０分～午後４時４５分 土 午前９時３０分～午後４時４５分 日・祝 午前１０時 ～午後４時４５分
福島県	月～金（祝除く） 午前１０時～午後５時

(6) 事業の運営体制

主 催 内閣府

共 催 岩手県・宮城県・福島県

協 力 NPO 法人参画プランニング・いわて、もりおか女性センター、社団法人日本助産師会岩手県支部、いわて生活協同組合、盛岡市
NPO 法人ハーティ仙台、気仙沼市
NPO 法人ウィメンズスペースふくしま、郡山市

協力団体 NPO 法人全国女性シェルターネット、NPO 法人日本フェミニストカウンセリング学会、NPO 法人全国女性会館協議会

事務局 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団

2 東北女性の手仕事物産展

「どーんと東北！いわて、みやぎ、ふくしまから」

【事業内容・実績】

（１）東北女性の手仕事物産展「どーんと東北！いわて、みやぎ、ふくしまから」

①目 的 東北（被災地）では、女性たちが農産物・加工品、手仕事品などを生産し、復興市等で販売されてはいるが、大阪ではまだ十分にPRされていない。当財団が被災地の支援事業を受託したことで、東北３県を訪問する機会が増え、地元女性団体や自治体等とネットワークを構築しつつある。これらを活かし、東北と大阪をつなぎながら、女性がつくった農産物や加工品、手仕事品等を収集し、「大阪で応援できること＝買い物すること」をPRし、女性がつくった生產品等を販売、持続可能な販路の開拓に努め、女性の経済的自立を応援する。物品は基本的に買い取り方式とした。

②日 時 平成24年9月15日（土）・16日（日）

10:00～17:00

③場 所 ドーンセンター ロビー（1F）

④参加費 無料

⑤来場者数 2日間で約1,000名

⑥出展者一覧



県名	団体名	商品名
岩手県	手作り工房きくばん	ベーグル
	天然野草茶の店 クックハーブ	野草茶
	被災地 NGO 協働センター (つくり手応援団：岩手県被災者の女性たち)	まけないぞう
	りんご工房きただ	りんご、りんごチップス等
	松本りんご園	りんごジュース、ジュレ等
	(一社) SAVE IWATE	復興雑巾
	愛編む宮古	セーター、帽子等
	まるき水産	漁師のふりかけ等
宮城県	気仙沼ボランティアネットワーク聖敬会	気仙沼ミサンガ
	(一社) 気仙沼復興協会「港町の縫いっ娘ぶらぐ」	ランチョンマット、バッグ等
	WATALIS	巾着、いちごストラップ
	南三陸はまゆり会	南三陸復興三地蔵
	特定非営利活動法人ピースジャム	3種ジャムセット、シュシュ、巾着等
	雄勝湾漁協を支援する会	勝箸
	RQ 被災地女性支援センター	気仙沼のバラたわし、編んだもんだらたわし
	東北大学「災害科学国際研究所」	減災風呂敷「結」
福島県	かーちゃんのカプロジェクト	豆みそ、漬け物、いも床等
	酒井道子	ビーズアクセサリ
	しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福島	布草履、エコたわし等
	浪江花の会	刺子布巾・刺子台布巾等
	peach heart	柄付きマスク
	(一社) チームむかご	にこまるクッキー

⑦販売総額 1, 838, 235円

⑧協力 岩手県、盛岡市、もりおか女性センター、NPO法人参画プランニング・いわて、宮城県、気仙沼市、福島県男女共生センター、女性の自立を応援する会（福島・郡山）、大阪府、大阪市 ほか

⑨後援 NHK大阪放送局、朝日新聞社、産経新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社

⑩共催 ドーン運営共同体

⑪その他

当企画が広がり、以下のイベントへの物産紹介や委託販売等を行った（販売総額：588,010円）。

・三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」（平成24年9月17日）

・水都大阪2012（平成24年10月16日・20日・21日）

・吹田市「浜屋敷」伝統工芸・手作り市（平成24年10月21日）

・尼崎市女性センター・トレピエ

カフェ・トレピエ オープン1周年記念「東北女性の手仕事物産展」（平成24年10月21日）

・周産期における災害対策シンポジウム（平成24年10月27日）

・吹田市立博物館：開館20周年記念：ニュータウン半世紀展イベント

すいはくチャリティー みんなの元気！東北へ（平成24年11月18日）

・イコーラムフェスタ（平成25年2月23日・24日）

・朝日新聞女子組「第1回女子組フェスティバル」（平成25年3月19日）

3 被災地から関西に避難されてきた女性のためのサポート・グループ

【事業概要】

- (1) 目的 被災地から関西に避難されている女性が集い、生活の変化に伴うストレス、故郷への思い、家族のこと、慣れない土地で暮らす中でのさまざまな悩みなどを語り合える場を提供する。
- (2) 参加費 無料（交通費、保育料、菓子代も無料）

【事業内容・実績】

(1) 災害を受けて東北地方から関西へ来られた女性のみなさんへ

「故郷のこと、話しませんか」

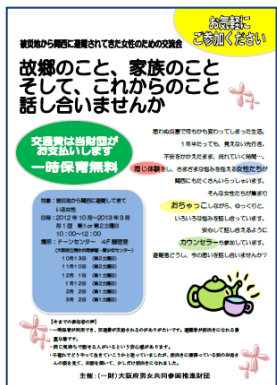
- ①日 程 平成24年4月7日（土）～9月1日（土）
10:00～12:00

- ②場 所 ドーンセンター 大会議室・中会議室・和室（4F）

- ③ファシリテーター 本多利子（臨床心理士）ほか、当財団相談スタッフ

- ④内容・参加者数 定員：各回20名、申込者数：延76名

	月 日	テーマ	参加者数 (保育人数)
1	4月7日（土）	移住して来てから困ったこと、現在困っていることについて 弁護士の家庭訪問等の支援情報の交換	12名 (13名)
2	5月12日（土）	移住したことによる夫とのズレについて 参加者のほとんどの方が抱えている問題の共有	12名 (14名)
3	6月2日（土）	移住についての家庭の中の温度差について 初めての自己決定と不安	12名 (14名)
4	7月7日（土）	現在の状況の中で、はっきりと見えて来た家族の価値観と関係性 “困った”から“解決すべき課題”へ	8名 (9名)
5	8月4日（土）	元の土地に帰るか、こちらでの自立か 大阪で就職した参加者の報告、保育課題について	5名 (4名)
6	9月1日（土）	今までとこれからについて 自主避難者へ支援がないことから、自分たちの出来ることについて	9名 (10名)
			(延)58名 (64名)



(2) 災害を受けて東北地方から関西へ来られた女性のみなさんへ

「故郷のこと、家族のこと、そして、これからのこと話し合いませんか」

- ①日 程 平成24年10月13日（土）～平成25年3月2日（土）10:00～12:00
- ②場 所 ドーンセンター調理室（4F）
- ③ファシリテーター 本多利子（臨床心理士）ほか、当財団相談スタッフ
- ④内容・参加者数 定員：各回20名、申込者数：延55名

	月 日	テーマ	参加者数 (保育人数)
1	10月13日(土)	避難生活の中での疲労感について 少人数の中で、自分の問題をゆっくり話し合う	3名 (4名)
2	11月10日(土)	子どもや夫への罪悪感について 自己決定と自己尊重について	9名 (12名)
3	12月1日(土)	様々な場で体験を話す機会が増えて来たことと、多くの人に知ってもらうことの大切さについて	6名 (8名)
4	1月12日(土)	様々な支援が打ち切られていく現実 その状況の中で、自分たちのこれからについて	8名 (8名)
5	2月2日(土)	3・11が近いことから、避難ママへのメディアの取材が多いことについて	5名 (7名)
6	3月2日(土)	啓発講座等を実施していくためのノウハウについて この事業の終了の報告と今後の展開について	9名 (11名)
			(延)40名 (50名)

1 ドーンセンターの概要

(1) 運営の基本理念と目的（平成16年3月改定）

「男女が対等な立場で、あらゆる分野へ参加・参画することができる社会の創造」を基本理念とし、社会的・経済的な男女格差の是正、女性のエンパワメントのための総合的な支援施設としての役割を果たしていくことを目的とする。

(2) 沿革

ドーンセンターの建設計画は、各界の専門家や女性団体、グループの方々など幅広い府民の参画を得て進められた。センターの事業や施設内容についてもドーンセンター推進会議やクリエイティブフォーラムなどを開催して、府民の方々とともに検討し、方針が決められた。

ドーンセンターの施設管理・事業運営については、大阪府からの委託を受けて、財団法人大阪府男女共同参画推進財団がその全てを担ってきたが、平成18年4月、ハード部門（利用促進・施設管理）に指定管理者制度が導入された。これに伴い、ハード部門は財団とNPO法人による事業共同体が指定管理者として運営を受託（5年契約）、ソフト部門（事業）は従来通り財団が受託した。

平成21年度には、大阪府によって多機能化が図られて、青少年を加えた施設名称に変更、また、府女性相談センターが転入した。

昭和61年度	4月	「21世紀をめざす大阪府女性プラン」策定 (昭和61年度～平成2年度)
	9月	建設予定地（元大手前会館跡地）を決定
	1月	第1回婦人団体、グループアンケート実施
昭和62年度	6月	基本構想公表
	1月	第2回婦人団体、グループアンケート実施
昭和63年度	9月	婦人総合センター（仮称）推進会議の設置 (平成3年7月、ドーンセンター推進会議に改称)
	12月	クリエイティブフォーラム開催 府政モニターアンケート調査実施
	1月	元大手前会館撤去完了
平成元年度		基本設計、文化財発掘調査（第1期）
平成2年度		実施設計、文化財発掘調査（第2期）
	12月	クリエイティブフォーラム開催
	2月	愛称「ドーンセンター」に決定
平成3年度	9月	「女と男のジャンププラン」策定（平成3年度～12年度まで） 文化財発掘調査（第3期）
	12月	クリエイティブフォーラム開催
	3月	建設工事着工（工期28か月）
平成4年度	12月	クリエイティブフォーラム開催
	1月	シンボルマーク決定
平成5年度	11月	プレイベント「女性映像フォーラム」開催

平成6年度	11月	ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）開館
平成13年度		大阪府における「NPOとの協働モデル施設」に位置付け
	3月	ウェルネスのフロア（地下1階）の廃止
平成14年度	4月	休館日を水曜日から月曜日に変更
	10月	NPO協働フロア（地下1階）のリニューアルオープン
平成16年度	11月	開館10周年記念行事開催
平成18年度	4月	ハード部門に指定管理者制度導入
		「NPOとの協働モデル施設」「女性のチャレンジ支援のための拠点施設」に位置付け（「改定おおさか男女共同参画プラン」）
	11月	ソウル女性プラザ（韓国）と友好協約締結
平成19年度	9月	情報ライブラリー（2階）開室時間変更
平成20年度	8月	情報ライブラリー（2階）開室日・開室時間変更
平成21年度	4月	大阪府立男女共同参画・青少年センターへ名称変更
	10月	大阪府女性相談センター転入（3階）
平成23年度	4月	第2期指定管理者が運営スタート

（3）建物概要

①所在地	大阪市中央区大手前1丁目3番49号
②敷地面積	3, 170㎡
③構造	鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
④階数	地上10階地下1階
⑤高さ	52m
⑥建築面積	1, 971㎡
⑦延床面積	12, 761㎡
⑧立体駐車場	92台

（4）運営	事業：一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 利用促進・施設管理：ドーン運営共同体
-------	--

（5）歴代館長	津村 明子	平成6年4月～平成9年12月
	上田 忍	平成10年1月～平成13年3月
	竹中 恵美子	平成13年4月～平成19年6月
	清野 博子	平成19年7月～平成22年3月
	※平成22年4月、館長職廃止	

（6）利用について

①開館時間	9：00～21：30
②利用時間	9：30～21：30
③休館日	毎週月曜日、祝日及び振替休日（ただし、その日が土・日曜日の場合は開館し、翌週火曜日が休館。またその日が月曜日の場合は、翌火曜日も休館）、年末年始
④ホール・会議室等の利用申込	
ア 予約・受付	9：00～20：00
イ 抽選会日時	<ホール、パフォーマンススペース>

12ヶ月前の第1水曜日（※） 受付：14：00～14：30

<会議室等>

6ヶ月前の第1水曜日（※） 受付：9：30～10：00

※第1水曜日が休館日の場合は、次の平日開館日に行く。

1月に限っては第2水曜日に行く。

ウ 電話・窓口受付 抽選会翌日の9：30から先着順で受け付け

⑤こどものへや

定期保育 毎週木曜日 9：30～12：30

対 象：1歳以上就学前まで

保育料：1時間につき500円

定 員：6名程度

⑥サポート・カウンセリングルーム

ア 問い合わせ・予約受付 火～金曜日 13：30～18：00

18：45～21：00

土・日曜日 9：30～13：00

13：45～18：00

イ 女性の悩み電話相談 火～金曜日 17：00～20：00

土・日曜日 10：00～16：00

ウ 女性のための面接相談 火～金曜日 17：00～21：00

土・日曜日 10：00～18：00

⑦情報ライブラリー

ア 開室時間 火・水・木・土曜日 9：30～17：30

（貸出、情報相談は17：20まで）

金曜日 9：30～20：00（貸出、情報相談は19：50まで）

イ 休室日 休館日、日曜日、毎月最終火曜日（火曜日が休館の場合は、翌日の水曜日）及び特別資料整理期間

⑧駐車場（タワーパーキング）

8：45～21：45

最初の1時間 400円（以降30分ごとに200円）上限2,400円

普通車のみ

（車高・車幅等制限あり。車高1m55cm 車幅1m80cm 車長5m30cm）

※障害者手帳等の提示により、料金を免除

2 ドーン運営共同体の概要

(1) 設立目的

男女財団、青少年財団、施設管理会社、文化関係NPOの4団体による事業共同体として指定管理者に名乗りをあげ、個々の団体の特色を活かし、利用サイドに立った柔軟できめ細かい発想を生かすことで、指定管理者制度の趣旨である利用者サービスの向上と施設の効率的運用の両立を図り、大阪府における男女共同参画社会づくりの拠点施設及び青少年センターとしてのドーンセンターの利用促進を継続発展させる。

(2) 構成員

- 名 称 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団
代表者 理事長 時岡禎一郎
所在地 大阪市北区西天満3丁目11番8号

- 名 称 一般財団法人大阪府青少年活動財団
代表者 理事長 鈴木 孝三
所在地 大阪市浪速区幸町2丁目7-3 りそな・アルテ桜川ビル4階

- 名 称 三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社
代表者 常務取締役支社長 瀬尾 孝夫
住 所 大阪市北区天満橋1丁目8番30号

- 名 称 特定非営利活動法人大阪現代舞台芸術協会
代表者 理事長 岩崎 正裕
住 所 大阪市中央区東心斎橋2丁目1番27号 周防町ウイングス5階

※共同体代表者は、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団理事長

(3) 指定管理者指定年月日

平成23年3月16日

(4) 指定期間

平成23年4月1日～平成28年3月31日（5年間）

(5) 共同体の事務所

大阪市中心部中央区大手前1丁目3番49号

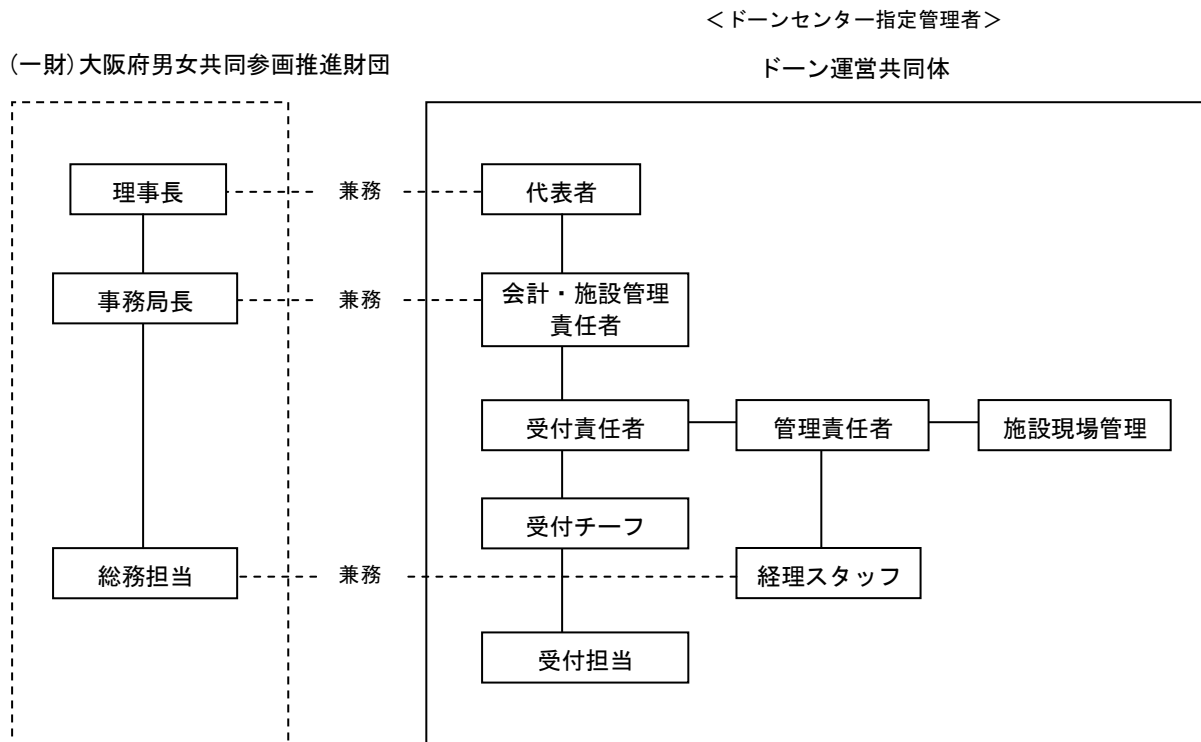
(6) 主要事業

- (1) ホール・会議室等の利用受付及び使用料の徴収業務
- (2) 施設、設備等の維持管理業務（日常清掃業務を除く）
- (3) 一時保育事業

(7) 共同体のあゆみ

平成22年12月 9日 「ドーン運営共同体」発足
平成23年 3月16日 大阪府より指定管理者に指定
平成23年 4月 1日 指定管理業務開始

(8) 組織体制



3 指定管理業務

大阪府から指定管理者として指定されたドーンセンターの管理運営を行うとともに、府民にホールや会議室の貸出を行った。

(1) 来館者数

(単位：人)

	会議室等	ホール等	ライブラー	視 察	その他	合 計	1 日平均
4 月	14, 836	7, 136	1, 769	0	792	24, 533	(25 日) 981
5 月	13, 583	8, 298	2, 044	0	834	24, 759	(23 日) 1, 076
6 月	17, 170	11, 830	2, 410	0	1, 066	32, 476	(26 日) 1, 249
7 月	15, 739	10, 823	2, 190	0	1, 299	30, 051	(25 日) 1, 202
8 月	12, 021	8, 831	2, 805	5	950	24, 612	(27 日) 912
9 月	14, 069	10, 630	1, 966	0	1, 939	28, 604	(24 日) 1, 192
1 0 月	14, 409	11, 030	2, 479	83	1, 192	29, 193	(25 日) 1, 168
1 1 月	14, 385	10, 820	1, 967	0	1, 348	28, 520	(24 日) 1, 188
1 2 月	11, 608	11, 265	1, 806	8	1, 087	25, 774	(23 日) 1, 121
1 月	11, 689	7, 400	1, 425	15	683	21, 212	(23 日) 922
2 月	15, 140	9, 970	1, 508	0	786	27, 404	(23 日) 1, 191
3 月	17, 348	10, 950	1, 467	0	788	30, 553	(26 日) 1, 175
24 年度計	171, 997	118, 983	23, 836	111	12, 764	327, 691	(294 日) 1, 115
23 年度計	170, 049	112, 143	23, 700	77	10, 554	316, 523	(295 日) 1, 073

(2) 会議室・ホール等の貸出

男女の自立と対等な参加・参画に基づく男女共同参画社会の実現、並びに青少年活動の促進や青少年の健全育成に資する目的をもって行う学習活動等の開催場所として、ドーンセンターの会議室やホールなどを貸出した。

なお、センターの設置目的に支障のない範囲において、府民の健全で文化的な集会及び催物等の実施に対しても会議室等を貸出した。

①会議室・ホール等の利用状況

<会議室等の利用率>

	会 議 室 等 (%)				ホール (%)	パフォーマンス・ スペース (%)	合計 (%)
	会議室	和 室	調理室等	小 計			
4 月	72.3	45.3	39.2	61.3	47.8	34.7	59.5
5 月	64.3	45.7	43.2	57.2	55.6	46.4	56.6
6 月	65.2	48.7	45.4	58.6	65.3	55.1	58.7
7 月	65.2	48.7	48.0	59.3	53.6	44.0	58.3
8 月	51.8	35.2	37.0	46.4	52.0	50.6	46.8
9 月	67.2	43.8	47.5	59.9	69.7	61.1	60.4
10 月	62.4	42.7	42.1	55.3	69.6	58.7	56.1
11 月	64.0	47.9	45.3	57.7	80.3	58.3	58.7
12 月	54.0	44.2	37.7	48.9	66.7	77.3	50.9
1 月	56.6	42.0	31.3	48.8	51.7	39.4	48.5
2 月	68.6	48.6	43.5	60.3	65.1	55.1	60.3
3 月	68.7	59.6	49.0	62.9	72.2	53.8	62.9
24 年度計	63.4	46.0	42.5	56.4	62.4	52.7	56.5
23 年度計	63.6	45.1	41.2	56.1	62.7	53.9	56.3

<利用目的別比率>

種 別	目 的 内 利 用 (%)					一般利用
	男女共同参画				青少年	
	財団主催講座等	登録団体	その他	合 計		(%)
会議室等	5.8	17.4	19.2	42.4	8.4	49.2
ホール	2.2	5.8	12.7	20.7	15.1	64.2
パフォーマンス・スペース	0.0	8.4	11.3	19.7	8.7	71.6
24 年度計	5.4	16.5	18.4	40.4	8.8	50.8
23 年度計	5.0	23.2	14.1	42.3	7.9	49.8

<曜日別、時間帯別利用率>

種 別		午 前 (%) (9:30～12:00)	午 後 (%) (13:00～17:00)	夜 間 (%) (18:00～21:30)	計 (%)
会議室等	平日	49.2	69.7	39.9	53.0
	土曜	75.4	92.7	34.1	67.4
	日曜	66.3	89.7	17.8	58.0
	小計	56.9	77.4	34.9	56.4
ホール	平日	49.1	71.8	32.5	51.1
	土曜	90.4	96.2	67.3	84.6
	日曜	94.3	96.2	35.8	75.5
	小計	66.0	81.3	39.9	62.4
パフォーマンス・スペース	平日	36.9	44.9	49.2	43.7
	土曜	73.1	84.6	40.4	66.0
	日曜	98.1	98.1	18.9	71.7
	小計	54.5	61.6	42.1	52.7
合 計	平日	48.6	68.7	40.9	52.5
	土曜	76.0	92.5	35.9	68.1
	日曜	69.0	90.4	18.7	59.4
	小計	57.2	76.8	35.5	56.5

②駐車場の利用状況

当センター利用者の方の利便性を高めるため、普通車92台を収容できる立体駐車場を完備している。また、障がい者の方は、利用料金を免除している。

<駐車場利用状況>

区分	駐車台数		一日平均	
		内免除数		日数
4月	1,603	29	64	25
5月	1,150	26	50	23
6月	1,819	37	70	26
7月	1,559	46	62	25
8月	1,594	43	59	27
9月	1,311	66	55	24
10月	1,317	62	53	25
11月	1,232	58	51	24
12月	1,079	60	47	23
1月	887	43	39	23
2月	1,231	60	54	23
3月	1,212	72	47	26
24年度計	15,994	602	54	294
23年度計	11,710	340	40	295

(3) グループ活動の支援

① グループロッカーの設置

ア 定期的にドーンセンターを利用するグループ・団体の使用物品の保管場所として、また、グループ相互の情報交換を通じ、グループ同士の交流を深めるために、グループロッカーを設置し、貸し出しを行う。

イ 自主的に結成・運営されているグループで、ドーンセンターを定期的に利用している団体等。申込み多数の場合は抽選

ウ 貸し出し期間 1年間（平成24年4月1日～平成25年3月24日）

エ 使用料金 無料とする。

オ ロッカー数

(ア) 大型(幅36cm×高さ77cm×奥行40cm) 36個

(イ) 小型(幅34cm×高さ28cm×奥行35cm) 80個

カ 貸出し件数 78団体（登録団体：68、一般団体：10）

② メールボックスの設置

定期的にドーンセンターを利用するグループ・団体の活動に関する情報交換のため資料等郵便物の配達を受けるため、センター内にメールボックスを設置し、貸出しを行ってきたが、貸し出し件数が少なく当館での活動実績が少ない団体もあったため、より良い方法を現在検討中。

③ ワークステーションの運営

ア チラシやミニコミ誌等の作成、催し物の準備に伴う各種の創作活動を通じて、ドーンセンターを活動の拠点とするグループ活動や、グループ相互の交流を促進するためのスペースとしてワークステーションを無料提供する。

イ 運営時間 9：00～21：30

ウ 設置機器 印刷機、紙折り機、裁断機、製本機、(コピー機は3階へ移動)

エ 使用料

(1) 印刷機：製版代 1製版 50円、
印刷代 1枚 0.5円（但し、10円単位での精算）
用紙は利用者持参

(2) コピー機：1枚10円、カラー 0円

(3) FAX：送受信ともA4まで1枚20円 A3まで1枚40円

E-mail サービス：パソコン使用料 20分100円

プリントアウト 1枚10円

オ 急に用紙が必要になった場合の対応としてコピー用紙の販売を開始した。

A4サイズ500枚 400円

B4サイズ500枚 600円

A3サイズ500枚 700円

<利用状況>

月 別	印刷機利用団体数	月 別	印刷機利用団体数
平成 24 年 4 月	90 件	平成 24 年 10 月	92 件
平成 24 年 5 月	115 件	平成 24 年 11 月	95 件
平成 24 年 6 月	82 件	平成 24 年 12 月	66 件
平成 24 年 7 月	90 件	平成 25 年 1 月	79 件
平成 24 年 8 月	79 件	平成 25 年 2 月	71 件
平成 24 年 9 月	78 件	平成 25 年 3 月	93 件
合 計		1,030 件	

④ ポスタープリントサービス

利用団体・NPO・団体等の活動支援の一環で、効果的な広報・PRのために、PDFデータを拡大するサービスを行う。

<販売実績>

		価格	販売数
1	フォト半光沢紙(A1)	3,000	0
2	フォト半光沢紙(B2)	2,000	0
3	フォト半光沢紙(A2)	1,500	0
4	厚口コート紙(A1)	2,000	0
5	厚口コート紙(B2)	1,500	0
6	厚口コート紙(A2)	1,000	0
7	プレミアム普通紙(A1)	600	44
8	プレミアム普通紙(B2)	500	66
9	プレミアム普通紙(A2)	400	0
	合 計		112

※平成24年5月1日より販売開始

⑤ 情報交換プラザの運営

センター内外で行われる各種行事の情報提供及びグループ活動の交流や情報の交換が行えるよう、1階の情報交換プラザにおいてグループ・団体、行政機関等のちらしやパンフレット等を配布した。

	府庁関係	国・他府県	市町村	他の女性センター	自主グループ	合計
24年度	412	185	1033	884	1520	4034
23年度	408	243	821	705	1849	4026

4 一時保育事業

子育て中の人々の社会参加を促進・支援することを目的として、ドーンセンター利用者を対象に、「こどものへや」を活用した一時保育事業をドーン運営共同体の主催事業として実施した。

運営にあたっては、民間の保育運営手法を取り入れ、より一層の事業効果を高めるため、公募プロポーザルによって選定したNPO法人関西子ども文化協会との協働（委託）により事業の活性化に努めた。

（１）実施内容

①定期保育

情報ライブラリー等のセンター利用者を対象として、平成２４年４月から平成２５年３月まで毎週木曜日午前に実施した。

＜保育時間＞ ９：３０～１２：３０

②「こどものへや」の貸し出し

センター施設を利用する団体・グループが保育を実施する場合に、「こどものへや」の貸出を行った。

③ 保育協力者 １８１名（平成２５年３月３１日現在）

（２）「こどものへや」の利用状況

	定期保育			貸出件数②	合計①+②
	開催日数①	子ども数	保育協力者数		
４月	０	０	０	６	６
５月	４	２９	２１	２１	２５
６月	４	３０	２０	２７	３１
７月	４	１８	１６	２６	３０
８月	５	３２	２１	２１	２６
９月	５	２６	１７	２２	２７
１０月	３	２５	１５	２５	２８
１１月	６	３５	２４	２３	２９
１２月	４	２４	１５	２３	２７
１月	３	８	６	５	８
２月	３	５	９	１０	１３
３月	４	２２	１７	８	１２
２４年度計	４５	２９９	１８１	２１７	２６２
２３年度計	３３	８１	７９	１５５	１８８

1 東大阪市立男女共同参画センターの概要

(1) 目的

東大阪市立男女共同参画センターは「男女共同参画社会基本法」の基本理念を踏まえ、女性と男性が互いにその人権を尊重し、性別にとらわれることなく、一人ひとりの能力と個性が十分にいかされる社会の実現をめざすための活動を行う拠点施設として設置した。

(2) 業務内容

①情報に関する事業

情報の提供・発信（啓発）・収集、調査研究、機関紙の発行

②学習に関する事業

男女共同参画社会の実現に向けた講座、女性のエンパワーメントを促進するための講座、講演会、ビデオ上映会等の開催

③交流事業

交流の機会提供、利用者間の情報交流の促進、他都市との交流促進

④自主活動支援事業

諸活動の場の提供、センター利用者に対する一時保育

⑤相談事業

女性のための相談：女性相談員による電話相談、面接相談、多言語相談（英語、中国語、韓国・朝鮮語）、女性弁護士による法律相談、女性社会保険労務士による労働相談
男性のための相談：男性相談員による電話相談

(3) 所在地

東大阪市岩田町4丁目3番22-600号

近鉄奈良線若江岩田駅北側「希来里（きらり）」ビル 施設棟 6階

(4) 開館年月日

平成15年4月14日

(5) 愛称

「イコーラム」

(6) 愛称の由来

愛称を公募した結果、イコール（equal＝等しい、同じであること）とフォーラム（forum＝集会所、公共の広場）をあわせた造語である「イコーラム」に決定した。

(7) 建物概要

①構造等 鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造、地上7階 地下1階

②施設占有面積 1,898.36 m²

(8) 利用案内

- ①開館時間 平日・土曜日 9:00～21:30
日曜日・祝日 9:00～18:00
- ②休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は開館し、その翌日が休館）
12月29日から1月4日
- ③利用申込 研修室・学習室は使用日の3ヶ月前の属する月の1日から、直接窓口にて申込み可能。
ホール・ギャラリーは使用日の6ヶ月前の属する月の1日から申込み可能。

(9) 運 営 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団

(10) 事業推進委員会

男女共同参画社会の実現をめざし、市と連携してセンターの自主事業企画の提案を行い、男女共同参画の推進を図る目的で設置。

①委員 13名（公募市民）、任期2年

②事業推進委員会議事内容

	月 日	議 題
1	6月7日(木)	平成24年度事業について、男女共同参画週間記念のつどいについて、センターだよりについて ほか
2	7月26日(木)	男女共同参画週間記念のつどいについて（報告）、センターだよりについて、希来里ファミリーまつりについて、フェスタ会議開催について ほか
3	9月20日(木)	イコーラムフェスタについて、センターだよりについて ほか
4	10月16日(火)	イコーラムフェスタについて
5	11月8日(木)	イコーラムフェスタについて、センターだよりについて ほか
6	1月17日(水)	イコーラムフェスタについて、センターだよりについて ほか
7	2月19日(火)	イコーラムフェスタについて（最終打ち合わせ）
8	3月14日(木)	イコーラムフェスタを振り返って、センターだよりについて、2年間を振り返って

2 施設管理業務

指定管理者として指定された管理運営を行うとともに、市民にホールや研修室の貸出を行った。

(1) 利用者数

＜月別利用者数＞

(単位：人)

	ホール	ギャラリー	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	学習室	子ども室	合計
4月	3,316	0	1,316	1,202	616	647	1,105	27	8,229
5月	2,581	240	1,333	1,212	586	657	1,210	34	7,853
6月	3,173	3,288	1,268	1,304	586	899	1,108	24	11,650
7月	5,880	250	1,482	1,111	799	701	1,059	71	11,353
8月	2,230	400	1,548	1,260	668	678	1,091	27	7,902
9月	4,410	960	1,452	1,111	651	728	1,217	56	10,585
10月	3,908	2,720	1,583	1,730	631	812	1,300	111	12,795
11月	4,498	540	1,679	1,649	772	876	1,507	189	11,710
12月	3,952	650	1,312	1,224	622	588	1,160	119	9,627
1月	3,718	640	1,114	1,101	525	576	623	29	8,326
2月	4,678	1,190	1,906	1,681	562	1,140	1,117	64	12,338
3月	6,170	360	1,785	1,542	687	771	1,048	56	12,419
合計	48,514	11,238	17,778	16,127	7,705	9,073	13,545	807	124,787

＜利用種別＞

(単位：人)

	一般利用	団体登録	公用利用	合計
ホール	38,326	1,455	8,733	48,514
ギャラリー	1,461	0	9,777	11,238
第1研修室	12,445	1,422	3,911	17,778
第2研修室	12,257	806	3,064	16,127
第3研修室	5,932	771	1,002	7,705
第4研修室	7,440	998	635	9,073
学習室	10,159	2,032	1,354	13,545
子ども室	427	89	291	807
合計	88,447	7,573	28,767	124,787

＜性別＞

(単位：人)

	男性	女性	合計
ホール	21,390	27,124	48,514
ギャラリー	5,404	5,834	11,238
第1研修室	6,708	11,070	17,778
第2研修室	5,569	10,558	16,127
第3研修室	2,111	5,594	7,705
第4研修室	2,937	6,136	9,073
学習室	5,295	8,250	13,545
子ども室	403	404	807
合計	49,817	74,970	124,787

3 東大阪市主催事業

【事業概要】

- (1) 目 的 男女共同参画社会を推進するための講座や講演会等を開催する。
- (2) 期 間 平成24年4月1日～平成25年3月31日

【事業内容・実績】

(1) イコーラムカレッジ「現代社会を読み解く」①

- ①目 的 視点を変えて演劇を観ることで見えてくる、そこに映し出されている現代社会の問題について学び、考える。
- ②日 時 平成24年7月15日（日）10：00～12：00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：22名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	7月15日（日） 10:00～12:00	演劇を通してみる現代社会～視点を変えて観てみよう～ 畑 律江（毎日新聞大阪本社学芸部編集委員）	21名



(2) イコーラムカレッジ「現代社会を読み解く」②

- ①目 的 女性の理系・技術系分野への進出について知り、女性の参画が社会の活性化にどのようにつながるかを学ぶとともに、固定的なジェンダー意識から自由になって、女性の進路選択の視野を広げる機会とする。
- ②日 時 平成24年8月26日（日）14：00～16：00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：21名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	8月26日（日） 14:00～16:00	理系・モノづくり系・技術系 女性の活躍が社会を変える！～より広い分野への挑戦～ 巽真理子（大阪府立大学女性研究者支援センターコーディネーター）	18名



(3) イコーラムカレッジ「現代社会を読み解く」③

- ①目 的 地域の祭りの伝統をもつ東大阪で、地域の自然や建築・街並み、産物、祭事、風習などの“地域資源”を媒体として、女性・男性をはじめ、多世代・多国籍といった多様な人と地域の“つながり”を大切にしまちづくりを考える。
- ②日 時 平成24年10月28日(日) 10:00～12:00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：24名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	10月28日(日) 10:00～12:00	ひと・くらし・まち～人と人、人と地域の“つながり”を育む～ 弘本由香里(大阪ガス㈱エネルギー・文化研究所 特任研究員)	18名

(4) イコーラムカレッジ「現代社会を読み解く」④

- ①目 的 家族以外の“つながり”の重要性を認識し、家族形態に関わらず安心して生活できる方法を多様性のある社会を形成しているオーストラリアの事例から探る。
- ②日 時 平成24年12月8日(土) 14:00～16:00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：34名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	12月8日(土) 14:00～16:00	家族以外の大事な“つながり”～オーストラリアにみる豊かな生き方～ ローラ・デールズ(西オーストラリア州立大学准教授)	23名

(5) イコーラムカレッジ「現代社会を読み解く」⑤

- ①目 的 これまでの男女平等教育の取り組みと、いまなお教育現場で子どもに刷り込まれるジェンダーを知り、子どもの性別に関わりなく一人ひとりの可能性や生き方の選択の幅を広げる学校教育のこれからを考える。
- ②日 時 平成25年3月3日(日) 14:00～16:00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：25名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	3月3日(日) 14:00～16:00	個性や能力をのばす教育 ～子どもが学校で学びとるメッセージから考える～ 朴木佳緒留(神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授)	19名

(6) 一歩セミナーシリーズ 女性のための心理学レッスンⅤ

- ①目 的 リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念を知り、からだの主人公である女性が、一人の女性の生き方のなかで出産を考える講座とする。
- ②日 時 平成24年4月28日(土) 10:00～12:00
*当初3月24日予定
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員:20名、申込者数:14名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	4月28日(土) 10:00～12:00	「女性と体の健康～性にかかわること～」 甲村弘子(大阪樟蔭女子大学教授)	5名

(7) 一歩セミナーシリーズ①子育て期の女性

- ①目 的 子育て中の女性が、固定的な性別役割分担意識や理想の母親像から自由になり、子育ての負担を少しでも軽くするとともに、子育ての悩み子どもとのかかわりをジェンダーの視点で考えることで親子ともに自分らしく生きるきっかけとなることをめざす。
- ②日 時 平成24年5月12日(土)・19日(土)
10:00～12:00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員:20名、申込者数:11名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	5月12日(土) 10:00～12:00	「親育てのできる社会をめざして～『母性』よりも『育児性』～」 遠矢家永子(NPO法人SEAN副理事長、事務局長)	9名
2	5月19日(土) 10:00～12:00	「母と子どもの素敵な関係」 加藤伊都子(フェミニストカウンセリング堺カウンセラー)	8名
			(延)17名

(8) 一歩セミナーシリーズ②中・高年期の女性

- ①目 的 人生の大きな節目を迎える中高年期の女性が抱える課題や不安を解消し、また長い間縛られてきたジェンダー意識から自由になることで、のちの人生の選択肢を増やし、自分自身で生き方を考えて決めることができるようになることをめざす。
- ②日 時 平成24年6月28日(木)、7月5日(木)・12日(木)
10:00～12:00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室



④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：43名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	6月28日(木) 10:00～12:00	誰と住む？どう暮らす？～十人十色のシニアライフ～ 安田香珠子（女性問題専門心理カウンセラー、 心の相談室「Woman」主宰）	36名
2	7月5日(木) 10:00～12:00	いつまでも自分らしく～加齢に伴う心の変化～ 福井幸子さん（ウィメンズセンター大阪スタッフ）	31名
3	7月12日(木) 10:00～12:00	老後を楽しく過ごす～高齢社会をどう生きるか～ 小林敏子（高齢社会をよくする女性の会・大阪代表）	34名
			(延)101名

（9）一歩セミナーシリーズ③女子編・これから生き方を考えるあなたへ

①目 的 若年期の女性が直面する様々な悩みや不安の背後にあるジェンダー意識に気づき、自尊感情とコミュニケーションスキルを獲得することを目的とする。

②日 時 平成24年10月13日(土)・20日(土)・27日(土)
14:00～16:00

③場 所 イコーラム第1・2研修室

④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：39名

平成24年度 一歩セミナーシリーズ	
※申込は後述の申し込み要領に記載の通りです。	
シリーズ③ 女子編・これから生き方を考えるあなたへ 私が悩んで、生き方を考えていくために～ このセミナーを通して、あなたも悩んでください～	
会場	東大阪市内在住の女性向けセミナー イコーラム 第1・2研修室 定員：20名
日時	10月13日(土) 14:00～16:00
講師	伊藤良子（大阪府立大学地域保健学域看護学類助教）
10月20日(土) 14:00～16:00	乾史弥（大阪府立泉尾高等学校英語教諭）
10月27日(土) 14:00～16:00	堀田美保（近畿大学総合社会学部心理系専攻教授）
申込料	無料
申込	10月13日(土)迄 ※後述の申し込み要領に記載の通りです。
主催	東大阪市内在住の女性向けセミナー イコーラム 第1・2研修室

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	10月13日(土) 14:00～16:00	素敵な人間関係のつくり方 ～人付き合い、楽しくラクにしませんか？～ 伊藤良子（大阪府立大学地域保健学域看護学類助教）	26名
2	10月20日(土) 14:00～16:00	「自分らしさ」ってなんだろう？～世界を知って自分を知ろう～ 乾史弥（大阪府立泉尾高等学校英語教諭）	21名
3	10月27日(土) 14:00～16:00	自分も相手も気持ち良い！私の思いの伝え方 ～コミュニケーショントレーニング～ 堀田美保（近畿大学総合社会学部心理系専攻教授）	21名
			(延)68名

（10）一歩セミナーシリーズ④「仕事・家事・育児、毎日を頑張る女性へ」

①目 的 女性のライフスタイルの多様化に対応したワーク・ライフ・バランスを考えるとともに、日々の生活で見逃しがちな心の不調に目を向け、日頃からのメンタルケアについて考える。

②日 時 平成25年1月19日(土)・26日(土)
14:00～16:00

平成25年度 一歩セミナーシリーズ	
※申込は後述の申し込み要領に記載の通りです。	
シリーズ④ 仕事・家事・育児、毎日を頑張る女性へ 私が悩んで、生き方を考えていくために～ このセミナーを通して、あなたも悩んでください～	
会場	東大阪市内在住の女性向けセミナー イコーラム 第1・2研修室 定員：20名
日時	1月19日(土) 14:00～16:00
講師	伊藤良子（大阪府立大学地域保健学域看護学類助教）
1月26日(土) 14:00～16:00	堀田美保（近畿大学総合社会学部心理系専攻教授）
申込料	無料
申込	1月19日(土)迄 ※後述の申し込み要領に記載の通りです。
主催	東大阪市内在住の女性向けセミナー イコーラム 第1・2研修室

- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：30名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	1月19日(土) 14:00～16:00	私流・ライフスタイルを作ろう 村沢祐子(キャリアコンサルティング技能士・精神保健福祉士・産業カウンセラー)	21名
2	1月26日(土) 14:00～16:00	自分のココロと上手に付き合う 井上泰世(プロフェッショナル・コーチ、シニア産業カウンセラー)	24名
			(延) 45名

(11) 男性講座「“オトコの孫育て” でみんな元気に！」

- ①目 的 孫を育てるノウハウやコツを学びながら、みんなを元気にする孫育てについて考える。
- ②日 時 平成24年9月8日(土) 14:00～16:00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の男性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：10名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	9月8日(土) 14:00～16:00	“オトコの孫育て” でみんな元気に！ ～育児で気づく新しい世界・よりよい家族関係～ 中野泰孝(一般財団法人大阪府青少年活動財団経営企画部長)	8名

(12) 男性講座「父子で一緒に料理をしよう！」

- ①目 的 男性講師の指導のもと男性保護者と子どもと一緒に料理を作ることを通して、親子のコミュニケーションを深め、料理は女性の仕事という固定観念を見直し、男性の子育てについても考える機会とする。
- ②日 時 平成24年11月4日(日) 10:00～14:00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の男性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：12組、申込者数：10組



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	11月4日(日) 10:00～14:00	父子で一緒に料理をしよう！ 白山登茂和(レストランふれんちん代表)	10組 23名

(13) 男性講座「職場、家庭で大活躍！ 気分も爽快！ 男のコミュニケーション術」

- ①目 的 「自分の思いを言葉で相手に伝える」ということは当たり前の
ようでもとても難しいこと。コミュニケーションスキルを磨いて、
職場でも家庭でも地域活動でも、自分も相手も気持ち良い関係を作
るための講座。
- ②日 時 平成25年2月3日(日) 14:00～16:00
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の男性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：24名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	2月3日(日) 14:00～16:00	職場、家庭で大活躍！ 気分も爽快！ 男のコミュニケーション術 濱田智崇(京都橋大学健康科学部心理学科助教、カウンセリングオ フィス天満橋代表)	18名

(14) 地域女性リーダー養成講座：翔塾(はばたきじゅく)

「子どもの育ち・親の育ちを支える」

- ①目 的 子どもが生きやすい環境、子育てしやすい社会をめざし、親子
の気づきや学び、育ちをサポートし、自分自身もエンパワーして
いく女性のための「子どもにかかわる力」を高める講座。
- ②期 間 平成24年11月11日(日)～12月16日(日)
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：18名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	11月11日(日) 13:30～16:30	多様な家族と子ども 神原文子(神戸学院大学人文学部教員)	11名
2	11月18日(日) 13:30～16:30	子どもをめぐる暴力を考える～ジェンダーの視点から～ 中川和子(NPO 法人フェミニストカウンセリング堺代表、 MY TREE ペアレンツ・プログラム事務局長)	9名
3	11月25日(日) 13:30～16:30	心の栄養・感情のコントロール 北口佳世子(東大阪立日新高等学校教諭)	11名
4	12月9日(日) 13:30～16:30	‘わたし’のめざす子育て支援～子どもに関わるグループとの交流～ 活動発表：きらりっこ(つどいの広場) くれよん(イコーラム登録団体) コーディネーター：山崎秀子((社)子ども情報研究センター事務局次長、 チャイルドラインひがしおおさか副代表、前イコーラム事業推進委員)	9名
5	12月16日(日) 13:30～16:30	次世代につなぐグループ運営 吉本美江(摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつ職員、 元ミズプランニング代表)	13名
			(延)53名

（１５）表現講座「手作り紙芝居で伝えよう！“男女共同参画”」

- ①目 的 “女だから、男だからという枠にとらわれず、協力していくこと”をテーマに、ひとりであるいはグループでオリジナル紙芝居をつくる。
- ②期 間 平成24年7月1日（日）～8月5日（日）
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤講 師 ピーマンみもと（紙芝居製作実演家）
- ⑥アドバイザー 本多利子（スクールカウンセラー、臨床心理士）
- ⑦参加費 無料
- ⑧内容・参加実績 定員：20名、申込者数：13名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	7月1日（日） 10:00～12:00	男女共同参画をテーマにした紙芝居作りについて／ストーリー作り	9名
2	7月8日（日） 13:30～16:30	紙芝居作り実習／下書きの作成	12名
3	7月22日（日） 13:30～16:30	紙芝居作り実習／仕上げ作業	11名
4	8月5日（日） 13:30～16:30	紙芝居の読み方、伝え方、聞き手の反応など	10名
			（延）42名

（１６）仕事イキイキ講座「カフェ de 開業チャレンジ！」

- ①目 的 カフェを開きたい女性が一步踏み出すための講座。“いろいろ考えているけれど起業まではちょっと…” “という人を応援する。
- ②期 間 平成24年8月4日（土）～9月1日（土）
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：72名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	8月4日（土） 13:30～16:30	「知る・整理する～自己実現に向けて～」 佐々木妙月（情報の輪サービス㈱ 代表取締役）	30名
2	8月11日（土） 13:30～16:30	「カフェオーナーに聞く」 永井美江（coma cafe） 永尾寿子（café ねこぱん）	29名
3	8月19日（日） 10:00～14:00	希来里ファミリーまつり カフェ体験	25名
4	8月25日（土） 13:30～16:30	「‘思い’をカタチに～コンセプトづくり～」 鳥淵朋子（アクト研究室）	25名
5	9月1日（土） 13:30～16:30	「‘思い’を広げよう～コンセプトの発表～」 鳥淵朋子（アクト研究室）	28名
			（延）137名

(17) ちょこっとレクチャー「ビデオな1日」

①目 的 家族関係や、女性の生き方など、男女共同参画の視点のあるビデオやDVDなどを通して、男女共同参画について学び、気づきを得る。

②期 間 平成24年4月～平成25年2月

③場 所 イコーラム第1・2研修室

④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：各40名

	日時	内 容	参加者数
1	4月22日(日) 10:00～12:30 14:00～16:30	『オフサイドガールズ』 ＜2006年/イラン/92分/監督：ジャファル・パナヒ＞ この国の女性は、スタジアムで男性サッカーを観戦してはならない。どうして女はスタジアムには入れないの？！	① 4名 ② 16名
2	6月12日(火) 10:00～12:00 14:00～16:00	『マルタのやさしい刺繍』 ＜2006年/スイス/86分/監督：ベティナ・オルベリ＞ 夢見るパワーとあきらめない心、80歳マルタの挑戦がはじまる。	① 15名 ② 28名
3	8月19日(日) 14:00～16:00	『キュリー夫妻～その愛と情熱～』 ＜1996年/フランス/107分/監督：クロード・ピノトー＞ ラジウムの発見によってノーベル物理学賞を受賞したマリー・キュリーの生涯。	75名
4	10月2日(火) 10:00～12:00 14:00～16:00	『食堂かたつむり』 ＜2010年/日本/119分/監督：富永まい＞ 生きることは、食べること。おいしくてしょっぱい母と娘の物語。	① 24名 ② 38名
5	12月15日(土) 10:00～11:30 14:00～15:30	『子供の情景』 ＜2007年/イラン、フランス/77分/監督：ハナ・マフマルバフ＞ 「私も学校に行きたい！」女の子の小さな冒険がはじまる。	① 4名 ② 9名
6	2月26日(火) 10:00～12:00 14:00～16:00	『オカンの嫁入り』 ＜2010年/日本/110分/監督：呉美保＞ 長年一人親家族として仲良く支え合ってきた母娘が、母親の突然の結婚宣言によって揺れ動くさまをユーモラスに温かく描いた人間ドラマ。	① 39名 ② 39名
			(延) 271名



（１８）男女共同参画週間 記念のつどい

①目 的 国の定める「男女共同参画週間」にちなみ、「男らしさ」「女らしさ」のイメージに縛られた慣習や制度などを問い直し、性別による固定的な役割分業ではなく一人ひとりがありのままに輝き、生き生きとできる社会の実現をめざすきっかけとなるよう、市民に呼びかける。

②日 時 平成24年6月23日（土）13:30～16:00

③場 所 イコーラムホール

④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：244名、参加者数：193名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	6月23日（土） 13:30～16:00	東大阪発！一人ひとりが輝く未来へ 東大阪市長あいさつ 「ひとことメッセージ」入選作品の紹介 近畿大学ギターマンドリンクラブ演奏 【講演】 「女も男も幸せになる法則 ～家庭の中の“女と男”、仕事の中の“女と男”～」 谷口真由美（大阪国際大学現代社会学部法律政策学科准教授）	193名 （女性140名 男性53名）
2	6月16日（土） ～6月30日（土）	【ギャラリー展示】 ・「ひとことメッセージ」各部門の優秀作および佳作 ・パネル『なるほどジェンダー』	

（１９）男女共同参画社会にむけて ひとことメッセージ

①目 的 6月23日～29日の「男女共同参画週間」にちなみ、男女共同参画に向けたメッセージを広く募集することにより、家庭や地域社会における男女共同参画への関心・気「づき・取り組みなどを促し、東大阪市男女共同参画センター及び男女共同参画推進条例の周知を図る。

②募集期間 平成24年4月1日（日）～5月10日（木）

③対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方

④内容・応募実績 応募作品数：916点、入選作品数：8点



	内 容	作品数
1	応募作品より「小学生の部」「中学生の部」「高校生の部」「一般の部」の各部門ごとに、優秀1点、佳作2点を選考し、そのうち最も優良なものを最優秀として表彰し、対象者には記念品（図書カード）を贈呈。	応募：916点 入選：8点

(20) 希来里ファミリーまつり

- ①目 的 希来里ビル全館で繰り広げられる希来里ファミリーまつりに
おいて、参加型の催しを実施し、より多くの市民にイコーラム
について知ってもらう機会とする。
- ②日 時 平成24年8月19日(日)
- ③場 所 希来里ビル6階イコーラム
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績



	内 容	参加者数
1	夏休み子どもサイエンスキャンパス、手作り紙芝居実演、イコーラムカフェ、スタンプラリー	1,012名

(21) 女性に対する暴力をなくす運動のつどい

「私たちにできること～女性たちが笑顔で生きていくために～」

- ①目 的 女性に対する暴力はなぜおきるのか。暴力に直面した時や見聞きしたときはどうすればいいのかを学び、女性への暴力をなくす取り組みについて考える。
- ②日 時 平成24年11月16日(金) 14:00～16:30
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室、ギャラリー他
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：40名、申込者数：30名



	日時	内 容	参加者数
1	11月16日(金) 14:00～16:30	【講演】 「被害者がSOSを出しやすい社会を！：女性に対する暴力」 周藤由美子（ウィメンズカウンセリング京都カウンセラー） 【ミニコンサート】 出演：女性ヴィーカルグループ SANTA☆MARIA	28名
2	10:00～15:00	パープルリボンをつくろう！	
3	10:00～12:00	面接相談	
4	13:00～16:00	法律相談	
5	11月9日(金) ～25日(日)	パネル展示（於：ギャラリー）	

(22) イコーラムフェスタ「集まって つながって 広げよう 笑顔の輪」

- ①目 的 イコーラムの周知をはかるとともに、楽しみながら男女共同参画の実現に向け、その意識を高めてもらう機会とする。
- ②日 程 平成25年2月23日(土)・24日(日)
- ③場 所 イコーラムホール・ギャラリー・研修室他
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	2月23日(土) 12:30～	【オープニングセレモニー】 オープニングコーラス 東大阪市立孔舎衙(くさか)中学校合唱部 【登録団体紹介】 【講演】 人生あきらめたらあかん!～希望を持って生きる～ 市岡裕子(ゴスペルシンガー) ・その他:折り紙教室、墨を使ったワークショップ、リユース玩具の無料頒布、お茶席など	330名
2	2月24日(日) 10:30～	【子ども向けビデオ上映】 「チャーリーとチョコレート工場」(吹替版) 【みんなで歌おう!】 歌体操、歌声喫茶「ほっとすてんしょん」のみなさん ・その他:本の読み聞かせ、皿回し、独奏、伝承遊び、ミニ電車・SL、パソコンの喪儀講座、相談、紙バッグ作り、東北被災者支援のための展示・販売&被災者のお話を聞く会、仕事イキイキ講座修了生によるカフェ	188名
3	2月23日(土) ～3月9日(土)	【ギャラリー展示】 イコーラム登録団体による活動報告展示 【「笑顔」の写真展】 公募した「笑顔」の写真を展示	
			(延)518名

(23) イコーラムフェスタ関連企画 「笑顔」の写真大募集!!

- ①目 的 イコーラムフェスタに来場してもらうきっかけづくりとする。
- ②募集期間 平成24年12月1日(土)～平成25年1月31日(木)
- ③対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ④内容・応募実績 応募点数および展示点数:29点
投票数:170票



	内 容	作品数
1	今年度のイコーラムフェスタのテーマ「集まって つながって 広げよう 笑顔の輪」にちなみ、ご家族・友人・恋人・ご近所の方、サークルの仲間たち・・・等「笑顔」の写真広く募集し、応募作品はすべてフェスタ期間中イコーラムに展示。来場者の投票により「笑顔大賞」1点「笑顔賞」3点を決定する。	応募:29点

(24) 出張講座

- ①目的 学校や地域の団体からの要望、依頼を受け、依頼元に出向いて男女共同参画に関する講座を開催し、地域に根差した啓発を行った。

	日時	出張先とテーマ／講師	参加者数
1	8月29日(水) 13:30～15:00	五条老人センター(市民対象) 「しなやかに生きる～私も大切、他人(ヒト)も大切～」 財団職員 木下みゆき	30名
2	10月11日(木) 9:40～10:25 10:45～11:20	北宮小学校(4年生4クラス) 「いま、どんな気持ち?～絵本を通して～」 イコーラムスタッフ 中臣桂子・山名玲子	128名
3	11月28日(水) 15:00～16:30	東大阪市社会福祉協議会(職員対象) 「ワークライフバランス～仕事と生活の調和～」 イコーラムスタッフ 中臣桂子・山名玲子	24名
4	12月19日(水) 13:30～15:00	五条老人センター(市民対象) 「老後の生き方について」 イコーラムスタッフ 中臣桂子・山名玲子	24名
5	1月25日(金) 13:50～14:35 14:45～15:30	西堤小学校(6年生3クラス) 「男女共生ワークショップ ちがいのちがいがい」 イコーラムスタッフ 中臣桂子・山名玲子	119名
6	1月30日(水) 15:30～17:00	人権教育研究会・教員勉強会 「男女共生の視点を教育にいかす ～ワークで学ぶ子どものエンパワメント～」 イコーラムスタッフ 中臣桂子・山名玲子	16名
7	2月6日(水) 15:30～17:00	枚岡中学校(教員対象) 「生徒たちが自分らしく生きていくために」 イコーラムスタッフ 中臣桂子・山名玲子	42名
8	2月18日(月) 10:10～11:00	東大阪市男女共同参画推進本部 幹事会・実務担当者会議 「男女共同参画社会について考える ～『イコーラムかるた』を活用して～」 財団職員 木下みゆき	40名
9	3月19日(火) 16:00～17:00	東大阪市社会福祉協議会(職員対象) 「ワークライフバランスⅡ～自分の働き方を振り返る～」 イコーラムスタッフ 中臣桂子・山名玲子	23名
			(延) 446名

(25) イコーラムと中保健センターのコラボ企画

「こころのスタイル美人セミナー」

①目的 女性の健康週間（3月1日～8日）にちなみ、中保健センターと男女共同参画センターイコーラムとの協働事業による、女性のからだとこころの健康に関する講座を開催する。

②日時 平成25年3月21日（木）・28日（木）

10:00～11:30

③場所 イコーラム第1・2研修室

④対象 東大阪市民 30代～60代の女性

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：40名、申込者数：45名



		テーマ／講師	参加者数
1	3月21日（木） 10:00～11:30	「こころを軽くする方法」 藤原暁子（有）フェミニストカウンセリング堺カウンセラー）	31名
2	3月28日（木） 10:00～11:30	「リラクゼーション・ボディワーク」 上山幸恵（フェルデンクライスメソッド・プラクティショナー）	26名
			（延）57名

4 情報

【事業概要】

- (1) 目的 男女共同参画関連の資料をそろえ、提供する。
 (2) 日時 平成24年4月1日～平成25年3月31日

【事業内容・実績】

(1) 情報資料室の運営

- ①貸出時間 平日・土曜日 9:00～21:00
 日曜日 9:00～17:00
- ②利用方法 利用者カードを発行し、1人につき図書・AV資料あわせて3点を上限として2週間貸し出しを行う。また、ドーンセンター情報ライブラリーの資料も、1人につき図書・雑誌・行政資料は15冊（3週間）、AV資料は3点（2週間）の貸し出しを行う。
- ③収集資料 蔵書数 2,987 点、AV資料数 238 点 総数 3,225 点
- ④利用件数 (冊)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24年度	89	80	74	60	55	57	45	60	56	46	34	60	716
H23年度	71	60	65	123	69	102	70	70	44	53	73	94	894

(2) 情報紙「東大阪市立男女共同参画センターだより イコーラム」発行

- ①発行回数 年3回
 ②発行部数 各2,500部
 ③内容等

No.	発行	内容
No. 27	平成24年 8月	男女共同参画週間 記念のつどい、ひとことメッセージ入選作品、入選者インタビュー、新規登録団体の紹介・登録団体イベント・講座のお知らせ、イコーラムこれからの予定
No. 28	平成24年 11月	日本女性会議2012仙台、希来里ファミリーまつり、イコーラム利用者の声、登録団体のイベント・講座のお知らせ、イコーラムこれからの予定
No. 29	平成25年 3月	イコーラムフェスタ2013、「笑顔」写真入賞作品、登録団体のイベント・講座のお知らせ、イコーラムのこれからの予定

- ④取材・編集・協力 男女共同参画センター事業推進委員会

(3) 情報紙「イコーラム情報資料室 図書つうしん」発行

- ①発行回数 年3回
 ②発行部数 200部
 ③内容等

No.	発行月	内容
NO. 06	平成24年8月	広い世界に目をむけてみよう！
NO. 07	平成25年1月	仕事・家事。育児、毎日を頑張る女性へ
NO. 08	平成25年3月	新着資料のご紹介

5 登録団体支援

東大阪市内で活動する団体で、男女共同参画社会の形成の促進を図ることを目的の一つとして掲げている団体に対し、その活動の推進を図るための支援を行う。

(1) 支援の内容

ホール・ギャラリーは使用日の7ヶ月前の属する月の1日から、研修室・学習室は使用日の4ヶ月前の属する月の1日から申込みを受付けた。

(2) 登録団体の名称及び活動内容

	登 録 名	活 動 内 容
1	特定非営利活動法人 東大阪日本語教室	男女共同参画の視点を持ちながら、東大阪市周辺に住んでいる外国人と市民が日本語学習の場を通じて支援を行い、また交流を深めている。
2	佐藤一正絵画教室	男女を問わず絵画を学ぶことで、自己表現の楽しさを見出すと共に技量・表現のスキルアップをめざしている。また、絵画を通して、自由な発想を得、自己啓発、社会参加の機会を持つ等、男女共同参画社会について考えるきっかけづくりをしている。
3	ココロほぐしの種まきサークル	墨遊びや筆遊びを通じ自分を見つめるなど、女性がエンパワーするための生涯学習を行い、男女共同参画社会の推進をめざしている。
4	NPO 法人 シスターフッド 大阪	DVなど暴力被害女性の支援活動を中心に男女平等、女性の自立など幅広い活動を行っている。
5	東大阪地区更生保護女性会	犯罪や非行のない明るい社会をめざし、立ち直り支援等の活動、また、子育て支援にかかわる地域活動を行い、次世代の健全育成に努め、男女共同参画社会の推進をめざしている。
6	希来里PCクラブ	パソコンの技術習得を図る活動を通して得た情報や人とのつながりをよりよい男女共同参画社会の推進に向けて活かしている。
7	社会資源開発研究会	高齢者・障がい者(児)への自立支援と介護の社会的支援に関わることで介護の社会化の促進と家庭・地域における男女共同参画の促進の実現を基本に活動している。
8	手話教室 おててくらぶ	聴覚障害者とのコミュニケーションや会話ができるように、テキストを中心に日常会話などの手話の勉強をし、習得した手話を用いて男女共同参画社会の実現に向けた地域社会での社会貢献をめざしている。
9	《 I 愛 YOU 》 (アイ アイ ユー)	My新聞づくりを通して、生き生きとした男女共同参画社会をつくるための活動を行っている。
10	E I C (イーアイシー)	パソコンの技術習得と講師としての資質を高めるよう研鑽し、男女共同参画社会の推進に向けて活かしていく。
11	大阪コリアン音楽交流会	音楽を通じ男女共に活動することで、地域の文化交流の活動を行い、人権の尊重を学ぶネットワークづくりを推進している。

12	特定非営利活動法人 東大阪エイフボランティアネットワーク	健康で明るく住みよい地域社会の実現をめざして、女性の組織力を結集して地域の連帯を高めると共に、種々の広報活動、講演会を行い、女性の人権に対する理解を深め、地域社会の福祉の増進を図るなど広く公益に貢献している。
13	W i t h (ウィズ)	全ての人々がいきいきと生きる町づくり、人づくりに貢献できるような男女共同参画社会を推進する活動を通し、多くの女性たちと学びあい、共にエンパワーしていくことをめざしている。
14	チャイルドラインひがしおおさか	「チャイルドライン」等の活動を通して、「子どもの権利」擁護活動と啓発活動を行うことにより、男女共同参画社会を推進している。
15	くれよん	未就学児の子ども、親子を対象に子育て支援活動を行い、男女共同参画社会の実現をめざしている。
16	共生社会 プロジェクトWe (ウィ)	ジェンダーに敏感な視点で社会を見つめ直し、男女共同参画社会を推進するための調査、研究等の活動を行っている。
17	翔クラブ	男女共同参画社会に向け、肩書、立場にとらわれず、男女が共に地域で自由にコミュニケーションを図りながら、様々な生き方、考え方を学んでいる。
18	H o b b y R o o m 縁 (ホビールーム エニシ)	絵画などを学びながら、男女共同参画社会への関心を深め、多様な生き方の気づきを得ることをめざしている。
19	マカロン	男女共同参画の視点に立って、ジェンダーにとらわれない子育てをテーマに、子育てを通じて自身のジェンダー意識を問い直す活動を行っている。
20	ふれあいおもちゃリサイクルの会	おもちゃの再利用や無料修理などを通じて、物を大切にする心を育み地域における子育て支援を行うことにより、男女共同参画社会の実現をめざしている。
21	ボランティアサークル老東部フレンド	高齢者のための福祉を目的とした活動を中心に、男女共同参画推進のため男性の意識改革を中心に進めている。
22	親子のホッとスペース ひまわり	男女共同参画社会を実現するため、子どもも親もありのままの自分を受け入れ、自己成長できる社会の実現をめざし、活動を行っている。
23	カラフル	男女共同参画社会をめざし、子育てや家族のことなど、女性ならではの悩みや日々感じることを分かち合い、エンパワメントする場として、活動を行っている。

※ 申請登録順

6 イコーラム相談事業

【事業概要】

(1) 目的 イコーラムでは男女共同参画社会をめざして、ドメスティック・バイオレンス（夫・恋人からの暴力）をはじめ女性が抱えるさまざまな問題について女性による女性のための相談窓口を設置。

また、男性が抱えるさまざまな悩みについて男性が応じる男性のための相談窓口も設置。

(2) 相談窓口（相談はすべて無料、秘密厳守）

<女性のための相談>

①電話相談 匿名で相談ができる。女性相談員と一緒に考えサポートする。

火曜日～日曜日 10:00～17:00

TEL 072-960-9206

②面接相談 要予約 火曜日～日曜日 10:00～17:00

TEL 072-960-9205

心理面接相談 専門の女性相談員が自立へのサポートを行う。

火・木・土曜日 10:00～12:00 13:00～16:00

第4火曜日 10:00～12:00 13:00～16:00

18:00～20:00（第5週の相談はない）

1人1回 50分

法律相談 法律上の問題に関して女性弁護士が相談を受ける。

毎月 原則第1水曜日 13:00～16:00

1人1回 30分（予約は相談日の2週間前から受付）

労働相談 労働の問題に関して女性の社会保険労務士が相談を受ける。

毎月 原則第2土曜日 13:30～16:20 英語

1人1回 50分

多言語相談 日常生活の慣習、労働、人間関係などについて女性相談員が外国語（／中国語／韓国語・朝鮮語）の女性通訳をつけて相談に応じる。

（※日本語が話せない方の予約受付は

火曜日～金曜日 10:00～17:00

TEL 06-4309-3311 国際情報プラザ(市役所内)

火曜日～日曜日 10:00～17:00

1日1人 最長3時間まで

※面接相談については一時保育（1歳6ヶ月～就学前幼児）が利用できる（有料）。

<男性のための相談>

①電話相談 匿名で相談ができる。男性相談員と一緒に考えサポートする。

毎月第一土曜日 13:00～17:00

第三水曜日 19:00～21:00

TEL 072-966-5002

【事業内容・実績】

＜女性のための相談＞

（１）相談業務の実績

平成24年度（4月～翌3月）の相談総件数は2,094件（電話相談1,439件、面接相談655件）

＜月別電話相談件数＞

（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24年度	106	95	120	111	144	141	106	111	145	124	92	144	1,439
H23年度	74	85	75	71	91	105	59	116	66	68	76	74	957

＜月別面接相談件数＞（面接相談：心理面接相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）

（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24年度	56	56	56	57	59	56	52	54	50	44	52	53	655
H23年度	56	63	60	58	60	49	54	64	57	42	57	58	678

①相談窓口別集計

相談窓口別	H24年度(件)	%
電話相談	1,439	68.7
心理面接相談	594	28.4
法律相談	54	2.6
労働相談	7	0.3
多言語相談	0	0.0
計	2,094	100

②主訴別集計（面接相談：心理相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）

	H24年度					
	電話相談		面接相談		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%
生き方	77	5.4	49	7.5	126	6.0
こころ	570	39.6	43	6.6	613	29.3
からだ	25	1.7	16	2.4	41	2.0
仕事上の問題	23	1.6	32	4.9	55	2.6
夫婦関係	216	15.0	204	31.1	420	20.1
親子関係	199	13.8	153	23.4	352	16.8
人間関係	165	11.5	84	12.8	249	11.9
性・性的被害	10	0.7	9	1.4	19	0.9
暮らし	60	4.2	8	1.2	68	3.2
法律	14	1.0	57	8.7	71	3.4
その他	80	5.6	0	0.0	80	3.8
計	1,439	100.0	655	100.0	2,094	100.0

③主訴別のうち「夫婦関係」内訳集計 （面接相談：心理相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）

	H24 年度					
	電話相談		面接相談		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%
性格、生活上の不和・不満	15	6.9	59	28.9	74	17.6
別居、離婚	80	37.0	31	15.2	111	26.5
性的問題	0	0.0	1	0.5	1	0.2
暴力	96	44.5	88	43.2	184	43.8
家出、蒸発	1	0.5	0	0.0	1	0.2
婚外関係	5	2.3	10	4.9	15	3.6
経済的不安、金銭問題	13	6.0	6	2.9	19	4.5
その他	6	2.8	9	4.4	15	3.6
計	216	100.0	204	100.0	420	100.0

④相談者年代別集計 （面接相談：心理相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）

	H24 年度			
	電話相談		面接相談	
	件数	%	件数	%
10 代以下	1	0.1	0	0.0
20 代	26	1.8	38	5.8
30 代	198	13.8	197	30.1
40 代	478	33.2	200	30.5
50 代	92	6.4	120	18.3
60 代	96	6.7	77	11.8
70 代以上	103	7.2	23	3.5
不明	445	30.9	0	0.0
計	1,439	100.0	678	100.0

⑤相談における対応別集計 （面接相談：心理相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）

	H24 年度			
	電話相談		面接相談	
	件数	%	件数	%
継続	0	0.0	528	80.6
傾聴	1,100	76.2	17	2.6
助言	162	11.3	65	9.9
機関紹介	177	12.3	45	6.9
計	1,439	100.0	655	100.0

(2) DV相談の実績

<年間相談件数>

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
総相談件数	1,439	594	54	7	0	2,094
うちDV相談（件）	197	179	25	0	0	401
DVの占める割合（%）	13.7	30.1	46.3	0.0	0.0	19.1

<月別相談件数>

（単位：件）

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
4月	14	17	2	0	0	33
5月	23	15	4	0	0	42
6月	21	14	2	0	0	37
7月	15	17	4	0	0	36
8月	30	16	3	0	0	49
9月	15	18	0	0	0	33
10月	22	12	3	0	0	37
11月	10	11	1	0	0	22
12月	12	14	1	0	0	27
1月	11	11	1	0	0	23
2月	12	16	1	0	0	29
3月	12	18	3	0	0	33
計	197	179	25	0	0	401

①DV加害者の内訳

（単位：件）

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
夫	173	149	21	0	0	343
内夫	12	2	1	0	0	15
元夫	12	28	3	0	0	43
恋人	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
計	197	179	25	0	0	401

②DV被害者の年齢

（単位：件）

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
10代以下	7	0	0	0	0	7
20代	9	13	0	0	0	22
30代	39	80	7	0	0	126
40代	73	43	10	0	0	126
50代	19	29	4	0	0	52
60代	23	5	4	0	0	32
70代以上	8	9	0	0	0	17
不明	19	0	0	0	0	19
計	197	179	25	0	0	401

③DVの種類

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
身体的	37	17	9	0	0	63
精神的	139	147	12	0	0	298
性的	1	5	0	0	0	6
経済的	20	10	4	0	0	34
社会的	0	0	0	0	0	0
計	197	179	25	0	0	401

④DV相談経路

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
センター広報	20	1	2	0	0	23
市政だより	45	6	12	0	0	63
福祉事務所	3	3	0	0	0	6
保健センター	1	2	0	0	0	3
知人友人	4	4	1	0	0	9
電話相談	0	6	1	0	0	7
大阪府女性相談センター	0	1	0	0	0	1
警察	2	1	1	0	0	4
他機関	10	3	5	0	0	18
その他	6	3	1	0	0	10
不明	21	9	2	0	0	32
再相談	85	140	0	0	0	225
計	197	179	25	0	0	401

⑤DV相談対応状況

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
相談継続	0	142	0	0	0	142
傾聴・助言	135	13	23	0	0	171
機関紹介	62	24	2	0	0	88
法律	4	3	0	0	0	7
福祉事務所	9	3	0	0	0	12
保健センター	1	0	0	0	0	1
家庭裁判所	2	4	1	0	0	7
警察	2	0	0	0	0	2
大阪府女性相談センター	3	0	0	0	0	3
東大阪子ども家庭センター	12	0	1	0	0	3
イコーラム心理面接	21	0	0	0	0	21
イコーラム法律	10	12	0	0	0	22
イコーラム労働	0	0	0	0	0	0
イコーラム多言語	0	0	0	0	0	0
その他	8	2	0	0	0	10
計	197	179	25	0	0	401

(3) 暴力相談の実績

<年間相談件数>

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
総相談件数	1,439	594	54	7	0	2,094
うち暴力相談（件）	101	52	1	0	0	154
暴力の占める割合（%）	7.0	8.8	1.9	0.0	0.0	7.4

<月別相談件数>

（単位：件）

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
4月	6	6	1	0	0	13
5月	8	2	0	0	0	10
6月	19	6	0	0	0	25
7月	5	6	0	0	0	11
8月	7	4	0	0	0	11
9月	4	5	0	0	0	9
10月	8	6	0	0	0	14
11月	4	3	0	0	0	7
12月	9	2	0	0	0	11
1月	8	3	0	0	0	11
2月	8	4	0	0	0	12
3月	15	5	0	0	0	20
計	101	52	1	0	0	154

①暴力加害者の内訳

（単位：件）

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
夫	0	0	0	0	0	0
内夫	0	0	0	0	0	0
元夫	0	0	0	0	0	0
恋人	20	5	0	0	0	25
その他	81	47	1	0	0	129
計	101	52	1	0	0	154

②暴力被害者の年齢

（単位：件）

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
10代以下	7	10	0	0	0	17
20代	8	1	0	0	0	9
30代	26	14	0	0	0	40
40代	28	17	0	0	0	45
50代	16	2	0	0	0	18
60代	2	6	1	0	0	9
70代以上	5	2	0	0	0	7
不明	9	0	0	0	0	9
計	101	52	1	0	0	154

③暴力の種類

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
身体的	13	7	1	0	0	21
精神的	75	35	0	0	0	110
性的	10	9	0	0	0	19
経済的	2	1	0	0	0	3
社会的	1	0	0	0	0	1
計	101	52	1	0	0	154

④暴力相談経路

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
センター広報	9	1	0	0	0	10
市政だより	17	0	0	0	0	17
福祉事務所	0	0	0	0	0	0
保健センター	0	0	0	0	0	0
知人友人	3	2	0	0	0	5
電話相談	0	2	0	0	0	2
大阪府女性相談センター	1	0	0	0	0	1
警察	0	0	0	0	0	0
他機関	7	0	0	0	0	7
その他	2	0	1	0	0	3
不明	10	3	0	0	0	13
再相談	52	44	0	0	0	96
計	101	52	1	0	0	154

⑤暴力相談対応状況

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
相談継続	0	44	0	0	0	44
傾聴・助言	73	4	1	0	0	78
機関紹介	28	4	0	0	0	32
法律	3	1	0	0	0	4
福祉事務所	1	1	0	0	0	2
保健センター	0	0	0	0	0	0
家庭裁判所	0	0	0	0	0	0
警察	1	2	0	0	0	3
大阪府女性相談センター	3	0	0	0	0	3
東大阪子ども家庭センター	1	0	0	0	0	1
イコーラム心理面接	5	0	0	0	0	5
イコーラム法律	1	0	0	0	0	1
イコーラム労働	3	0	0	0	0	3
イコーラム多言語	0	0	0	0	0	0
その他	10	0	0	0	0	10
計	101	52	25	0	0	154

<男性のための相談>

(1) 相談業務の実績

平成24年度(4月～翌3月)の相談総件数は27件(電話相談)

<月別相談件数>

(単位:件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24年度	4	2	1	3	0	5	4	3	3	1	0	1	27

①相談窓口別集計

相談窓口別	H24年度(件)
男性電話相談	27

②主訴別集計

	H24年度	
	電話相談	
	件数	%
生き方	1	3.7
こころ	1	3.7
からだ	0	0.0
仕事上の問題	2	7.4
夫婦関係	10	37.0
親子関係	2	7.4
人間関係	1	3.7
性・性的被害	5	18.6
暮らし	4	14.8
法律	0	0.0
その他	1	3.7
計	27	100.0

③主訴別のうち「夫婦関係」内訳集計

	H24年度	
	電話相談	
	件数	%
性格、生活上の不和・不満	0	0.0
別居、離婚	6	60.0
性的問題	1	10.0
暴力	0	0.0
家出、蒸発	2	20.0
婚外関係	0	0.0
経済的不安、金銭問題	1	10.0
その他	0	0.0
計	10	100.0

④相談者年代別集計

	H24年度	
	電話相談	
	件数	%
10代以下	0	0.0
20代	2	7.4
30代	10	37.0
40代	5	18.6
50代	2	7.4
60代	3	11.1
70代以上	3	11.1
不明	2	7.4
計	27	100.0

④相談における対応別集計

	H24年度	
	電話相談	
	件数	%
傾聴	4	14.8
助言	19	70.4
機関紹介	4	14.8
計	27	100.0

(2) DV相談の実績

<年間相談件数>

	電話
総相談件数	27
うちDV相談(件)	2
DVの占める割合(%)	7.40

<月別相談件数> (単位: 件)

	電話
4月	0
5月	0
6月	1
7月	0
8月	0
9月	0
10月	1
11月	0
12月	0
1月	0
2月	0
3月	0
計	2

①DV被害者の内訳 (単位: 件)

	電話
妻	0
内妻	0
元妻	0
恋人	0
その他(本人)	2
計	2

②DV被害者の年齢 (単位: 件)

	電話
10代以下	0
20代	0
30代	1
40代	1
50代	0
60代	0
70代以上	0
不明	0
計	2

③DVの種類 (単位: 件)

	電話
身体的	0
精神的	2
性的	0
経済的	0
社会的	0
計	2

④DV相談経路 (単位: 件)

	電話
センター広報	0
市政だより	1
福祉事務所	0
保健センター	0
知人友人	0
電話相談	0
大阪府女性相談センター	0
警察	0
他機関	0
その他	1
不明	0
再相談	0
計	2

⑤DV相談対応状況 (単位: 件)

	電話
傾聴	0
助言	2
機関紹介	0
法律	0
福祉事務所	0
保健センター	0
家庭裁判所	0
警察	0
大阪府女性相談センター	0
東大阪子ども家庭センター	0
その他	0
計	2

(3) 暴力相談の実績

＜年間相談件数＞

	電話
総相談件数	27
うち暴力相談（件）	1
暴力の占める割合（％）	3.7

＜月別相談件数＞（単位：件）

	電話
4月	0
5月	0
6月	0
7月	0
8月	0
9月	1
10月	0
11月	0
12月	0
1月	0
2月	0
3月	0
計	1

①暴力加害者の内訳（単位：件）

	電話
妻	0
内妻	0
元妻	0
恋人	0
その他（本人）	1
計	1

②暴力被害者の年齢（単位：件）

	電話
10代以下	0
20代	0
30代	0
40代	1
50代	0
60代	0
70代以上	0
不明	0
計	1

③暴力の種類（単位：件）

	電話
身体的	0
精神的	1
性的	0
経済的	0
社会的	0
計	1

④暴力相談経路（単位：件）

	電話
センター広報	0
市政だより	0
福祉事務所	0
保健センター	0
知人友人	0
電話相談	0
大阪府女性相談センター	0
警察	0
他機関	0
その他	0
不明	0
再相談	1
計	1

⑤暴力相談対応状況（単位：件）

	電話
傾聴	0
助言	1
機関紹介	0
法律	0
福祉事務所	0
保健センター	0
家庭裁判所	0
警察	0
大阪府女性相談センター	0
東大阪子ども家庭センター	0
その他	0
計	1

§ 6 平成24年度 事業実施一覧

公益目的事業

	事業区分	連携・協働相手	事業名称		規模等	実施場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	男女共同参画啓発事業		1	事例で学ぶ『DV』被害者支援	1回	ドーンセンター											2	
2	相談員育成事業		1	スーパービジョン講座	1回×3コマ	ドーンセンター		29	12,19									
			2	2012フェミニストカウンセリング専門講座	理論:8コマ 研究:2コース	ドーンセンター							27	3,24,25	15	12	16	

一般事業

	事業区分	連携・協働相手	事業名称	規模等	実施場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	大阪府男女共同参画推進事業	大阪府(府民文化部)受託事業	1 女性に関する情報の収集及び提供に関する事業 (ドーンセンター情報ライブラリーの運営)	火～土	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			2 女性の抱える問題に関する相談事業 (ドーンセンターサポート・カウンセリングルームの運営/カウンセラー派遣)	火～日	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			3 男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業 (市町村行政職員等研修/学校関係者研修/企業研修 他)	9講座	ドーンセンター		24	1,7,14,2 1,28	5	24		2	16,28			14,16		
2	女性のキャリア形成支援事業 (女性の能力開発・ネットワーク事業)	在日米国商工会議所(ACCJ)関西支部助成 事業	1 はなみずき塾	6回	ドーンセンター							27	24	22	26	23	23	
		はなみずき基金事業	2 はなみずきキャリア塾:メンタルヘルス編Ⅱ	10コマ	ドーンセンター		12	9	14		8	13	10	8	12	9	9	
		はなみずき基金事業	3 はなみずきキャリア塾:メンター編	3コース×3コマ	ドーンセンター				28	11	1,11,19, 26	13	17	8				
		はなみずき基金事業	4 はなみずきキャリア塾:ポッドキャストプロジェクト	第21～30回分 配信	財団HP			26	24	28	26	23	27	25	22	26	26	
		はなみずき基金事業	5 はなみずきツアー	1回	外部								5					
		自主事業	6 ワーク・ライフ・バランス応援講座	1回	イコラム											17		
3	経済的に困難な女性のための 就労支援事業 (女性の能力開発・ネットワーク事業)	大阪府(商工労働部)受託事業	1 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練	2ヶ月×4コース	ドーンセンター		5/2～7/3、7/4～9/4、9/4～11/7、10/26～12/28											
4	文化表現事業	はなみずき基金事業	1 ドーン・シネマクラブ	第46回	ドーンセンター						16							
		自主事業	2 表現ワークショップ	2コマ	イコラム						23	21						
5	国際協力事業	ヒューライツ大阪共催事業	1 海外スタディツアー	5日間	外部					8/29～9/2								
		自主事業	2 世界の女性が語るシリーズ	1コマ	ドーンセンター									15				
6	女性の健康支援事業	大阪府(健康医療部)受託事業	1 大阪府不妊専門相談センター事業 (電話相談/サポート・グループ/HP運営 他)	電話週1回 4グループ 他	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	次世代育成事業	自主事業	1 夏期インターンシップ・プログラム	2週間程度	ドーンセンター イコラム					8/17～9/19								
		自主事業	2 研修・実習・職場体験等の受入れ	随時	ドーンセンター					9,10	2	11/27～12/14						
8	販売事業	自主事業	1 「ウィメン・パイオニアズ」DVD&ブックレット販売	随時	オンラインショップ 他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		自主事業	2 海外女性監督ドキュメンタリー作品等の収集・加工・販売	随時	オンラインショップ 他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		自主事業	2 オリジナルビデオ&DVD、ハンドブック等の販売	随時	オンラインショップ 他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	講師派遣・アウトリーチ	自主事業	1 講師派遣・委員等応嘱・大学の講義受託	随時	外部		30	6,16,26, 28	29	6,19	8	25,26,29	19	16		5,7,26	7,14	
		三重県伊賀市受託事業	2 三重県伊賀市クローバーカレッジⅡ	8コマ	外部					3	7	5	2,30	14	11	8		

一般事業

	事業区分	連携・協働相手	事業名称		規模等	実施場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
10	NPO・市民活動支援事業 (共催事業)	「わたしの政経塾」企画委員会	1	「わたしの政経塾Ⅲ」	12回	ドーンセンター	21	19	16	21	18	15	20	10	15	19	16	16
		特定非営利活動法人心のサポート・ステーション	2	発達障害ってなあに？:アスペルガー症候群の娘から学んだこと	1回	ドーンセンター	22											
		一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター、大阪府立大学女性学研究センター	3	ジェンダー平等をどう伝えるか:日韓の教育・啓発の実践と課題	1回	ドーンセンター			2									
		森のイスキア・大阪の集い実行委員会	4	いのち・いのりをつなぎたい:食との出会い・人との出会い	1回	ドーンセンター						29						
		NPOスタッフのためのワークライフバランス研究会	5	休みのとれるNPOの働き方 ワークライフバランスを考える	1回	ドーンセンター								17				
		フォーラム 労働・社会政策・ジェンダー／竹中恵美子著作集刊行委員会	6	竹中恵美子著作集完成記念シンポジウム 竹中理論の意義をつなぐ	1回	ドーンセンター											2	
		東日本大震災女性支援ネットワーク	7	ジェンダーの視点で考える防災と減災	1回	ドーンセンター												5
		NPO法人【仕事と子育て】カウンセリングセンター	8	【仕事と子育て】両立応援セミナー&カウンセリング	1回	ドーンセンター												16
		～つながりを紡ぐ～ イスキア もりのこばこ	9	母子避難されている方のお話を聴き一緒に考えましょう	1回	ドーンセンター												24
	NPO・市民活動支援事業 (後援事業)	高齢社会をよくする女性の会・大阪	1	介護保険ホットライン2012・関西	3日間	ドーンセンター			21～23									
	NPO・市民活動支援事業	自主事業	1	ポスタープリントサービス	4月	ドーンセンター	○											
11	女性に対する暴力対策事業	岸和田市受託事業	1	岸和田市DV予防啓発事業	出前講座10回他	外部					8/31～9/26							
		内閣府受託事業	2	配偶者からの暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ	6地域	外部												
		内閣府受託事業	3	男女共同参画センター等における性犯罪被害者支援体制整備促進事業	2地域	外部												
12	東日本大震災被災者支援事業	内閣府受託事業	1	東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業	2ヶ月	東北3県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		自主事業	2	東北女性の手仕事物産展 第1回	2日間	ドーンセンター						15,16						
		自主事業	3	被災地から関西に避難されてきた女性のためのサポート・グループ	12回	ドーンセンター	7	12	2	7	4	1	13	10	1	12	2	2
13	ドーンセンター指定管理事業	大阪府(府民文化部)受託事業	1	指定管理事業	通年	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		自主事業	2	一時保育事業	木曜・午前	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	東大阪市立男女共同参画センター指定管理事業	東大阪市受託事業	1	施設管理業務	通年	イコラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		東大阪市受託事業	2	東大阪市主催事業 (各種講座／イコラームフェスタ／出張講座／情報／相談事業他)	通年	イコラーム外部	22	12,19	16,22,23 ,28	1,5,8,12, 15,22	4,5,11,1 9,25,26,	1,8	2,11,13, 20,2728	4,11,16, 18,25,28	8,9,15,1 6,19	19,25,26 ,30	6,18,23, 24,26	3,19,21, 28

法人運営

	事業区分	連携・協働相手	事業名称		規模等	実施場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	財団の運営		1	理事会	第1～5回	ドーンセンター		29			21	28					13	13
			2	評議員会	第1～3回	ドーンセンター			15			19						27
			3	プロジェクト2012	随時	ドーンセンター他		○	○			○		○	○			○
			4	職員研修の実施	3日間	ドーンセンター他										16,17,18		
2	広報・PR		1	ホームページの運営 (財団ブログ／SNS「Twitter」含む)	通年	財団HP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			2	ニュースレターの発行	年3回	ドーンセンター	1				1					1		
			3	賛助会・サポーター制度運営	通年	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			4	視察の受入れ	随時	ドーンセンター							16		2,14			

§ 7 メディア掲載

1 新聞掲載

下記の事業に関する記事が掲載された。

(1) 東北女性の手仕事物産展

	月日	媒体	見出し
1	2012 年 9 月 8 日	産経新聞朝刊	因果はめぐる、“どーん”と元気を
	2012 年 9 月 12 日	読売新聞朝刊	被災女性の手作り品いかが
	2012 年 9 月 12 日	毎日新聞朝刊	買い物で元気づけて 被災女性らが手作物産展
	2012 年 9 月 12 日	朝日新聞朝刊	買って使って被災地応援 手仕事物産展 15・16 日大阪
	2012 年 9 月 26 日	毎日新聞朝刊	白井前尼崎市町の A Y A Y A 日記 27 心のこもる絵で減災の知識 震災風呂敷「結」

(2) 被災地から関西に避難されてきた女性のためのサポート・グループ

	月日	媒体	見出し
1	2012 年 10 月 17 日	朝日新聞朝刊	避難ママ つながり 支え合う 放射能・二重生活…つらさ共有 大阪で交流会

(3) 災害とジェンダーに関わる人材育成講座 ジェンダーの視点で考える防災と減災

	月日	媒体	見出し
1	2013 年 3 月 5 日	毎日新聞朝刊	白井前尼崎市町の A Y A Y A 日記 37 ジェンダーの視点で考える防災と減災 社会全体の安全・安心に
2	2013 年 3 月 23 日	神戸新聞	防災計画に女性の視点を 多様なニーズに配慮して 大阪で人材養成講座 東日本大震災などの事例を検証

§ 8 平成24年度 決算

貸借対照表

会計区分 全体

平成25年03月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	508,020		
普通預金	3,407,763		
郵便振替	299,019		
未収金	51,359,762		
前払金	845,560		
立替金	12,556,869		
定期預金	30,000,000		
流動資産合計	98,976,993		
2. 固定資産			
(1)基本財産	100,000,000		
(2)特定資産	7,910,257		
(3)その他の固定資産	2,224,845		
固定資産合計	110,135,102		
資産合計	209,112,095		
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	19,062,916		
前受金	938,000		
預り金	3,707,330		
リース債務	1,271,340		
流動負債合計	24,979,586		
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,115,250		
リース債務	953,505		
固定負債合計	3,068,755		
負債合計	28,048,341		
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	100,000,000		
府補助金	100,000,000		
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)		
2. 一般正味財産	81,063,754		
(うち特定資産への充当額)	(7,910,257)		
正味財産合計	181,063,754		
負債及び正味財産合計	209,112,095		

平成24年度より一般財団へ移行したため、及び会計基準の変更のため前年度との対比はありません。

正味財産増減計算書

会計区分 全体 事業区分 全体

平成24年04月01日 から 平成25年03月31日 まで (単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	706,818		
基本財産運用益	706,818		
受取会費	643,000		
受取会費	643,000		
事業収益	7,957,927		
事業収益	7,957,927		
受託金収益	178,944,703		
受託金収益	178,944,703		
受取助成金	600,000		
受取助成金	600,000		
負担金収益	27,600,000		
負担金収益	27,600,000		
受取寄附金	5,030,131		
受取寄付金	5,030,131		
雑収益	489,304		
雑収益	403,158		
受取利息	86,146		
受取分配金	974,738		
受取分配金	974,738		
経常収益計	222,946,621		
(2) 経常費用			
事業費	190,858,114		
給料	57,236,870		
職員手当	18,000,677		
福利厚生費	12,885,130		
賃金	18,616,071		
報償費	6,091,202		
旅費	3,486,745		
通信運搬費	3,034,698		
消耗什器備品費	1,480,124		
消耗品費	9,462,623		
修繕費	763,560		
光熱水料費	4,689,093		
使用料・賃借料	8,434,763		
交際費	69,970		
保険料	486,308		
委託料	45,867,030		
支払負担金・補助金	124,800		
広告宣伝費	120,750		
租税公課	7,700		

正味財産増減計算書

会計区分 全体 事業区分 全体

平成24年04月01日 から 平成25年03月31日 まで (単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費	23,059,370		
役員報酬	4,107,150		
給料	2,697,025		
職員手当	848,199		
福利厚生費	607,153		
賃金	548,720		
退職給付費用	2,115,250		
報償費	132,285		
旅費	559,230		
通信運搬費	694,374		
減価償却費	1,271,340		
消耗品費	1,680,602		
使用料・賃借料	476,065		
委託料	546,457		
支払負担金・補助金	100,100		
租税公課	6,213,350		
雑費	462,070		
経常費用計	213,917,484		
当期経常増減額	9,029,137		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0		
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	0		
税引前当期一般正味財産増減額	9,029,137		
法人税、住民税及び事業税	795,854		
当期一般正味財産増減額	8,233,283		
一般正味財産期首残高	72,830,471		
一般正味財産期末残高	81,063,754		
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	100,000,000		
指定正味財産期末残高	100,000,000		
III 正味財産期末残高	181,063,754		

平成24年度より一般財団へ移行したため、及び会計基準の変更のため前年度との対比はありません。

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

① 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券については、移動平均法による原価法を採用している。

② 固定資産の減価償却について

リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存期間を零とする定額法によっている。

③ 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき、当期において発生していると認められる額を計上している。

④ 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	99,945,000	100,000,000	99,945,000	100,000,000
定期預金	55,000	0	55,000	0
小計	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	0	2,115,250	0	2,115,250
施設運営積立預金	2,474,347	0	0	2,474,347
はなみずき基金預金	3,320,000	5,000,660	5,000,000	3,320,660
小計	5,794,347	7,115,910	5,000,000	7,910,257
合計	105,794,347	107,115,910	105,000,000	107,910,257

基本財産及び特定資産の財源等の内訳

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
有価証券	100,000,000	100,000,000	0	0
定期預金	0	0	0	0
小計	100,000,000	100,000,000	0	0
特定資産				
施設運営積立預金	2,474,347	0	2,474,347	0
はなみずき基金預金	3,320,660	0	3,320,660	0
退職給付引当資産	2,115,250	0	0	2,115,250
小計	7,910,257	0	5,795,007	2,115,250
合計	107,910,257	100,000,000	5,795,007	2,115,250

担保に供している資産

4 該当なし

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高

5 固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	6,356,700	4,131,855	2,224,845
合 計	6,356,700	4,131,855	2,224,845

- 6 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末 残高
未収金	51,359,762	0	51,359,762
合 計	51,359,762	0	51,359,762

- 7 保証債務等の偶発債務
該当なし

- 8 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
利付国債	100,000,000	102,530,000	2,530,000
合 計	100,000,000	102,530,000	2,530,000

- 9 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
事業助成金	在日米国商工会議所	0	600,000	600,000	0	一般正味財産
合 計		0	600,000	600,000	0	

- 10 指定正味財産から一般正味財産への振替え額の内訳
該当なし

- 11 関連当事者との取引の内容
該当なし

- 12 リース取引関係
所有権移転外ファイナンス・リース取引
リース資産の内容
ネットワークシステム一式

- 13 退職給付関係
① 採用している退職給付制度の概要
退職一時金制度を設けている。
② 退職給付債務

(単位:円)

退職給付債務	2,115,250
退職給付引当金	2,115,250

- ③ 退職給付費用に関する事項

(単位:円)

勤務費用	2,115,250
退職給付費用	2,115,250

- ④ 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項
規程に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

附属明細書

1. 基本財産および特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	有価証券	9,945,000	100,000,000	99,945,000	10,000,000
	定期預金	55,000		55,000	0
	基本財産計	10,000,000	100,000,000	100,000,000	10,000,000
特定資産	退職給付引当資産	0	2,115,250	0	2,115,250
	施設運営積立預金	2,474,347	0	0	2,474,347
	はなみずき基金預金	3,320,000	5,000,660	5,000,000	3,320,660
	特定資産計	5,794,347	7,115,910	5,000,000	7,910,257

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	0	2,115,250	0	0	2,115,250

収支計算書

会計区分 全体

事業区分 全体

平成24年04月01日 から 平成25年03月31日 まで (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
1 基本財産運用収入				
基本財産運用収入	1,250,000	706,818	543,182	
2 会費収入				
会費収入	800,000	643,000	157,000	
3 事業収入				
事業収入	12,636,000	7,957,927	4,678,073	
4 受託金収入				
受託金収入	177,317,000	178,944,703	△1,627,703	
5 助成金収入				
助成金収入	700,000	600,000	100,000	
6 負担金収入				
負担金収入	27,750,000	27,600,000	150,000	
7 寄附金収入				
寄付金収入	5,000,000	5,030,131	△30,131	
8 雑収入				
雑収入	310,000	403,158	△93,158	
受取利息	10,000	86,146	△76,146	
9 分配金収入				
分配金収入	0	974,738	△974,738	
事業活動収入計	225,773,000	222,946,621	2,826,379	
2 事業活動支出				
1 事業費支出				
給料支出	0	57,236,870	△57,236,870	
職員手当支出	0	18,000,677	△18,000,677	
福利厚生費支出	0	12,885,130	△12,885,130	
賃金支出	7,200,000	18,616,071	△11,416,071	
報償費支出	7,748,000	6,091,202	1,656,798	
旅費支出	5,859,000	3,486,745	2,372,255	
通信運搬費支出	4,361,000	3,034,698	1,326,302	
消耗什器備品費支出	1,510,000	1,480,124	29,876	
消耗品費支出	10,277,000	9,462,623	814,377	
修繕費支出	900,000	763,560	136,440	
光熱水料費支出	5,000,000	4,689,093	310,907	
使用料・賃借料支出	9,500,000	8,434,763	1,065,237	
交際費支出	655,000	69,970	585,030	
保険料支出	530,000	486,308	43,692	
委託料支出	45,271,000	45,867,030	△596,030	
負担金・補助金支出	300,000	124,800	175,200	
広告宣伝費支出	150,000	120,750	29,250	
租税公課費支出	10,000	7,700	2,300	

収支計算書

会計区分 全体 事業区分 全体

平成24年04月01日 から 平成25年03月31日 まで (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
2 管理費支出				
役員報酬支出	4,110,000	4,107,150	2,850	
給料支出	60,080,000	2,697,025	57,382,975	
職員手当支出	19,150,000	848,199	18,301,801	
福利厚生費支出	14,550,000	607,153	13,942,847	
賃金支出	12,300,000	548,720	11,751,280	
退職給付支出	2,120,000	0	2,120,000	
報償費支出	170,000	132,285	37,715	
旅費支出	700,000	559,230	140,770	
通信運搬費支出	800,000	694,374	105,626	
消耗品費支出	1,700,000	1,680,602	19,398	
使用料・賃借料支出	3,250,000	476,065	2,773,935	
交際費支出	50,000	0	50,000	
委託料支出	3,700,000	546,457	3,153,543	
負担金・補助金支出	130,000	100,100	29,900	
リース債務支出	1,300,000	1,271,340	28,660	
租税公課支出	9,456,000	7,009,204	2,446,796	
雑支出	800,000	462,070	337,930	
事業活動支出計	233,637,000	212,598,088	21,038,912	
事業活動収支差額	△7,864,000	10,348,533	△18,212,533	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
1 特定預金取崩収入				
はなみずき基金預金取崩収入				
はなみずき基金預金取崩収入	5,000,000	5,000,000	0	
投資活動収入計	5,000,000	5,000,000	0	
2 投資活動支出				
1 特定預金支出				
退職給付引当資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	0	2,115,250	△2,115,250	
はなみずき基金預金支出				
はなみずき基金預金支出	5,000,000	5,000,660	△660	
投資活動支出計	5,000,000	7,115,910	△2,115,910	
投資活動収支差額	0	△2,115,910	2,115,910	

収支計算書

会計区分 全体

事業区分 全体

平成24年04月01日 から 平成25年03月31日 まで (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
Ⅲ 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	△7,864,000	8,232,623	△16,096,623	
前期繰越収支差額	67,037,000	67,036,124	876	
次期繰越収支差額	59,173,000	75,268,747	△16,095,747	

参 考 資 料

設立趣意書

1975年の「国際婦人年」及びこれに続く「国連婦人の10年」を契機として、世界各国では、女性の地位向上や女性に対するあらゆる差別の撤廃に向けての取り組みが積極的に進められてきました。

我が国においても、男女雇用機会均等法の制定をはじめ国内関係法の整備を行い、「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」を批准するとともに、新国内行動計画を策定し、女性関係施策を推進しております。

大阪府においても第1期、第2期行動計画に続き、平成3年9月には第3期行動計画「女と男のジャンプ・プラン」を策定し、知事を本部長とする大阪府女性政策企画推進本部のもとに女性問題の解決を図るための施策を積極的に推進しております。

大阪が地球時代にふさわしく、人間と自然の調和を保ち、かつ文化の薫り高い国際都市へ発展していくためには、男女が共に人間として尊重され、性差にとらわれることなく、豊かな人間関係のなかで、人生のあらゆる段階で支えあうことのできる社会、即ち、男女の自立並びにあらゆる分野への対等な参加・参画に基づく男女協働社会を実現することが不可欠であります。

しかしながら、男女の固定的な役割分担意識はまだ根強く、男女の自立及びあらゆる分野への対等な参加・参画を不十分なものとしています。また、近年における高齢化、情報化、国際化等の急激な進展により、女性問題に係る新たな課題が生じてきております。

男女協働による真に豊かな社会を実現するためには、行政の力だけで達成できるものではなく、民間においても女性問題の解決に向けて社会的な気運の醸成を図るとともに、企業、民間団体さらには府民一人ひとりが知恵と創意を発揮して積極的な活動を展開することが重要です。

財団法人大阪府男女協働社会づくり財団は、そうした行政並びに府民、民間団体等が連携した多様な活動を効果的に推進するために中心的な役割を果たすとともに、男女の自立とあらゆる分野への対等な参加及び参画を促進するため、情報の収集及び提供に関する事業、能力開発に関する事業、女性の抱える問題に関する相談事業、女性の交流の促進並びに文化及び表現活動の支援に関する事業、調査研究及び啓発学習に関する事業、女性の健康に関する事業及びドーンセンター（大阪府立女性総合センター）の管理運営を行うこと等により、男女協働社会の実現に寄与することを目的として設立するものであります。

平成6年4月1日

財団法人大阪府男女協働社会づくり財団

（平成15年4月1日 財団法人大阪府男女共同参画推進財団に名称変更）

（平成22年4月1日 財団自立化）

（平成24年4月1日 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団に移行、設立）

定 款

第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 この法人は、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団と称する。

(事務所)

第 2 条 この法人は、主たる事務所を大阪市に置く。

2 この法人は、理事会の決議によって、従たる事務所を必要な地に置くことができる。

第 2 章 目的及び事業

(目的)

第 3 条 この法人は、男女の自立並びにあらゆる分野への対等な参加及び参画を促進する事業を行い、もって男女共同参画社会の実現に寄与することを目的とする。

(事業)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 男女共同参画社会の実現に資する情報収集・提供及び調査研究事業
- (2) 男女共同参画社会の実現に資する啓発学習事業
- (3) 女性の抱える問題に関する相談事業
- (4) 女性の能力開発・ネットワーク事業
- (5) 女性に対する暴力対策等人材養成支援事業
- (6) 女性による文化表現活動支援事業
- (7) 女性の健康支援事業
- (8) 国際交流事業
- (9) 次世代育成事業
- (10) 女性関連施設における事業及び施設の管理運営に関する事業
- (11) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 上記事業の内、公益目的支出計画事業は大阪府において行うものとする。

第 3 章 資産及び会計

(基本財産)

第 5 条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な財産は、この法人の基本財産とする。

2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を得なければならない。

(事業年度)

第 6 条 この法人の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第 7 条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎事業年度開始の日の前日までに理事

長が作成し、理事会の決議を経て、評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間、備え置くものとする。

（事業報告及び決算）

第8条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を得なければならない。

- (1) 事業報告書
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
- (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書

- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号の書類については、定時評議員に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

- 3 第1項の書類及び、監査報告を主たる事務所に5年間備え置くとともに、定款を主たる事務所に備え置くものとする。

第4章 評議員

（評議員の定数）

第9条 この法人に、評議員4名以上9名以内を置く。

（評議員の選任及び解任）

第10条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第173条から第199条の規定に従い、評議員会において行う。

- 2 評議員を選任する場合には、次の各号の要件のいずれにも該当しない者とする。

- (1) 法人
- (2) 成年被後見人若しくは被保佐人又は外国の法令上これらと同等に取り扱われている者
- (3) 一般法人若しくは会社法の規定に違反し、または民事再生法、外国倒産処理手続の援助に関する法律、会社更生法若しくは破産法に定める罪を犯し、刑を処せられ、その執行を終わり、またはその執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
- (4) 前項に規定する法律の規定以外の法令の規定に違反し、禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- (5) 当該法人又はその子法人の理事、監事又は使用人

（評議員の任期）

第11条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

- 3 評議員は、第9条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後

も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第12条 評議員は無報酬とする。ただし、評議員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

2 前項に関し必要な事項は、評議員会において別に定める。

第5章 評議員会

(構成)

第13条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第14条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任及び解任
- (2) 理事の報酬等の額
- (3) 評議員に対する費用の支給の基準
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第15条 評議員会は、定時評議員会として毎事業年度終了後3ヶ月以内に開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第16条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第17条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員等に対する費用の支給の基準

- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第21条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(決議の省略)

第18条 理事が、評議員会の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意志表示をしたときは、その提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第19条 理事が評議員の全員に対し、評議員会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項の評議員会に報告することを要しないことについて、評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意志表示をしたときは、その事項の評議員会への報告があったものとみなす。

(議事録)

第20条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成する。

2 出席した評議員及び理事は、前項の議事録に記名押印する。

第6章 役員

(役員の設置)

第21条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 4名以上9名以内
- (2) 監事 2名以内

2 理事のうち1名を理事長とし、必要に応じて1名の常務理事を置くことができる。

3 前項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、理事会の決議を持って、他の理事から同法第91条第1項第2号の業務執行理事に選定することができる。

(役員の選任)

第22条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

3 役員の資格は第10条第1項第2号を適用する。

4 理事のうち、理事のいずれか1名とその配偶者又は3親等内の親族その他特別の関係にある理事の合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならない。監事についても同様とする。

5 他の同一の団体の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に綿密な関係にある者である理事の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても同様とする。

(理事の職務と権限)

第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款に定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、常務理事は、この法人の業務を分担執行する。

3 理事長及び常務理事は、4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第24条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況を調査することができる。

(役員の任期)

第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員の解任)

第26条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員の報酬等)

第27条 理事及び監事は無報酬とする。ただし、理事長及び常務理事及び常勤の理事に対しては、評議員会において別に定める報酬等の支給基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 その他の役員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

3 前2項に関し必要な事項は、評議員会において別に定める。

(役員の責任の免除又は限定)

第28条 この法人は、理事及び監事の一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第198条において準用される第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として、免除することができる。

2 この法人は、外部役員との間で、前項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には賠償責任を限定する契約を、理事会の決議によって、締結することができる。ただし、その契約に基づく賠償責任の限度額は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第198条において準用される第113条第1項で定める最低責任限度額とする。

第7章 理事会

（構成）

第29条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

（権限）

第30条 理事会は、次の職務を行う。

- （1）この法人の業務執行の決定
- （2）理事の職務の執行の監督
- （3）理事長及び常務理事の選定及び解職

（開催）

第31条 理事会は、定時理事会として毎事業年度6月と3月に2回開催するほか、必要がある場合に臨時理事会を開催する。

（招集）

第32条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

（議長）

第33条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

2 理事長が欠けたとき、理事長に事故があるときは、理事の中から互選にて議長の職務を代行する者を選出する。

（決議）

第34条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

（決議の省略）

第35条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、決議に加わることのできる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意志表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなすものとする。ただし、監事が異議を述べたときは、その限りではない。

（報告の省略）

第36条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対し、理事会に報告すべき事項を通知した場合においては、その事項を理事会に報告することを要しない。

（議事録）

第37条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 当該理事会に出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第8章 事務局

（事務局の設置）

第38条 この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

2 事務局には事務局長及び必要な職員を置く。

3 職員は理事長が任免する。

第9章 定款の変更及び解散

（定款の変更）

第39条 この定款は、評議員会において、議決に加わることのできる評議員の3分の2以上の議決を経て変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条及び第4条及び第10条についても適用する。

（合併等）

第40条 この法人は、評議員会において、議決に加わることのできる評議員の3分の2以上の議決により、他の一般法人法上の法人との合併又は事業の全部間は他一部を譲渡することができる。

（解散）

第41条 この法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第202条に定める事由その他法令に定められた事由により解散する。

（残余財産の処分）

第42条 この法人が解散等により清算するときに有する残余財産は、評議員会の議決により、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条17号に掲げる法人又は国もしくは地方公共団体に贈与するものとする。

2 この法人は、剰余金の分配を行わない。

第10章 公告の方法

（公告の方法）

第43条 この法人の公告は、電子公告により行う。

附 則 （施行日など）

1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般法人の設立の登記日から施行する。

2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と一般法人の設立の登記を行った

ときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度開始日とする。

3 この法人の最初の理事長は、時岡禎一郎とする。

4 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

尼 川 洋 子

上 田 理恵子

高 田 昌 代

早 瀬 昇

松 尾 園 子

5 この定款は平成24年4月1日から施行する。

6 この定款は平成24年10月1日から施行する。

別表 資産

財産種別	場所物量等	
有価証券 (基本財産)	利付国債（時価）	50,760,000
	大阪府債（時価）	50,685,000
	定期預金	55,000

一般財団大阪府男女共同参画推進財団のあゆみ

平成6年度	4. 1	財団法人大阪府男女協働社会づくり財団設立 (理事長：谷川秀善 事務所：大阪府立婦人会館内)
	5. 11	第1回理事会開催
	6. 18	財団設立記念イベント（ウィメンズフォーラム）の開催
	6. 20	第2回理事会開催（理事長に吉沢健就任）
	7. 29	ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）竣工
	8. 8	大阪府から財団へ施設引き継ぎ
	8. 29	財団事務所移転（ドーンセンター内）
	10. 27	第1回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 7	開館記念式典
	11. 11	オープニングイベント開催（～11. 13）
	11. 26	大阪国際女性フォーラム開催（～11. 27）
	2. 27	第2回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 17	第3回理事会開催
平成7年度	6. 29	第4回理事会開催
	7. 17	第3回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 10	ドーンフェスティバル（1周年事業）の開催（～11. 12）
	11. 30	第4回ドーンセンター運営推進委員会開催
	2. 29	第5回ドーンセンター運営推進委員会開催
平成8年度	3. 28	第5回理事会開催
	6. 21	第6回理事会開催
	7. 15	第6回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 8	ドーンフェスティバルの開催（～11. 10）
	12. 16	第7回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 19	ドーンセンター来館者100万人突破
	2. 24	第8回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 28	第7回理事会開催
平成9年度	6. 24	第8回理事会開催
	7. 16	第9回ドーンセンター運営推進委員会開催
	7. 31	第9回理事会開催
	10. 21	第10回理事会開催（理事長に松廣屋慎二就任）
	10. 27	ドーンセンター運営推進委員会施設運営部会開催
	10. 28	ドーンセンター運営推進委員会事業推進部会開催
	11. 7	ドーンフェスティバルの開催（～11. 8）
	12. 26	第11回理事会開催
	2. 23	第10回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 28	第12回理事会開催
平成10年度	4. 16	第13回理事会開催

	6. 26	第 1 4 回理事会開催
	7. 24	第 1 1 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 6	ドーンフェスティバルの開催（～11. 7）
	12. 8	第 1 2 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	2. 26	第 1 3 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 18	第 1 5 回理事会開催
平成 1 1 年度	5. 1	第 1 6 回理事会開催
	6. 21	第 1 7 回理事会開催
	7. 16	第 1 4 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	8. 31	第 1 8 回理事会開催（理事長に木村良樹就任）
	10. 4	ドーンセンター運営推進委員会施設運営部会開催
	10. 7	ドーンセンター運営推進委員会事業推進部会開催
	11. 11	ドーンフェスティバル（女性センターフォーラム）の開催（～11. 11）
	2. 24	第 1 5 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 31	第 1 9 回理事会開催
平成 1 2 年度	4. 23	平成 1 2 年「女性週間全国会議」開催（～4. 24）
	5. 2	第 2 0 回理事会開催
	6. 26	第 2 1 回理事会開催
	7. 3	第 1 6 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	8. 31	第 2 2 回理事会開催（理事長に梶本徳彦就任）
	9. 26	第 2 3 回理事会開催
	11. 9	ドーンフェスティバル（男女共同参画フォーラム）の開催（～11. 10）
	11. 21	第 1 7 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 1	第 2 4 回理事会開催
	2. 17	ドーンフェスティバル（2 1 世紀へ夢描くグループフェスタ 2001）の開催
	2. 26	第 1 8 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 29	第 2 5 回理事会開催
平成 1 3 年度	5. 7	第 2 6 回理事会開催
	5. 24	第 1 9 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	6. 29	第 2 7 回理事会開催
	8. 17	第 2 0 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 30	第 2 1 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 8	第 2 2 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 9	ドーンフェスティバル 2 0 0 2 の開催
	3. 28	第 2 8 回理事会開催
平成 1 4 年度	4. 24	第 2 9 回理事会開催（理事長に山登敏男就任）
	6. 25	第 3 0 回理事会開催（財団名称の変更の承認）
	7. 30	第 2 3 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 27	第 2 4 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	2. 21	第 2 5 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 26	第 3 1 回理事会開催

	3. 29	ドーンフェスティバル 2 0 0 3 の開催
平成 1 5 年度	4. 1	財団名称を財団法人大阪府男女共同参画推進財団に変更
	4. 23	第 3 2 回理事会開催
	6. 6	ドーンセンター来館者 4 0 0 万人突破
	6. 26	第 3 3 回理事会開催
	7. 25	第 2 6 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 19	第 2 7 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 5	第 2 8 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 26	第 3 4 回理事会開催（財団「新・1 0 年プラン」策定）
平成 1 6 年度	4. 1	理事長に時岡禎一郎就任
	4. 1	N P O との協働専門委員会設置
	4. 20	第 3 5 回理事会開催
	6. 23	第 2 9 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	6. 29	第 3 6 回理事会開催
	11. 12	女性エンパワメントフォーラム 2 0 0 4（ドーンセンター 1 0 周年記念事業） の開催（～11. 13）
	12. 3	第 3 0 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	1. 1	ドーンセンター運営推進委員会利用者団体登録審査部会設置
	3. 4	第 3 1 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 24	第 3 7 回理事会開催
平成 1 7 年度	4. 22	第 3 8 回理事会開催
	6. 28	第 3 9 回理事会開催
	7. 1	第 3 2 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 11	第 4 0 回理事会開催
	12. 9	第 3 3 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 10	第 3 4 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 24	第 4 1 回理事会開催
	3. 28	「ドーン利用促進事業共同体」が大阪府から指定管理者に指定
平成 1 8 年度	4. 1	「ドーン利用促進事業共同体」が指定管理業務開始
	6. 23	第 4 2 回理事会開催
	6. 30	第 3 5 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 15	第 3 6 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 19	第 4 3 回理事会開催（「事業・N P O 協働評価委員会」の設置）
	3. 13	第 3 7 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 20	第 4 4 回理事会開催（財団「中期経営計画」策定）
平成 1 9 年度	4. 1	ドーンセンター事業・N P O 協働評価委員会の設置
	6. 27	第 4 5 回理事会開催
	7. 6	第 3 8 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 21	第 3 9 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 18	第 4 0 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 28	第 4 6 回理事会開催

平成20年度	4.18	第47回理事会開催
	6.24	第48回理事会開催
	7.25	第49回理事会開催
	8. 1	大阪府在住女性からの寄附金をもとに「はなみずき基金」設置
	8. 1	第41回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12.19	第42回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.24	第50回理事会開催（「第一次自立化プラン」策定）
	3.25	第43回ドーンセンター運営推進委員会開催
平成21年度	4.24	第51回理事会開催
	6.19	第52回理事会開催
	7. 3	第44回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 3	第53回理事会開催
	2.19	第54回理事会開催
	3.11	第55回理事会開催
	3.19	第45回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.30	第56回理事会開催（「第二次自立化プラン」策定）
平成22年度	4. 1	財団「自立化」スタート
	6.18	第57回理事会開催
	9.17	第58回理事会開催
	1. 9	配偶者暴力等被害者支援緊急対策事業（パープルダイヤルー性暴力・DV 電話相談―）事業落札（2/8～3/27）
	1.11	東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）指定管理者に指定
	1.14	第59回理事会開催
	2.16	第60回理事会開催（一般財団法人への移行方針承認）
	3.16	「ドーン運営共同体」が大阪府からドーンセンター指定管理者に指定
	3.23	第61回理事会開催（「第二次自立化プラン（改定版）」策定）
平成23年度	4. 1	東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）指定管理業務開始 「ドーン運営共同体」が指定管理業務開始
	6. 1	第62回理事会開催
	7. 1	評議員選定委員会の開催
	7.15	第63回理事会開催
	10.20	第64回理事会開催
	12.20	東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業落札
	1.13	第65回理事会開催
	3.21	平成24年度東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業落札
	3.22	第66回理事会開催
平成24年度	4. 1	一般財団法人に移行
	5.10	配偶者からの暴力被害者のための官官・官民連携推進ワークショップ事業落 札
	5.29	第1回理事会開催
	6. 1	理事の業務担当制導入

「中期経営プラン（平成24年度～平成27年度）」策定

- 6.15 第1回評議員会開催
- 7.21 第2回理事会開催
- 9.19 第2回評議員会開催
- 9.28 第3回理事会開催
- 10.1 登記上の主たる事務所地の変更（大阪市北区）
- 12.17 男女共同参画センター等における性犯罪被害者支援体制整備促進事業落札
- 2.13 第4回理事会開催
- 3.5 ポジティブ・アクション展開事業受託決定
- 3.13 第5回理事会開催
- 3.26 大阪府男女共同参画推進事業（平成25年度～平成27年度）落札
- 3.27 第3回評議員会開催

一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団

〒540-0008 大阪府中央区大手前 1-3-49
ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

事務局

総務担当	TEL 06-6910-8625	FAX 06-6910-8624
事業担当	TEL 06-6910-8615	
情報担当	TEL 06-6910-8616	
相談担当	TEL 06-6910-8588	

URL <http://www.ogef.jp/> 発行：平成25年6月

頒布価格 500円